

「天気」主要項目索引

1. はじめに

昨年の本誌10月号でも予告しておりました「天気」主要項目索引が完成し、会員の皆様に提供できるようになりました。日本気象学会創立100周年記念事業の一環として作成された第1巻～第28巻の「天気」主要項目索引（1982年「天気」第29巻4号に掲載）からすでに12年が経過しました。この間の気象学の進歩は著しく、本誌に掲載される記事の数も増加の一途をたどり、また多くの新企画の記事も登場したことから、会員の方々からも、仕事の手助けとして主要項目索引の作成を要望する声が寄せられるようになりました。さらなる発展期を迎えた日本気象学会の最近の活動状況を見極め、21世紀に向けた今後の展開を考えるためにも、

1980年代の活動の軌跡を振り返ることは有意義であると考えられます。

このような状況に鑑み、編集委員会では年頭に実施した印刷のCPS化、表紙デザインの刷新に合わせて、第29巻（1982年）以降の主要項目索引を新たに作成することを決定し、2年前より準備に当たってきました。今回完成した索引は、第29巻（1982年）から第39巻（1992年）までの11年間を対象としたものであり、本号には内容分類に基づく索引を掲載します。今後、著者別索引の掲載や気象学会パソコン通信（MSJ・BBS：03-3813-7844）での掲示も予定しています。

（「天気」編集委員会）

2. 内容分類索引について

- 1) 「天気」掲載記事の内、以下の記事について網羅しています。

解説、論文、短報、シンポジウム、報告、写真、講座、質疑応答、会員の広場、海外だより、紹介（本だな、素顔、研究機関めぐり等）、通信（WCPの窓等）、談話室、用語解説

- 2) 分類は、前回の分類表に数値予報（4011）と気象統計（415）を追加し、503を統計手法と変更した別掲の分類表に従いました。各記事はその内容により、一つ又は複数の分類番号に分類されています。
- 3) 各分類内の記事を次の項目に仕分けし、それぞれの項目内で掲載年代順に記事を配列しました。

解説

論文（短報を含む）

その他

- 4) 索引の読み方は次の通りです。たとえば、

・国際単位系(SI)と気象の定数

……………清水逸郎 33 43-47 (2)

は、「天気」33巻2月号43-47頁にこの記事があることを示しています。またページの欄にカラーとあるのは、巻頭カラーページを示します。

（担当 里村雄彦）

今回の主要項目索引の作成にあたって、担当編集委員として注意深さと忍耐力の要求される編集作業に多くの労力と時間を傾注し、献身的に努力していただいた里村雄彦氏に編集委員会を代表して心から感謝致します。

（編集委員長）

内容分類表

1. 気象一般	583	401. 天気予報	616~617
101. 気象力学 (熱学, 地球流体力学を含む)	583~584	4011. 数値予報	617~618
102. 大気放射	584~585	402. 大気汚染	618~619
103. 大気大循環	585~587	403. 産業気象	619~620
104. 総観気象 (時系列を含む)	588~589	404. 航空気象	620
1041. 総観規模の風	589	405. 海洋気象	620~621
1042. 総観規模の降水	589	406. 水文気象	621
105. 中小規模大気擾乱	589~591	407. 気象災害	621~622
1051. 中 (間) 規模擾乱	591~592	408. 生気象	622
1052. 豪雨, 雷雨	592~593	409. 農業気象	622~623
1053. 竜巻	593~594	410. 山岳気象	623
106. 極気象	594~595	411. 植物と気象	623~624
107. 熱帯気象	595~596	412. 衛星気象学	624~626
1071. 台風	596~597	413. レーダー気象学	626~627
108. 中層大気 (成層圏・中間圏)	598	414. 気象制御	627
1081. 中間大気の微量成分	599	415. 気象統計	627
109. 大気境界層 (乱流を含む)	599~601	5. 研究技術	627~628
1091. 接地層	601~602	501. 観測技術	628~629
1092. 局地循環 (熱的原因による)	602~603	5011. 一般測器	629
10921. 海陸風	603~604	5012. レーダー	629~631
1093. 局地風 (地形風)	604~605	5013. 人工衛星の技術と搭載用測器	631
1094. 視程	605	502. 気象資料	631~632
110. 惑星気象	605	503. 統計手法	632~633
2. 大気物理化学	606	504. 計算技術	633
201. 大気化学	606~607	505. 実験技術	633~634
202. 雲物理	607~608	506. 写真技術	634
2021. 氷の物性	608	507. 語学, 用語, 論文の書き方	634~635
203. 大気電気	608	6. 気象事業	635
204. エロゾル	608~609	601. 研究及び気象事業体制	635~638
205. 雪氷学	609	602. 会議	639~648
206. 大気光学	609~610	603. 文献, 刊行物	648~653
207. 大気音響学	610	604. 気象学史	653
208. 雲学 (雲の形態学)	610	7. 気象教育	653~654
3. 気候	611	8. 人物	654~655
301. 大気候	611~612	9. 気象学関連雑記	655~657
302. 中気候	612	10. 地球関連分野	657
303. 小気候	612	11. 天文	657
304. 都市気候	612~613	12. 超高層大気	657~658
305. 古気候	613	13. 海洋	658~659
306. 気候の変動	613~616	14. 測地	659
4. 応用気象	616	15. 地理	659
		16. 固体地球	659

1 気象一般

* 解説

- ・国際単位系 (SI) と気象の定数
……………清水逸郎 33 43-47 (2)

* その他

- ・東北支部講演会の報告…………… 32 36-37 (1)
- ・IAMAP/IAPSO 合同研究集会の報告
……………浅井富雄ほか 33 189-198 (5)
- ・IAMAP 第5回研究集会の報告—レディング,
1989年8月—
……………浅井富雄ほか 36 723-726 (12)

101 気象力学(熱学, 地球流体
力学を含む)

* 解説

- ・2次元乱流と地球流体
……………柳瀬眞一郎 31 389-400 (7)
- ・印度モンスーンとプラネタリー波の伝播—昭和60
年度藤原賞受賞記念講演—
……………岸保勲三郎 32 543-551 (10)
- ・大気大循環モデルによる物質輸送の研究—昭和60
年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………木田秀次 33 83-88 (3)
- ・地球流体における波動と渦—「第5回地球流体
夏のセミナー」の報告
……………井上良紀・今脇資郎 33 127-142 (4)
- ・大気潮汐波による下部熱圏平均風の生成—昭和60
年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………宮原三郎 33 183-188 (5)
- ・Q-map (等温位面上で解析された渦位分布図)
—その1 Q-map の原理
……………二階堂義信 33 289-299 (7)
- ・Q-map (等温位面上で解析された渦位分布図)
—その2 Q-map の実際
……………二階堂義信 33 300-331 (7)
- ・力学系概観……………金久博忠 34 135-155 (3)
- ・Peter Rhines の講義ノート「慣性振動」
……………余田成男 34 359-367 (6)
- ・譬え話あれこれ—気象学講義余談集—
……………廣田 勇 34 603-610 (10)
- ・木星の大赤斑は、モドンか? (熱地衡風力学の位
置づけも含めて)
……………矢野順一 36 261-267 (5)

- ・中層大気の波とその碎波に関する研究—平成元年
度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………田中 浩 36 675-680 (11)
- ・大気大規模運動における準定常状態—平成2年度
山本・正野論文賞受賞記念講演—
……………向川 均 38 185-194 (4)
- ・運動方程式の線形化を必要としない定常渦の安定
性解析法について
……………佐久間弘文 38 411-426 (7)
- ・中層大気中のプラネタリー・ロスビー波—1991年
度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………廣岡俊彦 39 111-122 (3)
- ・カオスと数値予報—局所的リアプノフ安定性と予
測可能性—
……………余田成男ほか 39 593-604 (10)

* 論文

- ・圏界面直下におけるケルビンヘルムホルツ波の励
起—シーラストランスヴァースラインの成因
に関連して—
……………大野久雄・三浦信男 29 1235-1241 (12)
- ・第2種地衡風運動の定常解に関する力学的研究
……………田中 博 30 539-543 (11)
- ・non-hydrostatic model による二次元山岳波の
simulation……………栗原和夫 31 687-694 (11)
- ・論文「大陸沿岸の地形の影響を受けた日本海上の
‘带状収束雲’と‘Cu-Cbライン」についての
ノート
……………松浦知徳・山形俊男 34 255-256 (4)
- ・三沢飛行場に霧が侵入する際の気温の鉛直分布と
時間変化について
……………遠峰菊郎ほか 35 179-187 (3)
- ・ENSO と西風バースト
……………村上多喜雄 35 673-686 (11)
- ・「気候一次元“模型”の解析」
……………石井正好・金久博忠 36 291-302 (5)
- ・1989年2月の成層圏大規模突然昇温
……………上野達雄 36 591-595 (9)
- ・Plume の大規模渦周辺に発生する2次渦度
……………中井正則 38 757-763 (12)
- ・北半球 500 mb 高度のテレコネクションと日本の
シンギュラリティ
……………川村隆一・田 少奮 39 75-85 (2)
- ・球面モドンの線形安定性
……………金久博忠 39 421-427 (7)

* その他

- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第3回地球流体夏のセミナーを終えて
……………神部 勉 30 113-114 (3)
- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第1部 分岐理論……………宇敷重広ほか 30 114-119 (3)
- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第2部 不安定論……………山田道夫ほか 30 119-125 (3)
- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第3部 プロッキング……………楠 昌司ほか 30 125-128 (3)
- 日米セミナー「中層大気力学」の報告
……………廣田 勇ほか 30 133-135 (3)
- 北大西洋上の寒気の南下とカルマン渦
……………木村竜治 31 190 (3)
- 昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 6 冷気の流出に関するコメント……………木村竜治 31 175-178 (3)
- 第4回地球流体夏のセミナー
……………吉澤能政 31 401-402 (7)
- 雲画像に現れる渦度の補給
……………野瀬純一 31 647-648 (10)
- 1985年水分と湿度に関する国際シンポジウムに出席して……………和田 誠 32 483-485 (9)
- スペースシャトルの窓から
……………木村竜治 33 393-396 (8)
- 昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 3 30-40日周期振動に関する数値実験
……………林 祥介 33 522-524 (10)
- 大気力学京都国際セミナーの報告
……………廣田 勇ほか 33 575-577 (11)
- 流れの安定性について
……………新野 宏 34 671-684 (11)
- 気象学雑談集 Part II
……………廣田 勇 35 373-379 (6)
- NVAG 2 (地球物理におけるスケーリング則・フラクタル・非線形変動) ワークショップ報告
……………矢野順一 36 5-9 (1)
- ヘルシンキ COSPAR 総会の報告 (惑星大気力学関係) ……………山中大学 36 59-62 (2)

- Saturation Point (飽和点)
……………中村晃三 36 340 (6)
- non-local closure (非局所的クロージャー)
……………中村晃三 36 688 (11)
- 平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 2 オゾン層の力学
……………神沢 博 37 25-31 (1)
- Symmetric Instability (対称不安定)
……………齊藤 定 37 113 (2)
- 第28回 COSPAR 総会および第7回 STP シンポジウム (中層大気力学および惑星大気力学関係) の報告……………山中大学 38 35-40 (1)
- モドン……………金久博忠 38 504-505 (8)
- ソリトンと気象現象
……………辻村 豊 38 519-525 (8)
- 中層大気力学……………余田成男 38 661-664 (10)
- 惑星気象学—金星と巨大惑星の気象力学を中心として
……………松田佳久・矢野順一 39 637-642 (10)

102 大気放射

* 解説

- 南極における放射収支
……………山内 恭 30 427-445 (9)
- 大気分光学の気象学及びリモートセンシングへの応用—1991年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………青木忠生 39 123-129 (3)

* 論文

- 複雑地形における夜間冷却—研究の指針—
……………近藤純正 29 935-949 (9)
- 日本における月平均水平面散乱日射量・同直達日射量の平年値および年々の変動係数のマップの作成
……………吉田作松・篠木誓一 30 201-216 (4)
- 夜間の地表面放射冷却と積雲および日本各地の最低気温の極値について
……………近藤純正・山沢弘実 30 295-302 (6)
- 地表面日射量の実験式と日射計をチェックする簡便な方法
……………近藤純正・三浦 章 30 469-475 (9)
- 対流活動に及ぼす地表面加熱の影響—数値シミュレーション—

- ……大野久雄・山岸米二郎 31 553-563 (9)
- ・日別全天日射量階級別日数の全国マップ作成 (I)
日別晴天指数度数分布の解析とモデル化
……菊地原英和ほか 32 271-280 (5)
- ・日別全天日射量階級別日数の全国マップ作成 (II)
日別全天日射量階級別日数の推定と全国マップ
作成……菊地原英和ほか 32 301-309 (6)
- ・航空機 MSS データによる地表面熱収支分布の評
価……川島茂人 33 333-344 (7)
- ・雲量から全天日射量を推定する方法の精度につ
いて……吉門 洋 34 109-114 (2)
- ・ヒートアイランドの形成要因としての都市キャ
ニオンの天空比と夜間の長波放射収支
……朴 恵淑 34 579-587 (9)
- ・海面水温と長波放射の30-60日周期振動
……村上多喜雄 35 715-722 (12)
- ・エルチチョン噴火と日射の経年変化
……毛利英明 37 261-263 (4)
- ・放射収支計キャリブレーション装置の製作とそ
の運用結果について
……新井重男 37 609-613 (9)
- ・二次元谷の平均アルベードについて
……沼田洋一ほか 37 835-842 (12)
- ・日射量および下向き大気放射量の推定
……近藤純正ほか 38 41-48 (1)
- ・回転式日照計観測値からの1時間積算全天日射
量の推定
……馬淵和雄・佐藤信夫 38 57-63 (1)
- * その他
- ・地表面温度……徳野正己 31 701-706 (11)
- ・赤外2チャンネル (11 μm , 12 μm) でみた絹雲
……井上豊志郎 31 757-759 (12)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告 4 黄砂性エアロゾルの光学
的特性……中島映至 34 185-188 (3)
- ・「質疑応答」……中島映至 34 273-274 (4)
- ・clouds in climate II 研究集会 (1987年10月) の
報告……武田喬男ほか 35 545-549 (9)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「雲と放射」の報告 1 雲の放射特性
……田中正之 36 393-399 (7)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「雲と放射」の報告 2 大気大循環モデルに
おける雲の取り扱い

- ……時岡達志 36 399-407 (7)
- ・地球規模気候変動における地表面放射収支
(SRB) に関する COSPAR/WCRP ワーク
ショップ出席報告
……山内 恭 37 116-118 (2)
- ・温室効果気体……早坂忠裕 37 260, 264 (4)
- ・暴走温室効果……阿部 豊 37 351-352 (5)
- ・南極極夜の熱バランス
……山内 恭 37 832-834 (12)
- ・大気放射……浅野正二 38 581-585 (9)

103 大気大循環

* 解説

- ・大気大循環論100年の歩み
……廣田 勇 29 199-213 (3)
- ・新しい解析手法による赤道波等地球規模大気擾乱
の機構の研究……林 良一 30 4-12 (1)
- ・大気ブロッキング現象の観測的研究のレビュー
……佐藤康雄 31 7-18 (1)
- ・大気大循環のモデル再見 (I)
……木田秀次 31 343-355 (6)
- ・大気循環の30~50日周期変動
……村上勝人 32 459-482 (9)
- ・印度モンスーンとプラネタリー波の伝播—昭和60
年度藤原賞受賞記念講演—
……岸保勲三郎 32 543-551 (10)
- ・大気大循環モデルによる物質輸送の研究—昭和60
年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……木田秀次 33 83-88 (3)
- ・大気潮汐波による下部熱圏平均風の生成—昭和60
年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……宮原三郎 33 183-188 (5)
- ・Q-map (等温位面上で解析された渦位分布図)
—その1 Q-map の原理
……二階堂義信 33 289-299 (7)
- ・Q-map (等温位面上で解析された渦位分布図)
—その2 Q-map の実際
……二階堂義信 33 300-331 (7)
- ・ENSO (エル・ニーニョ/南方振動) の全球的様相
—昭和61年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……安成哲三 33 507-513 (10)
- ・FGGE IIIb データの問題点—ECMWF と GFDL
の「main IIIb」データについて—

- ……………増田耕一 35 5-19 (1)
- ・地球回転と大気海洋力学—その新しい連携—
……………内藤勲夫 35 291-311 (5)
- ・中国季節風区の豪雨の水蒸気源
……………黄 必選 36 111-118 (3)
- ・地球の角運動量収支における大気水圏システムの
役割—平成元年度堀内基金奨励賞受賞記念講
演—……………内藤勲夫 37 231-241 (4)
- ・我国の数値予報システムの現状(2) 全球解析
予報システムの過去・現在・未来
……………佐藤信夫 38 11-31 (1)
- *論文**
- ・1979年梅雨期およびその前後(5~8月)のアジア
における 300 mb 面高度場と 850 mb 面相当
温位場の時間的推移
……………村木彦麿 32 585-591 (10)
- ・日本における月平均気温, 月降水量と 500 mb 循
環指数
……………野木真一・千葉 長 33 593-601 (11)
- ・北太平洋を中心とした最近の冬季の冷化について
……………柏原辰吉 34 777-781 (12)
- ・札幌夏季気温と太陽活動
……………小寺邦彦 35 321-323 (5)
- ・ENSO と西風バースト
……………村上多喜雄 35 673-686 (11)
- ・熱帯太平洋の海面水温と 500 mb 高度場との関係
……………小泉 耕 36 281-289 (5)
- ・エル・ニーニョ年の日本の天候の特徴
……………宮崎保彦 36 489-498 (8)
- ・ENSO とモンスーン
……………村上多喜雄 36 565-576 (9)
- ・地球の角運動量収支とコア・マントル非結合
……………内藤勲夫・菊地直吉 36 625-630 (10)
- ・地球自転速度の不規則変動に対する大気の寄与
……………内藤勲夫・菊地直吉 39 17-22 (1)
- ・年周極運動に対する風の寄与
……………菊地直吉・内藤勲夫 39 23-26 (1)
- ・北半球 500 mb 高度のテレコネクションと日本の
シンギュラリティ
……………川村隆一・田 少奮 39 75-85 (2)
- *その他**
- ・大気大循環数値モデルについて
……………時岡達志 29 787-798 (8)
- ・月例会「長期予報・大気大循環」の報告
……………栗原弘一ほか 30 160 (3)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」
の報告 1 オホーツク海の海水分布とその
変化……………赤川正臣 30 343-345 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」
の報告 4 大気と海水の相互作用「大気大
循環への影響」
……………片山 昭 30 355-364 (8)
- ・月例会「大気数値シミュレーション」(第5回)—北
半球が夏の場合のモンスーン循環—の報告
……………近藤洋輝ほか 30 611-612 (12)
- ・大気, 及び, 大気モデルにおける準定常超長波の
維持に関するシンポジウムについて
……………住 明正ほか 31 115-125 (2)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
について」の報告 2 グローバルな場で見
た東北の冷夏……………星合 誠 31 164-165 (3)
- ・月例会「大気大循環・長期予報」の報告
……………工藤敏雄ほか 31 319-320 (5)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………中澤哲夫ほか 32 207-208 (4)
- ・極東域のモンスーンに関する国際研究集会の報告
……………中村晃三 33 49-51 (2)
- ・海面水温異常(SSTA)の効果に関するモデルの結
果の国際比較に関する会議の報告
……………住 明正 33 203-205 (5)
- ・TOGA (Tropical Ocean-Global Atmosphere) =
熱帯海洋および全球大気変動の研究計画の現
状と今後の進展について
……………住 明正 33 233-235 (5)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………河原幹雄ほか 33 236-237 (5)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「熱帯の大気と海洋」の報告 1 季節内変動
のモニタリング
……………河原幹雄 33 515-519 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「熱帯の大気と海洋」の報告 2 ENSO モ
デル研究の最近の発展
……………山形俊男 33 519-522 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「熱帯の大気と海洋」の報告 3 30-40日周
期振動に関する数値実験
……………林 祥介 33 522-524 (10)

- ・「インド・モンスーン長期予報100年」記念国際セミナーに参加して
……………安成哲三・栗原弘一 33 529-536 (10)
- ・大気力学京都国際セミナーの報告
……………廣田 勇ほか 33 575-577 (11)
- ・第2回南半球の気象国際会議の報告
……………和田 誠・忠鉢 繁 34 243-244 (4)
- ・30~60日周期変動の実態は何か？
……………中澤哲夫 34 269-272 (4)
- ・今、宇宙と大地の狭間で
……………内藤勲夫 34 305-306 (5)
- ・東アジアの大気循環に関する国際会議—中国・成都、1987年4月10~15日—
……………浅井富雄ほか 34 509-515 (8)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム「梅雨とモンスーン」報告 2 モンスーンの季節内変動と東アジアの循環場
……………安成哲三 34 689-692 (11)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム「梅雨とモンスーン」報告 4 JMAモデルによる梅雨とモンスーンの予報実験
……………中村 一 34 696-699 (11)
- ・「質疑応答」……………廣田 勇 34 782-783 (12)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………上野達雄ほか 35 20-22 (1)
- ・Mike Wallace の中間試験「大気大循環」
……………余田成男 35 109-110 (2)
- ・Mike Wallace の中間試験「大気大循環」解答
……………余田成男 35 198-199 (3)
- ・大気—海洋相互作用に関するピアクネスシンポジウム……………新田 勲ほか 35 417-425 (7)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 4 GCMを用いた生態系の気候形成における役割の研究
……………山崎孝治 35 667-672 (11)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告—中・高緯度対流圏の長期変動—
……………露木 義ほか 36 158-160 (3)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 2 大気大循環モデルにおける雲の取り扱い
……………時岡達志 36 399-407 (7)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………山田真吾ほか 37 137-140 (2)
- ・南半球の気象と海洋に関する第3回国際会議の報告……………鬼頭昭雄 37 245-247 (4)
- ・GEWEX (全地球エネルギー・水循環実験観測計画) ………………武田喬男 37 490 (7)
- ・TOGA-COARE Workshop と TOGA-SSG 9 の報告……………住 明正 37 773-774 (11)
- ・GPCP (全球降水気候計画)
……………大野久雄 37 796 (12)
- ・熱帯海洋と全球大気 (TOGA) に関する国際研究集会に参加して
……………安成哲三ほか 37 809-819 (12)
- ・月例会「長期予報と大循環」の報告
……………工藤達也ほか 38 49-51 (1)
- ・「エルニーニョ・南方振動に関する日米ワークショップ」(1990年9月10日~14日、米国シアトル)に参加して
……………中澤哲夫ほか 38 623-627 (10)
- ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 1 大気—海洋—陸上生態系炭素循環の簡略モデリングの試み……………松野太郎 39 131-137 (3)
- ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 2 炭素循環の問題点……………田中正之 39 137-142 (3)
- ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 3 生物圏はソースかシンクか
……………及川武久 39 142-146 (3)
- ・「大気—海洋相互作用研究会」の報告
……………藤谷徳之助 39 303-304 (5)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………露木 義ほか 39 363-366 (6)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 2 地球気候システムにおけるアジアモンスーンの役割……………安成哲三 39 401-408 (7)
- ・第3回「大気—海洋相互作用研究会」の報告
……………花輪公雄ほか 39 513-518 (8)
- ・モデル相互比較実験研究会議に参加して
……………鬼頭昭雄・岩崎俊樹 39 673-677 (11)

104 総観気象 (時系列を含む)

* 解説

- ・温帯低気圧モデルの歴史的発展
……………岸保勲三郎 29 269-298 (4)
- ・総観気象学への招待
……………股野宏志 33 565-573 (11)

* 論文

- ・500 mb 偏差パターンの持続性と類似性
……………荒井 康 29 151-155 (2)
- ・洞爺丸台風の温帯低気圧化について
……………村松照男 30 461-468 (9)
- ・台風の温帯低気圧化の過程における移動速度の変化
……………村松照男 30 447-460, 468 (9)
- ・寒気吹き出し時における日本列島風下側の海上での熱及び水蒸気収支と雲の生成について
……………川野 浩ほか 30 575-582 (12)
- ・急激に発達した低気圧の数値シミュレーション (I) —初期場の影響と総観的構造の特徴—
……………古賀晴成ほか 31 305-314 (5)
- ・急激に発達した低気圧の数値シミュレーション (II) —潜熱放出の効果—
……………柏木啓一ほか 31 357-362 (6)
- ・微格子日本領域予報モデル (11L-VFM 42) の開発
……………古賀晴成・山岸米二郎 31 403-410 (7)
- ・典型的なヤマセ時のオホーツク海気団の特性
……………工藤泰子 31 411-419 (7)
- ・温帯低気圧移行時の台風の予報実験—T8310 の場合—
……………三浦信男 32 371-379 (7)
- ・オホーツク海域における大気中の熱収支と下層気温の変動について
……………加藤内蔵進 32 425-433 (8)
- ・沿岸滑昇海霧の発生について
……………孫野長治 32 491-496, 510 (9)
- ・1979年梅雨期およびその前後 (5~8月) のアジアにおける 300 mb 面高度場と 850 mb 面相当温位場の時間的推移
……………村木彦磨 32 585-591 (10)
- ・寒気吹出時の東支那海上の逆転層の統計
……………本多庸浩・藤田敏夫 33 113-118 (3)
- ・水蒸気輸送場でみた亜熱帯高気圧の季節内変動と梅雨前線の雲分布に関する事例解析 (1979年6月中旬内の2つの時期での比較)
……………加藤内蔵進・栗原泰子 36 221-232 (4)

- ・北海道南東海上の、霧または層雲・層積雲のある気層での熱・水蒸気収支
……………川野 浩 36 369-375 (6)

* その他

- ・寒気の南下……………木村竜治 29 72 (1)
- ・梅雨前線帯の季節的な変動について
……………加藤内蔵進 30 108-109 (2)
- ・波長の短い気圧の谷に伴う小じょう乱による冬の日本海側の降雪
……………長谷川隆司 30 225-226 (4)
- ・大きなスケールの“層雲系曇天域”“積雲系曇天域”及び“快晴域”
……………大野久雄 30 258 (5)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 3 オホーツク海の北海道の気象への影響……………大川 隆 30 350-355 (8)
- ・列島をはさむ二つの渦巻
……………木本昌秀 30 395-397 (8)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 1 総観規模でみた東北の冷夏……………二宮洸三 31 159-164 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 3 “やませ”について
……………昆 幸雄 31 165-170 (3)
- ・日本海と本州南岸に発生した擾乱に伴う雲域の盛衰……………山岸照幸 31 261-262 (4)
- ・チベット高原から東進する広大な上層雲域
……………荻原武士 31 369-370 (6)
- ・亜熱帯高気圧の周囲を一回転した上層低気圧
……………高瀬邦夫 31 421-424 (7)
- ・上層雲域と下層雲域の移動の違い
……………坂田俊夫 31 583-585 (9)
- ・雲画像に現れる過度の補給
……………野瀬純一 31 647-648 (10)
- ・前線性雲バンドのふるまい
……………永沢義嗣 32 130-132 (3)
- ・GMS 毎時観測資料に現れた総観規模じょう乱発達期の Cb クラスターのふるまい
……………嶋村 克 32 581-583 (10)
- ・極東域のモンスーンに関する国際研究集会の報告
……………中村晃三 33 49-51 (2)
- ・イギリスにおける「前線」研究の動向—英国気象学会「前線」シンポジウムから—
……………木村竜治 33 145-149 (4)

- ・東アジアの大気循環に関する国際会議—中国・成都, 1987年4月10~15日—
……………浅井富雄ほか 34 509-515 (8)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム「梅雨とモンスーン」報告 1 東アジア循環場の季節進行と梅雨前線
……………加藤内蔵進 34 685-688 (11)
- ・第1回「梅雨研究会」報告
……………加藤内蔵進ほか 34 761-768 (12)
- ・高気圧域の前線帯……………嶋村 克 36 481-483 (8)
- ・前線のない低気圧……………嶋村 克 37 334-336 (5)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 3 東アジア乾燥地域周辺の水循環
……………加藤内蔵進ほか 39 408-413 (7)
- ・第3回「大気—海洋相互作用研究会」の報告
……………花輪公雄ほか 39 513-518 (8)
- ……………加藤内蔵進 32 343-356 (7)
- ・中国季節風区の豪雨の水蒸気源
……………黄 必選 36 111-118 (3)

* 論文

- ・関東地方の局地的悪天時の場の特徴の数値シミュレーション……………山岸米二郎 30 531-538 (11)
- ・静止気象衛星 (GMS) の空間平均データによる降水量の推定
……………中村和信・土屋 喬 32 565-572 (10)
- ・冬型降水に及ぼす日本海海面水温の影響
……………中江祥浩 39 271-278 (5)

* その他

- ・GMS の赤外データと温帯低気圧に伴う降雨分布
……………松長高雄 30 613-616 (12)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 3 レーダーとアメダスを用いた雨域の把握
……………竹村行雄 32 229-231 (5)
- ・中国大陸上の梅雨前線帯の特徴
……………加藤内蔵進 32 333-335 (6)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム「梅雨とモンスーン」報告 3 中国黄河流域の降水量の年々変動とアジアモンスーンとの関係……………田中 実 34 693-695 (11)
- ・長雨の機構について
……………根本順吉 39 86 (2)

1041 総観規模の風

* 論文

- ・冬季の季節風の吹き出し方向に対して, おおよそ直交する方向にロール軸をもつ大規模な雪雲
……………八木正允 32 175-187 (4)
- ・地衡風と地表風との対応について—多度津・岡山の場合—……………森 征洋 32 523-529 (9)
- ・冬期季節風の吹き出し時に日本近傍に現れる雲列群の出現分布
……………中田裕一 34 45-53 (1)

* その他

- ・GMS による上層風ベクトル平均場の長期変動
……………元木敏博 31 67-69 (1)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 6 冷気の流出に関するコメント……………木村竜治 31 175-178 (3)
- ・北大西洋上の寒気の南下とカルマン渦
……………木村竜治 31 190 (3)
- ・筋状絹雲の走向と上層風
……………白井紀一郎 32 199-200 (4)

1042 総観規模の降水

* 解説

- ・極東における梅雨現象について

105 中小規模大気擾乱

* 解説

- ・中小規模擾乱に関する研究の発展—その一断面—
……………浅井富雄 29 677-700 (7)
- ・悪天候を伴う中小規模擾乱の研究—発展の経過とわれわれの反省—
……………二宮洸三 29 1101-1112 (11)
- ・雲をつかむ話現代版—昭和57年秋季大会特別講演—
……………小倉義光 30 61-75 (2)
- ・気象, 気候における稀現象の解析
……………鈴木栄一 32 649-665 (12)
- ・メソ気象学の開拓—1990年度藤原賞受賞記念講演—
……………藤田哲也 37 803-807 (12)
- ・我国の数値予報システムの現状 (3) 狭領域モデルの概要……………瀬上哲秀 38 93-102 (2)

*論文

- ・関東地方の局地的悪天時の場の特徴の数値シミュレーション……山岸米二郎 30 531-538 (11)
 - ・対流活動に及ぼす地表面加熱の影響—数値シミュレーション—
……大野久雄・山岸米二郎 31 553-563 (9)
 - ・寒冷前線付近の強風帯と湿舌の構造
……力武恒雄 32 249-257 (5)
 - ・1983年7月27日に富山空港で発生した micro-burst
……中山 章・伊関次男 32 329-332 (6)
 - ・10分間降水量でみた長崎豪雨の構造
……荒生公雄 33 17-26 (1)
 - ・梅雨前線付近に発生する微気圧変動の特性および降雨との相関について
……田中 浩・湯木祥己 33 157-165 (4)
 - ・長崎豪雨に基づく強雨の10分間雨量分布モデル
……荒生公雄 33 271-273 (6)
 - ・大陸沿岸の地形の影響を受けた日本海上の‘带状収束雲’と‘Cu-Cb ライン’
……八木正允ほか 33 453-465 (9)
 - ・Horton 式に基づく「10分間雨量分布モデル」
……桑原英夫 34 103-107 (2)
 - ・強風災害をもたらした下降流突風の事例解析
……小元敬男 34 633-642 (10)
 - ・北海道西岸带状収束雲のドップラーレーダー観測 (I) —温暖前線型—
……藤吉康志ほか 35 427-439 (7)
 - ・冬季北海道西岸に形成される収束帯の数値実験
……佐々木孝秀・出口 悟 35 723-729 (12)
 - ・1983年9月6日の福岡市における豪雨の特徴(1)
—アメダス資料を主とした解析
……早川誠而ほか 36 121-126 (3)
 - ・1983年9月6日の福岡市における豪雨の特徴(2)
—レーダエコーを主とした解析
……早川誠而ほか 36 127-133 (3)
 - ・寿命の長いシングルセル型対流雲の構造の解析
……田畑 明ほか 36 499-507 (8)
 - ・1984年4月19日に、仙台付近を中心とした東北地方に起った地上気温の降下現象について
……岡本利次 36 631-641 (10)
 - ・梅雨と秋雨の降雨量の逆相関について
……友田好文・橋本和也 37 483-486 (7)
 - ・強い突風を伴った寒気(団)内低気圧
……山岸米二郎ほか 39 27-36 (1)
 - ・羽田で発生したダウンバースト(1987年7月25日)
……岩下晴彦 39 279-290 (5)
 - ・レーダーと写真撮影によって観測された長続きした対流雲の消長
……楠 研一 39 569-573 (9)
- *その他
- ・中規模の渦状の雲……三浦勇一 29 575-576 (5)
 - ・日本の南岸沖で発達する下層雲
……見立陽一 29 669-670 (6)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 1. 豪雪の機構について
……松本誠一 29 1041-1042 (10)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 2. 豪雪のメカニズムについて
……秋山孝子 29 1042-1043 (10)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 3. 実況の対応から見た56豪雪と38豪雪の特徴……石瀬宗弘 29 1044-1049 (10)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 4. 38豪雪及び山雪型の特徴について
……内山文夫 29 1049-1050 (10)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 5. 衛星画像による日本海の降雪雲に関する最近の研究遠藤辰雄 29 1050-1052 (10)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 6. 降積雪情報システムと豪雪
……木村忠志 29 1052-1057 (10)
 - ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 7. 北陸豪雪あれこれ
……樋口敬二 29 1058-1059 (10)
 - ・雲バンド内の降雨域の移動
……中村和信 29 1060 (10)
 - ・冬期日本海における3種類の中規模うずパターン
……嶋村 克 29 1159-1160 (11)
 - ・月例会「大気数値シミュレーション」(第4回)—積雲のシミュレーションの報告
……近藤洋輝ほか 29 1248-1249 (12)
 - ・衛星画像で見た対流性の雲塊の変化と降雨域
……木場博之 30 161-163 (3)
 - ・中・小規模じょう乱に伴う雲域と上層の谷との相互作用……加藤政勝 30 335-336 (7)
 - ・列島をはさむ二つの渦巻
……木本昌秀 30 395-397 (8)

- ・テイパリングクラウドの発達・衰弱と赤外データの時間変動……………元木敏博 30 565-569 (11)
 - ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 3 “やませ”について……………昆 幸雄 31 165-170 (3)
 - ・雷雲の列状発生と絹雲の帯……………鈴木和史 32 33-34 (1)
 - ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 1 ベリィ・ファイ・メッシュ・モデルの現状と問題点……………山岸米二郎 32 225-226 (5)
 - ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 3 レーダーとアメダスを用いた雨域の把握……………竹村行雄 32 229-231 (5)
 - ・レーダー・アメダス雨量合成図……………饒村 曜 33 27-28 (1)
 - ・極東域のモンスーンに関する国際研究集会の報告……………中村晃三 33 49-51 (2)
 - ・「MAP におけるレーダ技術発展と将来についてのワークショップ」の報告……………山中大学 33 431-434 (9)
 - ・局地モデルに関するミニワークショップの報告……………中村 一 34 239-241 (4)
 - ・観測・解析を中心とした米国メソ気象学事情—NOAA/NSSL に滞在して—……………石原正仁 34 481-486 (7)
 - ・東アジアの大気循環に関する国際会議—中国・成都, 1987年4月10~15日—……………浅井富雄ほか 34 509-515 (8)
 - ・激しい対流系とドップラーレーダー……………榊原 均 35 63-64 (1)
 - ・イギリス南部を襲った暴風……………瀬上哲秀 35 513-515 (8)
 - ・第2回「梅雨研究会」報告……………加藤内蔵進ほか 36 11-17 (1)
 - ・海面水温とメソ気象……………荒川正一 36 353-360 (6)
 - ・Gust Front (ガストフロント)……………上田 博 36 484 (8)
 - ・スーパークラスター……………中澤哲夫 36 743 (12)
 - ・メソスケールデータ同化に関する NCAR 夏期コロキウム参加報告……………青梨和正 38 64-71 (1)
 - ・WINTER ICING AND STORM PROJECT に参加して—NCAR 滞在記—……………村上正隆 38 171-173 (3)
 - ・降水を伴う中小規模現象 I. 数値実験……………猪川元興 38 325-330 (5)
 - ・月例会「レーダー気象」の報告……………田畑 明ほか 38 509-512 (8)
 - ・ソリトンと気象現象……………辻村 豊 38 519-525 (8)
 - ・収束雲帯(帯状収束雲)……………永田 雅 38 698 (11)
 - ・月例会「第1回メソ気象研究会」の報告……………吉崎正憲ほか 38 711-713 (11)
 - ・寒冷前線面に現われたケルビン—ヘルムホルツ波……………高藪 出 39 カラー (1)
 - ・第2回メソ気象研究会の報告……………藤吉康志ほか 39 295-298 (5)
 - ・「第3回メソ気象研究会」の報告……………新野 宏ほか 39 651-653 (10)
- ## 1051 中(間)規模擾乱
- *解説
 - ・極東における梅雨現象について……………加藤内蔵進 32 343-356 (7)
 - ・梅雨前線上の中間規模低気圧にともなう降水系—昭和62年度日本気象学会賞受賞記念講演—……………秋山孝子 34 733-742 (12)
 - ・メソ対流系の構造と組織化に及ぼす環境の影響……………小倉義光 37 439-465 (7)
 - *論文
 - ・V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪(II)……………内田英治 29 43-52 (1)
 - ・停滞前線上の豪雨を伴う中規模じょう乱の解析—1980.8.30~31—……………渡部浩章 30 93-101 (2)
 - ・能登半島と佐渡島を迂回し合流する雪雲の流れ—上越地方の大雪に関連して—……………八木正允・内山良子 30 291-294 (6)
 - ・冬期日本海における帯状雲のメソ構造—啓風丸の特別観測の解析—……………メソ気象調査グループ 35 237-248 (4)
 - ・厚さのうすい寒気の前縁部の Low Altitude

- Wind Shear の解析
 ……中山 章・栗山陽一 35 381-389 (6)
- ・島根県南西部の豪雨の解析—昭和60年7月6日—
 ……渡部浩章・栗原和夫 35 615-624 (10)
 - ・広島原爆後の“黒い雨”はどこまで降ったか
 ……増田善信 36 69-79 (2)
 - ・温帯低気圧に伴う Cloud Band 付近の大気運動の
 特徴……………渡辺 明ほか 37 203-208 (3)
 - ・関東北・西部山系を越える寒冷前線の変容：事例
 解析……………小倉義光ほか 38 635-644 (10)
 - ・台風時の南東風場が関東平野に現れるメソ前線
 —事例と統計—
 ……藤部文昭 39 697-706 (11)
 - ・ドップラーレーダーによって観測された亜熱帯ス
 コールラインの構造
 ……石原正仁ほか 39 727-743 (12)
- * その他
- ・本州南方海上を北上した対流雲
 ……斉藤和雄 30 483-484 (9)
 - ・月例会 「大気数値シミュレーション」(第6回)
 —中規模スケールの気象現象—の報告
 ……吉崎正憲ほか 31 652-653 (10)
 - ・イギリスにおける「前線」研究の動向—英国気象
 学会「前線」シンポジウムから—
 ……木村竜治 33 145-149 (4)
 - ・豪雨に関する Workshop について
 ……住 明正 33 579-584 (11)
 - ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
 乱」の報告 1 石狩平野の降雪の特徴
 ……菊地勝弘 35 135-140 (3)
 - ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
 乱」の報告 2 降雪雲の動的構造
 ……若濱五郎 35 141-146 (3)
 - ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
 乱」の報告 3 北海道西岸における小低気圧
 ……木部俊一郎 35 146-151 (3)
 - ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
 乱」の報告 4 日本海上の収束雲の数値実験
 ……永田 雅・猪川元興 35 151-155 (3)
 - ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
 乱」の報告 5 日本海豪雪の中規模の様相
 ……浅井富雄 35 156-161 (3)
 - ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
 乱」の報告 討論及び総合討論の記録とあと
 がき……………上田 博ほか 35 161-165 (3)
 - ・LLJ (下層ジェット)
 ……吉崎正憲 36 325-326 (5)
 - ・1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
 中豪雨」の報告 2. 集中豪雨の予測について
 ……萬納寺信崇 38 288-294 (5)
 - ・月例会「第1回メソ気象研究会」の報告
 ……吉崎正憲ほか 38 711-713 (11)
 - ・「収束雲」について (小倉氏のコメントを読んで)
 ……岡林俊雄 39 643-644 (10)
- ## 1052 豪雨, 雷雨
- * 論文
- ・日本で起りうる最大短時間雨量について
 ……桑原英夫 29 711-719 (7)
 - ・1979年7月15日の熊本県松島, 八代の豪雨の解析
 ……山口栄次 30 41-50 (1)
 - ・停滞前線上の豪雨を伴う中規模じょう乱の解析
 —1980. 8. 30—31—
 ……渡部浩章 30 93-101 (2)
 - ・能登半島と佐渡島を迂回し合流する雪雲の流れ
 —上越地方の大雪に関連して—
 ……八木正允・内山良子 30 291-294 (6)
 - ・対流活動に及ぼす地表面加熱の影響—数値シミュ
 レーション—
 ……大野久雄・山岸米二郎 31 553-563 (9)
 - ・静止気象衛星データからみた長崎豪雨
 ……長谷川隆司・二宮洗三 31 565-572 (9)
 - ・中国地方における梅雨期の豪雨形態と災害との関
 係……………根山芳晴 31 633-637 (10)
 - ・昭和58年7月豪雨の解析
 ……渡部浩章 31 739-746 (12)
 - ・台風8218号による東北地方の山がけ崩れと降水特
 性との対応性……………水野 量 32 573-580 (10)
 - ・10分間降水量でみた長崎豪雨の構造
 ……荒生公雄 33 17-26 (1)
 - ・長崎豪雨に基づく強雨の10分間雨量分布モデル

- ……………荒生公雄 33 271-273 (6)
- ・レーダーによる小松周辺の冬季雷の研究
……………道本光一郎ほか 33 445-452 (9)
- ・10分雨量データのみによる豪雨の検知と短時間最大雨量の予想……………塩月善晴 33 585-592 (11)
- ・帯状エコーの中で発達した対流雲のレーダーエコーの特徴 —1985年6月23日、北部九州たつ巻発生を主として—
……………早川誠而ほか 34 29-43 (1)
- ・2台のドップラーレーダーによって観測された関東地方の雷雲の内部構造
……………石原正仁ほか 34 321-332 (5)
- ・赤外線データを画素単位でみた長崎豪雨の構造
……………松長高雄 34 385-396 (6)
- ・島根県南西部の豪雨の解析—昭和60年7月6日—
……………渡部浩章・栗原和夫 35 615-624 (10)
- ・広島原爆後の“黒い雨”はどこまで降ったか
……………増田善信 36 69-79 (2)
- ・1986年7月10日鹿児島市豪雨の特徴解析
……………早川誠而ほか 36 207-213 (4)
- ・ハイエトグラフを利用した短時間雨量予測の試み
……………塩月善晴 36 449-459 (7)
- ・「島根県西部の豪雨の解析」の訂正について
……………渡部浩章・栗原和夫 36 595 (9)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (I)
不規則な多重セル型雷雲
……………竹内利雄ほか 37 45-50 (1)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (II)
レーダーによる落雷点の予測
……………竹内利雄ほか 37 51-53 (1)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (III)
巨大セル型雷雲
……………竹内利雄ほか 37 57-60 (1)
- ・離陸滑走中に遭遇したマイクロ・バーストの解析
……………中山 章・青山雅典 37 421-429 (6)
- ・1988年7月15日の浜田市付近の集中豪雨の特性
……………浜田周作 37 527-530 (8)
- ・集中豪雨発生直前の地上水平水蒸気収束場の状態
……………米谷恒春ほか 38 209-217 (4)
- ・島根県西部の豪雨の解析—昭和63年7月15日—
……………渡部浩章・平原隆寿 38 433-440 (7)
- ・落雷頻度でみた夏季、冬季の雷活動
……………河崎善一郎ほか 39 89-95 (2)

* その他

- ・GMSの赤外データと温帯低気圧に伴う降雨分布
……………松長高雄 30 613-616 (12)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 2 アメダスの風を利用した降雨の実態の把握と予測
……………中井公太 32 226-229 (5)
- ・豪雨に関する Workshop について
……………住 明正 33 579-584 (11)
- ・雨の短時間予報……………竹村行雄 34 229-238 (4)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 3 雲と降水のメカニズム
……………高橋 劭 36 407-412 (7)
- ・1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集中豪雨」の報告 1. 集中豪雨の解析とメカニズム……………小倉義光 38 276-288 (5)
- ・1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集中豪雨」の報告 2. 集中豪雨の予測について
……………萬納寺信崇 38 288-294 (5)
- ・1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集中豪雨」の報告
……………余田成男 38 275-276, 301-304 (5)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 38 509-512 (8)
- ・北海道胆振中部の豪雨
……………大川 隆 38 649-653 (10)

1053 竜巻

* 論文

- ・台風に伴う竜巻について
……………小元敬男 29 967-980 (9)
- ・帯状エコーの中で発達した対流雲のレーダーエコーの特徴 —1985年6月23日、北部九州たつ巻発生を主として—
……………早川誠而ほか 34 29-43 (1)
- ・札幌付近に発生した降雹と竜巻
……………菊地勝弘ほか 36 215-217 (4)
- ・その他
- ・大平洋上に発生した竜巻
……………蓮本浩志 29 1092-1093 (10)
- ・台風 (8310号) に伴うたつ巻
……………仲吉良功 31 147-148 (2)
- ・1990年10月9日の遠州灘のたつまき

- ……………新野 宏 38 カラー (1)
- ・レーダーがとらえた1990年12月11日千葉県
の巻雲の特性
……………鈴木 修・新野 宏 38 カラー (11)

106 極気象

* 解説

- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 7, 南極
気候研究計画
……………世界気候小委員会 29 767-771 (8)
- ・南極における放射収支
……………山内 恭 30 427-445 (9)
- ・<特集>南極オゾンホール
……………林田佐智子ほか 34 63-68 (1)
- ・オゾンの南極域春季減少—オゾン・ホール
……………小川利紘・柴崎和夫 34 431-440 (7)
- ・南極における気象研究—昭和62年度藤原賞受賞記
念講演—……………川口貞男 34 751-757 (12)
- ・「南極域における気候変動に関する総合研究
(ACR)」経過報告
……………山内 恭 37 641-657 (10)
- ・南極成層圏のエアロゾルの機能—オゾンホールと
物質循環—1990年度日本気象学会賞受賞記念
講演—……………岩坂泰信 37 797-802 (12)

* 論文

- ・昭和基地の気候 (第1報) —気象要素の季節変化
と季節区分—
……………近藤幸治・酒井重典 33 151-156 (4)
- ・ライダーによる南極昭和基地での薄い雲の観測
……………和田 誠・岩坂泰信 34 453-461 (7)
- ・南極東クィーンモードランド前進拠点における無
人気象観測
……………菊地時夫・牧野章汎 35 39-46 (1)

* その他

- ・北極域観測計画 (POLEX-NORTH) 現地観測あ
れこれ……………菊地勝弘 29 101-108 (1)
- ・第4回極域気水圏シンポジウム報告
……………気水圏シンポジウム係 29 574 (5)
- ・月例会「南極圏の気象」(第1回)の報告
……………廣田 勇ほか 31 586-587 (9)
- ・月例会「南極圏の気象」(第2回)の報告
……………近藤純正ほか 32 128-129, 132 (3)
- ・月例会「南極圏の気象」第3回の報告

- ……………伊藤朋之ほか 32 508-510 (9)
- ・月例会「南極圏の気象」(第4回)の報告
……………小野延雄ほか 33 167-168 (4)
- ・月例会「南極圏の気象」(第5回)の報告
……………伊藤朋之ほか 33 413-415 (8)
- ・「衛星観測による極域の雲に関するワークショッ
プ」の報告……………山内 恭 33 635-636 (12)
- ・第2回南半球の気象国際会議の報告
……………和田 誠・忠鉢 繁 34 243-244 (4)
- ・月例会「南極圏の気象」(第6回)の報告
……………安成哲三ほか 34 257-261 (4)
- ・月例会「南極圏の気象」(第7回)の報告
……………瀬古勝基ほか 34 785-789 (12)
- ・月例会「南極の気象」(第8回)の報告
……………遠藤辰男ほか 35 261-266 (4)
- ・Polar Ozone Workshop (極域オゾン研究会)
参加報告……………忠鉢 繁 35 707-708 (12)
- ・極域におけるオゾン特集 (GRL, 1988, 8月号)
の紹介……………秋吉英治 36 161-164 (3)
- ・中国南極観測国際シンポジウムに出席して
……………山内 恭 36 559-560 (9)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 2
オゾン層の力学
……………神沢 博 37 25-31 (1)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………山田真吾ほか 37 137-140 (2)
- ・氷河風は昼間吹く……………大畑哲夫 37 169-170 (3)
- ・南極オゾンホールとの出会い
……………忠鉢 繁 37 393-396, 411 (6)
- ・コペンハーゲン大学北極観測所
……………菊地勝弘 37 493-494 (7)
- ・南極極夜の熱バランス
……………山内 恭 37 832-834 (12)
- ・地球規模変動における極域の役割に関する国際会
議の報告……………田中 博ほか 38 103-106 (2)
- ・南極地域の対流圏化学に関するシンポジウム報告
……………伊藤朋之ほか 38 629-633 (10)
- ・極北の地フェアバンクスのマジックデー
……………田中 博 38 781-782 (12)
- ・極域研究連絡会1991年春季研究会「北極圏の大気
環境 (I)」報告
……………山内 恭ほか 38 783-784 (12)
- ・南極昭和基地でみた極成層圏雲

- ……………塚村浩二 39 カラー (9)
- ・極域研究連絡会1992年春季研究会「南極域の物質循環」報告
……………神沢 博・安成哲三 39 775-778 (12)

107 熱帯気象

* 解説

- ・熱帯域における東西循環・準定常超長波の実態解明と熱帯域数値予報の試み—学会賞受賞記念講演—……………金光正郎 31 77-90 (2)
- ・冬季における30—60日振動—昭和61年度藤原賞受賞記念講演—
……………村上多喜雄 33 419-430 (9)
- ・熱帯大気の季節内変動—昭和61年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………村上勝人 33 497-505 (10)
- ・ENSO (エル・ニーニョ/南方振動) の全球的様相—昭和61年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………安成哲三 33 507-513 (10)
- ・赤道域における大気・海洋結合系の力学に関する研究—昭和62年度日本気象学会賞受賞記念講演—……………山形俊男 34 743-749 (12)
- ・スーパークラスターと熱帯大規模対流活動—平成元年度山本賞受賞記念講演—
……………中澤哲夫 37 215-220 (4)

* 論文

- ・中・西部大太平洋熱帯地方における偏東風波動に伴う雲クラスターの雲域変動
……………栗原和夫・大野久雄 30 51-52 (1)
- ・赤道成層圏下部の気温の準二年周期振動を含めた平均値……………常岡好枝 32 195-197 (4)
- ・ENSO と西風バースト
……………村上多喜雄 35 673-686 (11)
- ・海面水温と長波放射の30—60日周期振動
……………村上多喜雄 35 715-722 (12)
- ・熱帯太平洋の海面水温と 500 mb 高度場との関係
……………小泉 耕 36 281-289 (5)
- ・エル・ニーニョ年の日本の天候の特徴
……………宮崎保彦 36 489-498 (8)
- ・ENSO とモンスーン
……………村上多喜雄 36 565-576 (9)
- ・太平洋熱帯海域における大気境界層の熱収支
……………萩野谷成徳・藤谷徳之助 37 397-408 (6)

* その他

- ・MONEX 成果に関する国際研究集会 (インドネシア, 1981年10月) の報告
……………MONEX 研究連絡会 29 177-182 (2)
- ・熱帯気象学に関する地域科学会議の報告
……………組織委員会ほか 30 193-199 (4)
- ・エル・ニーニョ……………時岡達志 30 485 (9)
- ・極東域のモンスーンに関する国際研究集会の報告
……………中村晃三 33 49-51 (2)
- ・TOGA (Tropical Ocean-Global Atmosphere) = 熱帯海洋および全球大気変動の研究計画の現状と今後の進展について
……………住 明正 33 233-235 (5)
- ・「MAP におけるレーダ技術発展と将来についてのワークショップ」の報告
……………山中大学 33 431-434 (9)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 1 季節内変動のモニタリング
……………河原幹雄 33 515-519 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 2 ENSO モデル研究の最近の進展
……………山形俊男 33 519-522 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 3 30—40日周期振動に関する数値実験
……………林 祥介 33 522-524 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 4 「TOGA」計画について……………住 明正 33 525-526 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 総合討論
……………松野太郎 33 526-528 (10)
- ・「インド・モンスーン長期予報100年」記念国際セミナーに参加して
……………安成哲三・栗原弘一 33 529-536 (10)
- ・TOGA-SSG IV/V について
……………住 明正 34 115-117 (2)
- ・30—60日周期変動の実態は何か?
……………中澤哲夫 34 269-272 (4)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム「梅雨とモンスーン」報告 3 中国黄河流域の降水量の年々変動とアジアモンスーンとの

- 関係……………田中 実 34 693-695 (11)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム「梅雨とモンスーン」報告 4 JMA モデルによる梅雨とモンスーンの予報実験……………中村 一 34 696-699 (11)
- ・ポンティアナック訪問記……………住 明正 34 723-724 (11)
- ・熱帯降雨観測国際シンポジウム……………中村建治・新田 勅 35 233-235 (4)
- ・熱帯の微気象と大気汚染の国際会議の報告……………木村富士男・大喜多敏一 35 551-553 (9)
- ・TRMM (熱帯降雨観測衛星計画)……………中村健治 36 214 (4)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 3 雲と降水のメカニズム……………高橋 劭 36 407-412 (7)
- ・パダン・プキティンギ訪問記……………山中大学・中村卓司 36 650-652 (10)
- ・スーパークラスター……………中澤哲夫 36 743 (12)
- ・ラ・ニーニャ……………山形俊男 37 4,17 (1)
- ・「モンスーンに関する国際シンポジウム」に参加して……………松本 淳ほか 37 389-392 (6)
- ・「インドネシア地域における赤道大気観測に関する国際シンポジウム」の報告……………加藤 進ほか 37 477-482 (7)
- ・J-COARE (西太平洋大気海洋相互作用研究計画)……………住 明正 37 616 (9)
- ・TOGA-COARE Workshop と TOGA-SSG 9 の報告……………住 明正 37 773-774 (11)
- ・熱帯海洋と全球大気 (TOGA) に関する国際研究集会に参加して……………安成哲三ほか 37 809-819 (12)
- ・月例会「レーダー気象」の報告……………田畑 明ほか 38 509-512 (8)
- ・第1回米国 TRMM (熱帯降雨観測衛星) 計画科学チーム会議……………新田 勅 38 561-564 (9)
- ・「エルニーニョ・南方振動に関する日米ワークショップ」(1990年9月10日~14日、米国シアトル) に参加して……………中澤哲夫ほか 38 623-627 (10)
- ・「インドネシア域における赤道大気観測に関する第3回国際シンポジウム」の報告……………津田敏隆ほか 38 747-755 (12)
- ・ペルーから届いた論文 1982/83年エル・ニーニョ・イベント時のリマ上空の大気の鉛直構造……………高谷美正 39 37-40 (1)
- ・「大気-海洋相互作用研究会」の報告……………藤谷徳之助 39 303-304 (5)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 2 地球気候システムにおけるアジアモンスーンの役割……………安成哲三 39 401-408 (7)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 4 アジアモンスーン-その気象と人象風景-……………村上勝人 39 414-418 (7)
- ・地球惑星科学関連学会1992年合同大会共催シンポジウム「赤道大気上下結合」の報告……………廣田 勇ほか 39 457-458 (8)
- ・TOGA COARE International Project Office の活動……………黒田芳史 39 655-657 (10)
- ・熱帯の気象と日本の天候……………新田 勅 39 769-773 (12)

1071 台風

* 解説

- ・台風3次元モデルによる進路予報……………大河内芳雄 30 277-289 (6)
- ・中国における台風の室内実験……………魏 鼎文ほか 34 307-316 (5)
- ・我国の数値予報システムの現状 (4)……………上野 充 38 141-147 (3)
- ・熱帯低気圧に関する国際協力の現状と台風特別実験について……………大西晴夫 38 739-746 (12)

* 論文

- ・島上観測データによる台風地上風速場の推測……………石島 英 29 951-966 (9)
- ・台風に伴う竜巻について……………小元敬男 29 967-980 (9)
- ・台風7916号 (OWEN) の成熟期の構造……………村松照男 29 1115-1128 (11)
- ・台風接近時に観測点で未来の風速-頻度スペクトルを予測する基礎的考察……………苅屋公明 29 1129-1142 (11)
- ・台風8115号通過時に 30 m 鉄塔で観測された気象特性……………甲斐憲次 29 1143-1151 (11)

- ・成熟した台風の温帯低気圧化の過程について—台風7916号 (OWEN) —
……………村松照男 29 1199-1212 (12)
- ・洞爺丸台風の温帯低気圧化について
……………村松照男 30 461-468 (9)
- ・台風の温帯低気圧化の過程における移動速度の変化……………村松照男 30 447-460, 468 (9)
- ・東アジアの台風襲来数と北大平洋の海面水温との関係……………解 思梅ほか 30 495-502 (10)
- ・台風接近時に 30 m 鉄塔で観測された強風のスペクトルについて
……………甲斐憲次 30 583-589 (12)
- ・台風の中心気圧の変化に先行する台風強度示数の変化
……………島田健司・用貝敏郎 31 59-62 (1)
- ・台風圏内における気圧・風・渦度の分布
……………富高四郎 32 53-62 (2)
- ・温帯低気圧移行時の台風の予報実験—T8310 の場合—……………三浦信男 32 371-379 (7)
- ・台風8218号による東北地方の山がけ崩れと降水特性との対応性……………水野 量 32 573-580 (10)
- ・台風8506号による高潮と副振動
……………小西達男ほか 33 263-270 (6)
- ・沖縄県地方に伝承される台風俚語の見直し
……………石島 英 34 245-254 (4)
- ・瀬戸大橋における風の特徴
……………横田寛伸 37 531-533 (8)
- ・台風8712号で観測された強風の特徴
……………荒生公雄・元田雄四郎 38 305-314 (5)
- ・バングラデシュを襲ったサイクロン—気象庁全球予報モデルによる予報—
……………楠 昌司 38 486-487 (8)
- ・1992年1月に発生した双子低気圧—気象庁全球予報モデルによる予報—
……………楠 昌司 39 629-630 (10)
- ・台風時の南東風場で関東平野に現れるメソ前線—事例と統計—
……………藤部文昭 39 697-706 (11)
- * その他
- ・藤原効果を示すハリケーン
……………木村竜治 29 934 (9)
- ・熱帯低気圧の対発生
……………木村竜治 30 302 (6)
- ・台風 (8310号) に伴うたつ巻
……………仲吉良功 31 147-148 (2)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の報告 1 アメダス資料からみた九州付近を通過する台風の風の特徴
……………渡辺 勉 32 395-397 (8)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の報告 2 台風の構造と温帯低気圧化について
……………村松照男 32 397-400 (8)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の報告 3 台風災害
……………奥田 穰 32 400-405 (8)
- ・台風の末期に共存した2種類の雲渦
……………木場博之・櫃間道夫 32 673-674 (12)
- ・INSAT からの眺め
……………櫃間道夫 33 52 (2)
- ・台風の新しい進路予報表示について
……………気象庁予報課 33 348 (7)
- ・熱帯低気圧に関する国際ワークショップの報告
……………北出武夫ほか 33 359-363 (8)
- ・台風予報あれこれ……………加藤久雄 35 313-320 (5)
- ・“台風” —その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 1 気候システムにおける台風……………住 明正 37 311-316 (5)
- ・“台風” —その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 2 台風の構造 (発生, 発達) のシミュレーション, 台風数値予報モデルを含む)
……………山岬正紀 37 316-320 (5)
- ・“台風” —その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 3 台風の移動と予測 (襲来頻度の統計的な考察を含む)
……………村松照男 37 320-323 (5)
- ・“台風” —その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 4 台風の強風の性質と確率モデルによるシミュレーション
……………藤井 健・光田 寧 37 324-328 (5)
- ・“台風” —その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 討論と総合討論
……………石島 英・仲吉良功 37 329-333 (5)

108 中層大気(成層圏・中間圏)

* 解説

- 成層圏と大気波動の研究をめぐって
……………松野太郎 29 1167-1186 (12)
- 大気潮汐波による下部熱圏平均風の生成—昭和60
年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………宮原三郎 33 183-188 (5)
- エルチチョン火山噴火に関連した成層圏エアロゾ
ルの研究……………林田佐智子 35 215-230 (4)
- 大型レーダーによる高層大気波動の研究—昭和63
年度堀内基金奨励賞受賞記念講演—
……………深尾昌一郎 36 341-346 (6)
- 中層大気の波とその碎波に関する研究—平成元年
度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………田中 浩 36 675-680 (11)
- 大気潮汐・大気重力波, MST レーダー平成元年度
藤原賞受賞記念講演—
……………加藤 進 36 681-685 (11)
- 中層大気・超高層大気研究: 21世紀への展望
……………深尾昌一郎ほか 38 257-273 (5)
- 中層大気中のプラネタリー・ロスビー波—1991年
度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………廣岡俊彦 39 111-122 (3)
- MU レーダーで観測される対流圏及び下部成層
圏の鉛直風擾乱—1991年度山本・正野論文賞
受賞記念講演—
……………佐藤 薫 39 337-346 (6)

* 論文

- 赤道成層圏下部の準二年周期振動—30年の経過と
特徴 (1953—1982)
……………常岡好枝 31 191-196 (3)
- 赤道成層圏下部の気温の準二年周期振動を含めた
平均値……………常岡好枝 32 195-197 (4)
- 1989年2月の成層圏大規模突然昇温
……………上野達雄 36 591-595 (9)
- レーウィンゾンデ観測における気温の昼夜差の検
討……………宮川幸治 38 112-122 (2)

* その他

- 日米セミナー「中層大気力学」の報告
……………廣田 勇ほか 30 133-135 (3)
- 京都国際 MAP シンポジウムを終えて
……………廣田 勇ほか 32 233-239 (5)
- IAMAP 総会 (ホノルル) への会員の派遣に関す

る報告

- ……………国際学術交流委員会 32 485 (9)
- IAGA/IAMAP 中層大気シンポジウムの報告
……………廣田 勇 32 621-622 (11)
- 「MAP におけるレーダ技術発展と将来について
のワークショップ」の報告
……………山中大学 33 431-434 (9)
- STE 研究会に参加して
……………岩崎俊樹 34 119-120 (2)
- 南半球中層大気と重力波に関する合同国際ワーク
ショップの報告
……………廣田 勇・神沢 博 34 611-613 (10)
- ヘルシンキ COSPAR 中層大気シンポジウムの報告
……………廣田 勇・山中大学 35 709-713 (12)
- 大型レーダー国際学校 (ISAR) および第4回
MST レーダーワークショップの報告
……………山中大学・佐藤 薫 36 269-274 (5)
- 米国気象学会中層大気分科会および南半球中層大
気国際研究集会の報告
……………廣田 勇ほか 36 615-620 (10)
- ソ連で開催された中層大気に関する国際シンポジ
ウムの報告……………津田敏隆 37 251-254 (4)
- 「亜熱帯大気の大規模レーダー観測に関する国際
ワークショップ」の報告
……………山中大学 37 603-604 (9)
- 第28回 COSPAR 総会および第7回 STP シンポ
ジウム (中層大気力学および惑星大気力学関
係) の報告……………山中大学 38 35-40 (1)
- スペシャル・セッション「いろいろなQBO (準二
年振動)」のまとめ
……………田中 浩 38 501-503 (8)
- 運と勘……………廣田 勇 39 355-361 (6)
- 地球惑星科学関連学会1992年合同大会共催シンポ
ジウム「赤道大気上下結合」の報告
……………廣田 勇ほか 39 457-458 (8)
- 「中層大気に関する国際シンポジウム」の報告
……………深尾昌一郎・山中大学 39 669-672 (11)
- 下層・中層大気中の結合過程に関する国際ワーク
ショップの報告
……………余田成男 39 679-681 (11)

1081 中間大気の微量成分

* 解説

- ・気象衛星による成層圏オゾンの観測—Nimbus 4号
BUVによる試み—
……………長谷部文雄 29 905-933 (9)
- ・成層圏イオン移動度研究の重要性—中層大気観測
計画 (MAP) の断面
……………川本洋人・小川俊雄 30 181-192 (4)
- ・成層圏イオン—最近の研究の進展—
……………川本洋人・小川俊雄 31 713-726 (12)
- ・<特集>南極オゾンホール
……………林田佐智子ほか 34 63-68 (1)
- ・オゾンの南極域春季減少—オゾン・ホール
……………小川利紘・柴崎和夫 34 431-440 (7)
- ・オゾン観測資料の利用について
……………高尾俊則 37 467-476 (7)
- ・化学蛍光法による大気酸化窒素の研究—平成2年
度堀内基金奨励賞受賞記念講演—
……………近藤 豊 38 195-201 (4)

* 論文

- ・ゴム気球による成層圏試料回収技術について
……………佐々木 徹ほか 37 617-620 (9)

* その他

- ・Polar Ozone Workshop (極域オゾン研究会)
参加報告……………忠鉢 繁 35 707-708 (12)
- ・国際オゾンシンポジウム・対流圏オゾンワーク
ショップ報告
……………小川利紘ほか 36 63-68 (2)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 序論
……………関口理郎 37 19 (1)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 1
オゾン層の観測
……………下道正則 37 20-25 (1)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 2
オゾン層の力学
……………神沢 博 37 25-31 (1)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 3
オゾン層の化学
……………近藤 豊 37 31-36 (1)

- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 4
オゾン層のモデリング
……………佐々木 徹 37 37-40 (1)
- ・1月号の35頁の写真から何故 PSCs と判断できる
か……………近藤 豊 37 357 (5)
- ・南極オゾンホールとの出会い
……………忠鉢 繁 37 393-396, 411 (6)

109 大気境界層 (乱流を含む)

* 解説

- ・複雑な地形上の夜間下降流と拡散に関する研究
—昭和59年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………山田哲二 32 151-156 (4)
- ・海上および沿岸地域での拡散モデル
……………岡本真一・塩沢清茂 36 711-722 (12)
- ・霧の Nowcasting……………沢井哲滋 37 509-518 (8)
- ・研究レビュー「リモートセンシングによる熱環境、
熱収支、蒸発散の評価」
……………川島茂人 38 351-362 (6)
- ・乱流のラージ・エディ・シミュレーションについ
て……………堀内 潔 38 683-697 (11)

* 論文

- ・複雑地形における夜間冷却—研究の指針—
……………近藤純正 29 935-949 (9)
- ・夏期朝の山頂と自由大気との気温差
……………小路正弘 30 24-30 (1)
- ・瀬戸内海沿岸における風の日変化の気候学的特性
……………森 征洋 30 19-23, 30 (1)
- ・猪苗代湖の熱源的役割
……………渡辺 明 30 137-142 (3)
- ・アメダス (地域気象観測所) データを用いた夜間
冷却量の解析と最低気温予報式 (2)
……………近藤純正・森 洋介 30 143-150 (3)
- ・日本における平均風向と風向の定常度について
……………森 征洋 30 217-223 (4)
- ・風速の日変化と年変化について—鳥取・岡山・多
度津・高松・高知の場合—
……………森 征洋 30 255-257 (5)
- ・夜間の地表面放射冷却と積雲および日本各地の最
低気温の極値について
……………近藤純正・山沢弘実 30 295-302 (6)
- ・日本における風の日変化の気候学的特性について

- (II) 一季節変化—
- ……………森 征洋 30 503-508 (10)
 - ・東北地方多地点一斉大規模山林火災を誘発した
1983年4月27日の異常乾燥強風(1)
……………近藤純正 30 545-552 (11)
 - ・局地風速と現実複雑地表面の粗度
……………近藤純正・山沢弘実 30 553-561 (11)
 - ・煙突から出た煙の三次元的運動の二点写真法による
観測……………石崎健二 30 595-602 (12)
 - ・大気境界層における温度拡散係数の季節変化につ
いて……………藤谷徳之助 30 603-609 (12)
 - ・東北地方多地点一斉大規模山林火災を誘発した
1983年4月27日の異常乾燥強風(2)
……………近藤純正・桑形恒男 31 37-44 (1)
 - ・冷気の堆積・流出を考慮した山地の夜間放射冷却
……………森 洋介・近藤純正 31 45-52 (1)
 - ・東北地方多地点一斉大規模山林火災を誘発した
1983年4月27日の異常乾燥強風(3)
……………近藤純正・桑形恒男 31 127-136 (2)
 - ・夏期瀬戸内海上の逆転層について
……………鈴木彌幸 31 639-640 (10)
 - ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第6報 内陸
立地点における風エネルギーの評価方法
……………橋口渉子 32 23-31 (1)
 - ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第7報 風エ
ネルギー予測システムの問題点と今後の課題
……………橋口渉子 32 73-77 (2)
 - ・金華山島の鹿を半減させた1984年1～4月の異常
低温と融雪遅延の熱収支解析
……………近藤純正・山崎幸雄 32 79-86 (2)
 - ・筑波研究学園都市で観測された大気境界層下部の
風の日変化とスペクトルについて
……………藤谷徳之助 32 259-269 (5)
 - ・オホーツク海域における大気中の熱収支と下層気
温の変動について
……………加藤内蔵進 32 425-433 (8)
 - ・乱流境界層中の乱れの減衰とその拡散への影響
(風洞実験)……………加藤真規子 32 511-522 (9)
 - ・寒気吹出時の東支那海上の逆転層の統計
……………本多庸浩・藤田敏夫 33 113-118 (3)
 - ・航空機 MSS データによる地表面熱収支分布の評
価……………川島茂人 33 333-344 (7)
 - ・大気境界層下部における乱流統計量の空間変動の
観測
……………藤谷徳之助・花房龍男 33 435-443 (9)
 - ・ミリ波レーダーによる海霧の観測
……………柳沢善治ほか 33 603-612 (11)
 - ・東シナ海における海面熱収支の季節変化
……………石井哲雄・近藤純正 34 517-526 (8)
 - ・釧路の海霧……………沢井哲滋 35 555-566 (9)
 - ・北海道南東海上の、霧または層雲・層積雲のある
気層での熱・水蒸気収支
……………川野 浩 36 369-375 (6)
 - ・“夏季のひうち灘における局地風循環と逆転層に
ついて”……………真島恒裕 37 101-111 (2)
 - ・東北南部から中部地方までのアメダス地点におけ
る地表面粗度の推定
……………桑形恒男・近藤純正 37 197-201 (3)
 - ・太平洋熱帯海域における大気境界層の熱収支
……………萩野谷成徳・藤谷徳之助 37 397-408 (6)
 - ・風洞実験における縮尺の効果について
……………水本伸子・藤本達見 37 699-708 (10)
 - ・成層流中に放出された Plume の上昇高さに及ぼ
す壁面及び境界層の効果
……………中井正則ほか 37 767-769 (11)
 - ・森林樹体の貯熱量の推定
……………近藤純正ほか 38 123-127 (2)
 - ・航行中の船舶を用いた広域の海面フラックスの測
定法について
……………藤谷徳之助・萩野谷成徳 38 441-447 (7)
 - ・西日本アメダス地点における地表面粗度の推定
……………桑形恒男・近藤純正 38 491-494 (8)
 - ・瀬戸内沿岸域におけるオキシダント濃度の鉛直分
布……………瀬戸信也 39 347-354 (6)
- * その他
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層に
ついて—タワーと風洞に関して」の報告 1
気象研究所観測用鉄塔による大気境界層の解析
……………花房龍男 31 91-100 (2)
 - ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層に
ついて—タワーと風洞に関して」の報告 2
室内実験による大気境界層のシミュレーション
……………植田洋匡 31 101-107 (2)
 - ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層に
ついて—タワーと風洞に関して」の報告 3
大気境界層の構造

- ……………横山長之 31 108-113 (2)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
について」の報告 5 局地地形における冷
却機構について
……………近藤純正 31 173-174 (3)
- ・「大気境界層観測の計測器及び計測技術に関する
短期講座」に出席して
……………塚本 修・伊藤芳樹 31 545-551 (9)
- ・韓国での第1回 ASAAQ 国際会議に参加して
……………竹内清秀・藤谷徳之助 33 199-201 (5)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告
……………小野 晃 34 175 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告 1 黄砂の発生と輸送
……………村山信彦 34 176-179 (3)
- ・第9回風工学シンポジウムの報告
……………竹内清秀・藤谷徳之助 34 441-442 (7)
- ・大気境界層ワークショップの講演から
……………木村富士男・竹内清秀 34 507-508 (8)
- ・熱帯の微気象と大気汚染の国際会議の報告
……………木村富士男・大喜多敏一 35 551-553 (9)
- ・non-local closure (非局所的クロージャ)
……………中村晃三 36 688 (11)
- ・スペシャルセッションの報告「地表面・大気相互
作用」(1988年秋), 「陸面過程」(1989年春)
……………増田耕一・桑形恒男 37 161-164 (3)
- ・力学的に誘起されたフェーン
……………猪川元興 37 420 (6)
- ・J-COARE (西太平洋大気海洋相互作用研究計画)
……………住 明正 37 616 (9)
- ・「大気—海洋相互作用研究会」の報告
……………藤谷徳之助 39 303-304 (5)
- ……………光田 寧ほか 35 411-415 (7)

* 論文

- ・不安定な接地気層における風速鉛直成分の歪度の
半実験式……………千葉 修 29 1213-1220 (12)
- ・アメダス(地域気象観測所) データを用いた夜間
冷却量の解析と最低気温予報式 (1)
……………近藤純正・森 洋介 29 1221-1233 (12)
- ・山地の夜間冷却と熱収支
……………森 征洋ほか 30 259-267 (5)
- ・盆地内に形成される夜間の安定気層(冷気湖)
……………近藤純正ほか 30 327-334 (7)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第1報 風エ
ネルギーの表現法とその基礎的解析
……………橋口渉子 30 367-375 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第2報 地形
分類メッシュデータによる多次元解析法
……………橋口渉子 30 376-384 (8)
- ・自動車による気温の移動観測における観測誤差
—特に自動車の影響を中心に—
……………佐橋 謙 30 509-514 (10)
- ・寒気吹き出し時における日本列島風下側の海上で
の熱及び水蒸気収支と雲の生成について
……………川野 浩ほか 30 575-582 (12)
- ・台風接近時に 30 m 鉄塔で観測された強風のスペ
クトルについて
……………甲斐憲次 30 583-589 (12)
- ・接地気層における風速鉛直成分の分布特性
……………千葉 修 31 27-35 (1)
- ・30 m 鉄塔で観測された風速変動と気圧変動の長
周期スペクトル
……………甲斐憲次 31 235-241 (4)
- ・大気境界層の風の日変化と日平均風 (I) —釧路
の解析例—……………白木正規 31 243-250 (4)
- ・大気境界層の風の日変化と日平均風 (II) —海陸
風に及ぼす一般風の影響—
……………白木正規 31 251-259 (4)
- ・複雑多様な地表面の熱収支—研究の指針—
……………近藤純正 31 573-581 (9)
- ・成田空港の滑走路に沿った霧の分布
……………藤部文昭 32 419-424 (8)
- ・乱流境界層中における鉛直方向の拡散とその拡散
パラメータについて (風洞実験)

1091 接地層

* 解説

- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測
……………光田 寧ほか 33 625-631 (12)
- ・ミー散乱ライダーを用いた大気研究—昭和61年度
日本気象学会山本賞受賞記念講演—
……………笹野泰弘 34 89-101 (2)
- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測 (2)
ズベニゴロド観測

- ……………加藤真規子 33 253-261 (6)
- ・ドップラーソーダの開発と大気境界層観測への応用……………伊藤芳樹ほか 33 375-385 (8)
- ・ヒートアイランドの形成要因としての都市キャニオンの天空比と夜間の長波放射収支……………朴 恵淑 34 579-587 (9)
- ・接地逆転層の生成・消滅過程の数値実験……………山本敏一 35 47-57 (1)
- ・係留気球で観測された局地的不連続線の立体構造……………佐橋 謙・大重義法 36 699-704 (11)
- ・鹿島で観測された乱流の接地逆転層について……………近藤裕昭ほか 38 151-156 (3)
- ・西日本アメダス地点における地表面粗度の推定……………桑形恒男・近藤純正 38 491-494 (8)
- ・広域陸面の蒸発—研究の指針—……………近藤純正・渡辺 力 38 699-710 (11)
- ・接地気層での海風前線の観測II—海風の侵入に伴う乱流統計量の変化—……………千葉 修ほか 38 765-769 (12)
- ・森林における降雨の遮断蒸発のモデル計算……………近藤純正ほか 39 159-167 (3)
- ・日本各地の森林蒸発散量の熱収支的評価……………近藤純正ほか 39 685-695 (11)
- * その他
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について—タワーと風洞に関して」の報告 1 気象研究所観測用鉄塔による大気境界層の解析……………花房龍男 31 91-100 (2)
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について—タワーと風洞に関して」の報告 2 室内実験による大気境界層のシミュレーション……………植田洋匡 31 101-107 (2)
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について—タワーと風洞に関して」の報告 3 大気境界層の構造……………横山長之 31 108-113 (2)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 5 局地地形における冷却機構について……………近藤純正 31 173-174 (3)
- ・「大気境界層観測の計測器及び計測技術に関する短期講座」に出席して……………塚本 修・伊藤芳樹 31 545-551 (9)
- ・韓国での第1回 ASAAQ 国際会議に参加して……………竹内清秀・藤谷徳之助 33 199-201 (5)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告……………小野 晃 34 175 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 1 黄砂の発生と輸送……………村山信彦 34 176-179 (3)
- ・第9回風工学シンポジウムの報告……………竹内清秀・藤谷徳之助 34 441-442 (7)
- ・大気境界層ワークショップの講演から……………木村富士男・竹内清秀 34 507-508 (8)
- ・熱帯の微気象と大気汚染の国際会議の報告……………木村富士男・大喜多敏一 35 551-553 (9)
- ・non-local closure (非局所的クロージャー)……………中村晃三 36 688 (11)
- ・スペシャルセッションの報告「地表面・大気相互作用」(1988年秋), 「陸面過程」(1989年春)……………増田耕一・桑形恒男 37 161-164 (3)
- ・力学的に誘起されたフェーン……………猪川元興 37 420 (6)
- ・J-COARE (西太平洋大気海洋相互作用研究計画)……………住 明正 37 616 (9)
- ・「大気—海洋相互作用研究会」の報告……………藤谷徳之助 39 303-304 (5)

1092 局地循環 (熱的原因による)

* 解説

- ・複雑な地形上の夜間下降流と拡散に関する研究—昭和59年度日本気象学会賞受賞記念講演—……………山田哲二 32 151-156 (4)

* 論文

- ・草加松原団地における小気候学的調査—ヒートドライアイランドを中心にして—……………榊原保志 29 141-150 (2)
- ・猪苗代湖周辺の局地循環……………渡辺 明 30 85-92 (2)
- ・山地の夜間冷却と熱収支……………森 征洋ほか 30 259-267 (5)
- ・盆地内に形成される夜間の安定気層 (冷気湖)……………近藤純正ほか 30 327-334 (7)
- ・冷気の堆積・流出を考慮した山地の夜間放射冷却……………森 洋介・近藤純正 31 45-52 (1)
- ・複雑地形上におけるエアトレーサー拡散実験と山

- 谷風の観測
 ……岡本眞一ほか 31 293-303 (5)
- ・複雑多様な地表面の熱収支—研究の指針—
 ……近藤純正 31 573-581 (9)
 - ・地形と地表面性質が夜間の斜面風・山風・盆地大
 気の冷却に及ぼす効果 (1)
 ……近藤純正 31 625-632 (10)
 - ・関東地方の下層風速極大について
 ……原田 朗 31 679-686 (11)
 - ・盆地内に形成される夜間冷気層 (冷気湖) の厚さ
 と地形との関係
 ……近藤純正・桑形恒男 31 727-737 (12)
 - ・地形と地表面性質が夜間の斜面風・山風・盆地大
 気の冷却に及ぼす効果 (2)
 ……近藤純正・佐藤 威 31 747-755 (12)
 - ・斜面下降風吹走時における斜面上の風と気温の時
 間変化について
 ……鳥谷 均 32 311-319 (6)
 - ・1981年5月12日に羽田空港に発生した Low Altitude
 Wind Shear (LAWS) の解析
 ……中山 章・渡辺文雄 34 615-624 (10)
 - ・夏型気圧配置時の中部日本における地上風系の特
 徴……鈴木力英・河村 武 34 715-722 (11)
 - ・弱い傾度風下での大気汚染の長距離輸送の気象学
 的構造……栗田秀實ほか 35 23-35 (1)
 - ・厚さのうすい寒気の前縁部の Low Altitude
 Wind Shear の解析
 ……中山 章・栗山陽一 35 381-389 (6)
 - ・風の日変化ホドグラフにおける回転方向の季節変
 化について
 ……伊藤久徳・野田 明 36 305-317 (5)
 - ・係留気球で観測された局地的不連続線の立体構造
 ……佐橋 謙・大重義法 36 699-704 (11)
 - ・可視化された宗谷海峡を抜ける冷気流
 ……藤吉康志 36 753-755 (12)
 - ・“夏季のひうち灘における局地風循環と逆転層に
 ついて” ……真島恒裕 37 101-111 (2)
 - ・東京都における自動車排ガス大気汚染に影響を及
 ぼす都市効果……増原孝明 37 119-127 (2)
 - ・海岸の都市が海風と汚染質拡散に与える影響の数
 値実験……吉門 洋 37 681-688 (10)
 - ・本州中部におけるひと雨降水時の地上風系と冷気
 層……藤部文昭 37 843-852 (12)
 - ・下北丘陵におけるヤマセ気団と海風の観測—1990

- 年6～9月の気温の鉛直分布と東西差
 ……菅野洋光 38 573-579 (9)
- ・台風時の南東風場で関東平野に現れるメソ前線
 —事例と統計—
 ……藤部文昭 39 697-706 (11)
- * その他**
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
 について」の報告 4 やませの数値シミュ
 レーション
 ……荒川正一 31 170-172 (3)
 - ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
 について」の報告 5 局地地形における冷
 却機構について
 ……近藤純正 31 173-174 (3)
 - ・氷河風は昼間吹く……大畑哲夫 37 169-170 (3)
 - ・局地循環……木村富士男 39 377-383 (6)

10921 海陸風

* 解説

- ・ミー散乱ライダーを用いた大気研究—昭和61年度
 日本気象学会山本賞受賞記念講演—
 ……笹野泰弘 34 89-101 (2)

* 論文

- ・大分市の夏季の海陸風
 ……楠田 信・阿部信男 29 81-86 (1)
- ・大分市における夏季の海陸風と二酸化硫黄濃度分
 布の関係
 ……阿部信男・楠田 信 29 87-90 (1)
- ・瀬戸内海沿岸における風の日変化の気候学的特性
 ……森 征洋 30 19-23, 30 (1)
- ・和歌山県における海陸風
 ……伊藤久徳・川添俊弘 30 151-159 (3)
- ・瀬戸内海西部に発生する陸風収束雲について
 ……中田隆一 30 476-482 (9)
- ・大気境界層の風の日変化と日平均風 (I) —釧路
 の解析例—……白木正規 31 243-250 (4)
- ・大気境界層の風の日変化と日平均風 (II) —海陸
 風に及ぼす一般風の影響—
 ……白木正規 31 251-259 (4)
- ・海風循環の発生時の一形態
 ……中田隆一 32 167-173 (4)
- ・大分市における局地風の立体観測
 ……局地風観測グループ 33 53-61 (2)

- ・八代における局地風循環の一立体観測
……………大河内康正ほか 34 375-382 (6)
- ・海陸風の風向分布について
……………瀬戸信也ほか 36 577-583 (9)
- ・接地気層での海風前線の観測 I—海風前線の侵入時刻と前線幅について
……………千葉 修ほか 37 415-419 (6)
- ・ハンググライダーによる局地風前線の観察
……………内藤邦裕 38 395-397 (6)
- ・接地気層での海風前線の観測 II—海風の侵入に伴う乱流統計量の変化—
……………千葉 修ほか 38 765-769 (12)
- * その他
- ・瀬戸内の海陸風について
……………根山芳晴 29 653-668 (6)
- ・人工衛星と航空機観測による海風前線の立体構造と汚染物質の立体分布
……………鶴田治雄 30 517-518 (10)
- ・大規模海風……………近藤裕昭 37 539-540 (8)
- ・肱川あらし……………中田隆一 39 カラー (7)
- ・山岳や山あいの地上風速に及ぼす地形の影響
……………萩野谷成徳ほか 31 497-505 (8)
- ・関東地方の下層風速極大について
……………原田 朗 31 679-686 (11)
- ・瀬戸内海上空の強風域について
……………佐橋 謙 32 321-328 (6)
- ・地衡風と地表風との対応について—多度津・岡山の場合—……………森 征洋 32 523-529 (9)
- ・大分市における局地風の立体観測
……………局地風観測グループ 33 53-61 (2)
- ・地域気象予知のための山頂風の利用
……………桑形恒男ほか 33 207-215 (5)
- ・山形県庄内平野中部の局地強風について
……………竹内衛夫 33 219-231 (5)
- ・野外実験と風洞実験による複雑地形上の拡散の比較……………加藤真規子ほか 34 397-407 (6)
- ・夏型気圧配置時の中部日本における地上風系の特徴……………鈴木力英・河村 武 34 715-722 (11)
- ・広島風(岡山県の局地風)に伴うロール雲
……………佐橋 謙 35 497-499 (8)
- ・複雑地形上の気流の解析(筑波山周辺気流の統計的解析)……………北林興二ほか 36 89-95 (2)
- ・“夏季のひうち灘における局地風循環と逆転層について”……………真島恒裕 37 101-111 (2)
- ・複雑地形上の気流の乱流特性—野外観測と風洞実験の比較—
……………加藤真規子ほか 37 171-183 (3)
- ・山間部において夜間の風向を決定している地形スケール……………須田芳彦 37 343-350 (5)
- ・瀬戸大橋における風の特性
……………横田寛伸 37 531-533 (8)
- ・ハンググライダーによる局地風前線の観察
……………内藤邦裕 38 395-397 (6)
- ・力学効果により谷筋に沿って吹く風
……………木村富士男 38 565-572 (9)
- ・霧を伴うやませの気象特性
……………井上君夫 39 459-467 (8)
- ・六甲おろしに伴う風下側のロール雲
……………横田寛伸・中島 肇 39 469-471 (8)
- ・筑波山周辺での拡散実験の解析とシミュレーション計算……………山澤弘実 39 605-613 (10)
- ・非静水圧ネスティングモデルによる局地風系のシミュレーション
……………斉藤和雄・猪川元興 39 615-625 (10)

1093 局地風(地形風)

* 解説

- ・複雑な地形上の夜間下降流と拡散に関する研究—昭和59年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………山田哲二 32 151-156 (4)
- ・地物・小地形と風……………塩谷正雄 34 491-506 (8)
- ・複雑地形上での拡散モデルの開発について
……………岡本眞一・塩沢清茂 35 595-605 (10)

* 論文

- ・日本における風の日変化の気候学的特性について
……………森 征洋 29 223-230 (3)
- ・冬型気圧配置下における中部日本の風系の日変化
……………仁科淳司 29 515-531 (5)
- ・階段状地形の後流の構造(第1部)
……………安枝伸子 29 633-641,647 (6)
- ・階段状地形の後流(第2部)後流渦中の拡散(風洞実験)……………安枝伸子 29 642-647 (6)
- ・猪苗代湖周辺の局地循環
……………渡辺 明 30 85-92 (2)
- ・複雑地形上におけるエアトレーサー拡散実験と山谷風の観測
……………岡本眞一ほか 31 293-303 (5)

* その他

- ・富士山付近の風下に形成される筋状雲
……………浅沼勝実 29 450 (4)
- ・北大西洋上の寒気の南下とカルマン渦
……………木村竜治 31 190 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
について」の報告 3 “やませ”について
……………昆 幸雄 31 165-170 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
について」の報告 4 やませの数値シミュ
レーション……………荒川正一 31 170-172 (3)
- ・富士山の風下に形成された交互配列の雲
……………原田知幸 32 381-383 (7)
- ・酒田の大火(1976年)はフェーンによるものでは
ありません……………青木 孝 33 514 (10)
- ・力学的に誘起されたフェーン
……………猪川元興 37 420 (6)
- ・第1回「やませの研究会」報告
……………加藤内蔵進ほか 38 371-373 (6)
- ・重力波ドラッグ……………岩崎俊樹 38 603-604 (9)
- ・局地循環……………木村富士男 39 377-383 (6)

1094 視程

* 解説

- ・釧路地方における海霧の観測
……………海霧研究グループ 32 41-52 (2)

* 論文

- ・北海道釧路市における市街地と郊外・海岸での海
霧の観測
……………上田 博・八木鶴平 31 137-145 (2)
- ・成田空港の滑走路に沿った霧の分布
……………藤部文昭 32 419-424 (8)
- ・沿岸滑昇海霧の発生について
……………孫野長治 32 491-496, 510 (9)
- ・ミリ波レーダーによる海霧の観測
……………柳沢善治ほか 33 603-612 (11)
- ・三沢飛行場に霧が侵入する際の気温の鉛直分布と
時間変化について
……………遠峰菊郎ほか 35 179-187 (3)
- ・釧路の海霧……………沢井哲滋 35 555-566 (9)
- ・ライダーによる霧の鉛直分布観測
……………平山 力ほか 35 607-610 (10)
- ・三沢飛行場におけるライダーを用いた霧の観測

……………阿部成雄ほか 36 643-649 (10)

* その他

- ・霧の理解のために……………沢井哲滋 29 731-747 (7)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告 3 日射観測からみた黄砂
……………荒生公雄 34 183-185 (3)

110 惑星気象

* 解説

- ・木星の大赤斑は、モドンか? (熱地衡風力学の位
置づけも含めて)
……………矢野順一 36 261-267 (5)
- ・惑星形成論に基づいた大気形成モデル—昭和63年
度堀内基金奨励賞受賞記念講演—
……………阿部 豊・松井孝典 36 333-339 (6)
- ・中層大気・超高層大気研究: 21世紀への展望
……………深尾昌一郎ほか 38 257-273 (5)

* その他

- ・SCOSTEP 審議会/MAP 委員会, 第6回 STP
シンポジウムおよび第26回 COSPAR 総会の
報告……………加藤 進ほか 34 23-26 (1)
- ・惑星進化と大気物理学
……………阿部 豊 35 107-108 (2)
- ・金星下層大気浮遊気球計画について
……………山中大学 35 391-393 (6)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「生態系と気候変動」の報告 1 生命の存在
と地球環境の生成
……………森山 茂 35 653-659 (11)
- ・ヘルシンキ COSPAR 総会の報告 (惑星大気力学
関係)……………山中大学 36 59-62 (2)
- ・暴走温室効果……………阿部 豊 37 351-352 (5)
- ・第28回 COSPAR 総会および第7回 STP シンポ
ジウム (中層大気力学および惑星大気力学関
係)の報告
……………山中大学 38 35-40 (1)
- ・ソリトンと気象現象
……………辻村 豊 38 519-525 (8)
- ・惑星気象学—金星と巨大惑星の気象力学を中心と
して
……………松田佳久・矢野順一 39 637-642 (10)

2 大気物理化学

* 解説

- ・南極成層圏のエアロゾルの機能—オゾンホールと物質循環—1990年度日本気象学会賞受賞記念講演—……………岩坂泰信 37 797-802 (12)
- ・人体への落雷と安全対策—1991年度藤原賞記念講演—……………北川信一郎 39 189-198 (4)

* 論文

- ・モニタリングポストによる空間線量率の変動要因について……………福田一義 29 781-785 (8)
- ・ハロー現象を伴う雲のレーザ・レーダ観測……………今須良一・岩坂泰信 37 689-698 (10)

* その他

- ・月例会「南極圏の気象」(第5回)の報告…………… 33 413-415 (8)
- ・惑星進化と大気物理学……………阿部 豊 35 107-108 (2)

201 大気化学

* 解説

- ・気象衛星による成層圏オゾンの観測—Nimbus 4号BUVによる試み—……………長谷部文雄 29 905-933 (9)
- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測……………光田 寧ほか 33 625-631 (12)
- ・対流圏イオン—新しい大気科学の視点—……………川本洋人・小川俊雄 34 5-21 (1)
- ・〈特集〉南極オゾンホール……………林田佐智子ほか 34 63-68 (1)
- ・二酸化炭素変動計の開発……………大滝英治ほか 34 293-304 (5)
- ・オゾンの南極域春季減少—オゾン・ホール……………小川利紘・柴崎和夫 34 431-440 (7)
- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測(2)ズベニゴロド観測……………光田 寧ほか 35 411-415 (7)
- ・大気中の二酸化炭素濃度のグローバル観測—平成元年度日本気象学会賞受賞記念講演—……………中澤高次 36 669-674 (11)
- ・酸性雨に関する最近の話題……………大喜多敏一 37 581-590 (9)
- ・化学蛍光法による大気酸化窒素の研究—平成2年

度堀内基金奨励賞受賞記念講演—

……………近藤 豊 38 195-201 (4)

- ・太平洋広域における大気海洋間の二酸化炭素交換の研究……………井上(吉川)久幸 38 203-207 (4)

* 論文

- ・成層圏オゾンの地表オキシダント濃度に及ぼす影響に関する一考察……………村尾直人ほか 29 537-545 (5)
- ・首都圏近郊における大気 NO₂ 全量の観測……………柴崎和夫・小川利紘 29 721-727 (7)
- ・弘前市における降水の化学成分……………中谷 周ほか 29 773-780 (8)
- ・冬期季節風と低気圧による降雪の安定酸素同位体組成……………井上治郎ほか 33 641-648 (12)
- ・地表面粗度をパラメータとした σ_z 図を使った都市の NO_x 拡散予測……………河野 仁ほか 35 189-197 (3)
- ・差分吸収レーザーレーダーを用いた宇宙からのオゾン観測の可能性について……………林田佐智子ほか 36 439-448 (7)
- ・青森県津軽地方の降水の pH 変動と NO₃⁻, SO₄²⁻ 降水量……………中谷 周・萩野 激 39 745-751 (12)

* その他

- ・大気浮遊塵の化学……………杉村行勇 29 157-171 (2)
- ・IGAC 計画……………小川利紘 34 87-88 (2)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 2 黄砂粒子の輸送と輸送途中で見られる物理・化学的变化……………岩坂泰信 34 179-183 (3)
- ・気象庁 大気二酸化炭素の観測を開始……………伊藤朋之 34 336 (5)
- ・地球大気化学国際シンポジウム報告……………小川利紘 35 231-232 (4)
- ・Polar Ozone Workshop (極域オゾン研究会)参加報告……………忠鉢 繁 35 707-708 (12)
- ・国際オゾンシンポジウム・対流圏オゾンワークショップ報告……………小川利紘ほか 36 63-68 (2)
- ・オゾン層の現状に関する声明……………国際オゾン委員会・小川利紘 36 508-509 (8)
- ・オゾン研究会報告……………林田佐智子 36 599-600 (9)

- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 3
オゾン層の化学
……………近藤 豊 37 31-36 (1)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 4
オゾン層のモデリング
……………佐々木 徹 37 37-40 (1)
- ・温室効果気体……………早坂忠裕 37 260, 264 (4)
- ・1月号の35頁の写真から何故 PSCs と判断できる
か……………近藤 豊 37 357 (5)
- ・第7回地球大気化学国際シンポジウムおよび
IGAC 進捗状況
……………小川利紘 38 149-150 (3)
- ・南極地域の対流圏化学に関するシンポジウム報告
……………伊藤朋之ほか 38 629-633 (10)
- ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭
素循環の謎を考える—化石燃料から出た
CO₂ はどこへ行ったか」の報告 1 大気
—海洋—陸上生態系炭素循環の簡略モデリング
の試み……………松野太郎 39 131-137 (3)
- ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭
素循環の謎を考える—化石燃料から出た
CO₂ はどこへ行ったか」の報告 2 炭素循環
の問題点……………田中正之 39 137-142 (3)
- ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭
素循環の謎を考える—化石燃料から出た
CO₂ はどこへ行ったか」の報告 4 海洋中
の生物・地球化学過程
……………半田暢彦 39 146-156 (3)
- ・酸性雨の化学……………土器屋由紀子 39 645-649 (10)
- 59年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………黒田登志雄 32 109-119 (3)
- ・雲粒子ゾンデの開発
……………水野 量ほか 38 5-9 (1)

論文

- ・北海道釧路市における市街地と郊外・海岸での海
霧の観測
……………上田 博・八木鶴平 31 137-145 (2)
- ・垂直風洞に浮遊する水滴の振動と分裂について
……………岩井邦中・中田元司 32 15-21 (1)
- ・複数雨滴集団モデルによる極値雨量強度曲線から
の雨滴粒度分布の再現
……………塩井善晴 32 553-563 (10)
- ・名古屋で観測されたエアロゾル粒径分布とその雲
物理学的特徴について
……………久芳奈遠美ほか 33 365-373 (8)
- ・冬冬季節風と低気圧による降雪の安定酸素同位体
組成……………井上治郎ほか 33 641-648 (12)
- ・ライダーによる南極昭和基地での薄い雲の観測
……………和田 誠・岩坂泰信 34 453-461 (7)
- ・小松周辺の冬季雷に関する一考察
……………道本光一郎 36 31-33 (1)
- ・日本周辺海上域に出現する雲の分布の時間変化の
特徴
……………池山雅美・武田喬男 36 43-53 (1)
- ・春季低気圧付近に観測される二種類の層状性降水
雲……………劉 国勝・武田喬男 36 147-157 (3)
- ・土井利位「雪華図説」の心理学的・科学的考察
……………内田英治 36 361-368 (6)
- ・ろ紙における降水粒子の質量測定の精度について
……………佐粧純男ほか 37 61-66 (1)

* その他

- ・大気汚染物質の除去作用に関する第4回国際会議
に出席して……………村上正隆 30 315-318 (7)
- ・第9回国際雲物理学会議 (ICPC) の報告
……………菊地勝弘ほか 32 357-361 (7)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告 5 氷晶核としての黄砂
……………田中豊顕 34 189-194 (3)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪” —日本海における中小規模じょう
乱」の報告 2 降雪雲の動的構造
……………若濱五郎 35 141-146 (3)
- ・clouds in climate II 研究集会 (1987年10月) の

202 雲物理

* 解説

- ・雲の形成と降水機構の研究の発展—微物理過程を
中心として……………磯野謙治 29 477-490 (5)
- ・降水の物理と大気電気
……………孫野長治 29 491-508 (5)
- ・雪結晶の成長形に関する実験的研究—昭和59年度
日本気象学会賞受賞記念講演—
……………権田武彦 32 101-108 (3)
- ・雪結晶の成長機構と形に関する理論的研究—昭和

- 報告……………武田喬男ほか 35 545-549 (9)
- ・冬霧のナゾを追って
 - ……………山本 晃 36 19-27 (1)
- ・ニュークリエーションと大気エアロゾルの第12回国際会議に出席して
 - ……………福田矩彦 36 119-120 (3)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 1 雲の放射特性
 - ……………田中正之 36 393-399 (7)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 3 雲と降水のメカニズム……………高橋 劭 36 407-412 (7)
- ・第10回国際雲物理学会議の報告
 - ……………武田喬男ほか 36 417-425 (7)
- ・第5回 WMO 気象制御・雲物理応用に関する科学会議(1989年5月8~12日, 中国北京市) 出席報告……………水野 量 36 477-479 (8)
- ・ECLIPS……………中村晃三 38 92 (2)
- ・Paluch Diagram ……高谷美正 38 168-169 (3)
- ・北海道胆振中部の豪雨
 - ……………大川 隆 38 649-653 (10)

2021 氷の物性

* 解説

- ・雪結晶の成長形に関する実験的研究—昭和59年度日本気象学会賞受賞記念講演—
 - ……………権田武彦 32 101-108 (3)
- ・雪結晶の成長機構と形に関する理論的研究—昭和59年度日本気象学会賞受賞記念講演—
 - ……………黒田登志雄 32 109-119 (3)

* 論文

- ・昇華係数・熱適合係数を考慮した球形の氷晶の成長について……………岩井邦中 32 63-72 (2)
- ・雪結晶及び単結晶氷の破壊面の結晶方位
 - ……………志尾 弥 37 491-492 (7)

* その他

- ・雪結晶の形態形成のシミュレーション
 - ……………黒田登志雄・横山悦郎 35 207-210 (3)
- ・WINTER ICING AND STORM PROJECT に参加して—NCAR 滞在記—
 - ……………村上正隆 38 171-173 (3)

203 大気電気

* 解説

- ・降水の物理と大気電気
 - ……………孫野長治 29 491-508 (5)
- ・北陸における冬の雷の研究
 - ……………竹内利雄・仲野 黄 30 13-18 (1)
- ・成層圏イオン移動度研究の重要性—中層大気観測計画 (MAP) の断面
 - ……………川本洋人・小川俊雄 30 181-192 (4)
- ・対流圏イオン—新しい大気科学の視点—
 - ……………川本洋人・小川俊雄 34 5-21 (1)
- ・人体への落雷と安全対策—1991年度藤原賞記念講演—……………北川信一郎 39 189-198 (4)

* 論文

- ・レーダーによる小松周辺の冬季雷の研究
 - ……………道本光一郎ほか 33 445-452 (9)
- ・小松周辺の冬季雷雲下の電界分布について
 - ……………鈴木三男ほか 34 443-452 (7)
- ・地表電界値による航空機の被雷防止法
 - ……………遠峰菊郎ほか 34 769-773 (12)
- ・冬季雷観測速報(レーダーエコー強度の高度変化と発雷)……………道本光一郎 35 613-614 (10)
- ・小松周辺の冬季雷に関する一考察
 - ……………道本光一郎 36 31-33 (1)
- ・夏季雷観測速報(レーダーエコー強度の高度変化と発雷)……………道本光一郎 36 513-514 (8)

* その他

- ・第7回国際大気電気学会議の報告
 - ……………小川俊雄ほか 32 133-137 (3)
- ・球電とみられる雷神
 - ……………原見敬二 32 675 (12)
- ・天孫降臨は雷電現象か
 - ……………原見敬二 33 578 (11)

204 エーロゾル

* 解説

- ・含塩類霧の粒度測定—サブミクロン粒子を中心として……………植野泰夫 31 153-157 (3)
- ・エルチチオン噴火と大気混濁度の変動
 - ……………山内豊太郎・志村英洋 31 533-544 (9)
- ・成層圏イオン—最近の研究の進展—
 - ……………川本洋人・小川俊雄 31 713-726 (12)

- ・ライダーにより観測された大気中エアロゾルの変動と大気・海洋変動の関連—昭和59年度藤原賞受賞記念講演—
……………広野求和 32 121-127 (3)
- ・対流圏イオン—新しい大気科学の視点—
……………川本洋人・小川俊雄 34 5-21 (1)
- ・ミー散乱ライダーを用いた大気研究—昭和61年度日本気象学会山本賞受賞記念講演—
……………笹野泰弘 34 89-101 (2)
- ・エルチチョン火山噴火に関連した成層圏エアロゾルの研究……………林田佐智子 35 215-230 (4)
- ・大気エアロゾルの物質組成に関する研究—昭和63年度故小野晃教授の日本気象学会賞受賞によせて—……………田中 浩 36 193-196 (4)
- ・酸性雨に関する最近の話題
……………大喜多敏一 37 581-590 (9)
- * 論文**
- ・黄砂粒子の輸送とその空間的ひろがり—1979年4月に見られた黄砂現象のレーザーレーダ観測—……………岩坂泰信ほか 29 231-235 (3)
- ・名古屋で観測されたエアロゾル粒径分布とその雲物理学の特徴について
……………久芳奈遠美ほか 33 365-373 (8)
- ・エルチチョン噴火と日射の経年変化
……………毛利英明 37 261-263 (4)
- ・黄砂エアロゾルの降下量分布—一般環境大気測定局の利用—
……………西川雅高ほか 38 221-228 (4)
- ・青森県津軽地方の降水のpH変動とNO₃⁻, SO₄²⁻降下量
……………中谷 周・萩野 激 39 745-751 (12)
- * その他**
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 ……小野 晃 34 175 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 1 黄砂の発生と輸送
……………村山信彦 34 176-179 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 2 黄砂粒子の輸送と輸送途中で見られる物理・化学的变化
……………岩坂泰信 34 179-183 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 3 日射観測からみた黄砂
……………荒生公雄 34 183-185 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 4 黄砂性エアロゾルの光学的特性……………中島映至 34 185-188 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 5 氷晶核としての黄砂
……………田中豊頭 34 189-194 (3)
- ・ニュークリエーションと大気エアロゾルの第12回国際会議に出席して
……………福田矩彦 36 119-120 (3)
- ・1月号の35頁の写真から何故PSCsと判断できるか……………近藤 豊 37 357 (5)
- ・クエート油井火災による環境汚染
……………重久陽亮 38 カラー (9)
- ・ピナトゥボ火山ダストによる光学現象
……………浅野正二 39 カラー (3)
- ・チャップマン会議「気候、火山、地球規模変動」(1992年3月23日から26日、ハワイ/ヒロ) 参加報告……………林田佐智子 39 665-667 (11)

205 雪氷学

* その他

- ・氷河風は昼間吹く……………大畑哲夫 37 169-170 (3)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」
……………田中 浩 39 397-398 (7)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 1 アジア高山雪氷圏と水循環
……………上田 豊 39 398-401 (7)

206 大気光学

* 解説

- ・エルチチョン噴火と大気混濁度の変動
……………山内豊太郎・志村英洋 31 533-544 (9)

* 論文

- ・ハロー現象を伴う雲のレーザ・レーダ観測
……………今須良一・岩坂泰信 37 689-698 (10)

* その他

- ・珍しい水平弧(かさ現象のひとつ)
……………大田正次 33 27 (1)
- ・パタゴニア(チリ)で見た雲、虹、蜃気楼
……………藤吉康志 33 389-392 (8)

- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告 3 日射観測からみた黄砂
……………荒生公雄 34 183-185 (3)
- ・緑閃光 (Green Flash)
……………吉村博儀 35 64 (1)
- ・紹介：根室で観察されたハロー現象
……………浅野正二 35 326-328 (5)
- ・異常量 (ハロー) も空からの手紙
……………増田善信 36 39, 54 (1)
- ・飯盛山で観測した蜃気楼
……………高橋忠司・西川正巳 38 カラー (7)
- ・林巳奈夫博士による中国古代史上の「かさ現象」
に関する論考……………荒生公雄 39 カラー (5)
- ・冬期季節風の吹き出し時に日本近傍に現れる雲列
群の出現分布……………中田裕一 34 45-53 (1)
- ・広島風 (岡山県の局地風) に伴うロール雲
……………佐橋 謙 35 497-499 (8)
- ・中層雲にあいた円形の穴
……………半田 孝・正木 明 36 35-38 (1)
- ・可視化された宗谷海峡を抜ける冷気流
……………藤吉康志 36 753-755 (12)
- ・日本における8世紀から18世紀までの雲観察の要
因解析……………内田英治 37 185-192 (3)
- ・東洋における雲の文様の史的変遷の解析
……………内田英治 39 207-217 (4)

* その他

- ・乱気流の多発する雲のパターン例
……………柴田 宣 29 175-176 (2)
- ・中規模の渦状の雲
……………三浦勇一 29 575-576 (5)
- ・平坦な雲と凹凸のある雲との境界
……………土屋 喬 29 749-750 (7)
- ・冬期日本海における3種類の中規模うずパターン
……………嶋村 克 29 1159-1160 (11)
- ・これが豊旗雲だ……………伊藤亀雄 30 393-394 (8)
- ・北太平洋地域の特殊雲列
……………高崎洋見 31 315-318 (5)
- ・雷雲の列状発生と絹雲の帯
……………鈴木和史 32 33-34 (1)
- ・前線性雲バンドのふるまい
……………永沢義嗣 32 130-132 (3)
- ・筋状絹雲の走向と上層風
……………白井紀一郎 32 199-200 (4)
- ・富士山の風下に形成された交互配列の雲
……………原田知幸 32 381-383 (7)
- ・泡状に見える上層雲
……………伊藤秀喜 32 487-489 (9)
- ・台風の末期に共存した2種類の雲渦
……………木場博之・櫃間道夫 32 673-674 (12)
- ・奨励金受賞を今後の糧として
……………西銘宜正 37 202 (3)
- ・雲をつかむ
……………横田寛伸・山根 悟 39 233-237 (4)
- ・「収束雲」について (小倉氏のコメントを読んで)
……………岡林俊雄 39 643-644 (10)

207 大気音響学

* 論文

- ・地震に伴う超低周波音
……………田平 誠 32 189-194 (4)
- * その他
- ・音波による大気及び海洋のリモートセンシング国
際シンポジウムに出席して
……………福島 圓 29 605-609 (6)
 - ・音の進行と気温の関係について—古歌などに見ら
れる日本人の感覚—
……………田村専之助 31 707-708 (11)

208 雲学 (雲の形態学)

* 論文

- ・V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪 (II)
……………内田英治 29 43-52 (1)
- ・予想曇天域の衛星雲画像の表現—8層北半球モデ
ルを使用して—
……………三浦信男・大野久雄 30 303-309 (6)
- ・航空悪天予想図中でCbクラスター域を診断する
際の相対湿度基準値
……………大野久雄・伊佐真好 31 489-492 (8)
- ・冬季の季節風の吹き出し方向に対して、おおよそ
直交する方向にロール軸をもつ大規模な雪雲
……………八木正允 32 175-187 (4)
- ・赤外データを用いた強雨を伴う積乱雲クラスター
の解析
……………三木芳幸・土屋 喬 32 667-672 (12)

3 気候

* 解説

- ・脳卒中と気候・人工気候
…………… 榎山政子 34 659-670 (11)

* 論文

- ・風の日変化ホドグラフにおける回転方向の季節変化について
…………… 伊藤久徳・野田 明 36 305-317 (5)
- ・エル・ニーニョ年の日本の天候の特徴
…………… 宮崎保彦 36 489-498 (8)

* その他

- ・季節現象の観測と気候の解明への応用
…………… 河村 武 29 559-574 (5)
- ・第4回合同科学委員会 (JSC-IV) の報告—1983年3月, ヴェニス—
…………… 浅井富雄 31 63-66 (1)
- ・第5回合同科学委員会 (JSC-V) の報告—1984年3月, 杭州—
…………… 浅井富雄 31 507-512 (8)
- ・第2回統計気候学国際研究集会に出席して
…………… 岡本雅典 31 673-677 (11)
- ・WCP レポートシリーズについて
…………… 真野裕三 33 63-70 (2)
- ・月例会「南極圏の気象」(第4回)の報告
…………… 小野延雄ほか 33 167-168 (4)
- ・TOGA (Tropical Ocean-Global Atmosphere) = 熱帯海洋および全球大気変動の研究計画の現状と今後の進展について
…………… 住 明正 33 233-235 (5)
- ・「気候問題」における我国最大の問題
…………… 田宮兵衛 34 55-58 (1)
- ・TOGA-SSG IV/V について
…………… 住 明正 34 115-117 (2)
- ・第2回世界気候会議出席報告
…………… 新田 尚ほか 38 553-560 (9)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」5 モデリングの側からのコメント
…………… 増田耕一・佐藤信夫 39 419-420 (7)

301 大気候

* 解説

- ・熱帯域における東西循環・準定常超長波の実態解明と熱帯域数値予報の試み—学会受賞記念講演—
…………… 金光正郎 31 77-90 (2)

* 論文

- ・500 mb 偏差パターンの持続性と類似性
…………… 荒井 康 29 151-155 (2)
- ・東アジアの台風襲来数と北大洋の海面水温との関係
…………… 解 思梅ほか 30 495-502 (10)
- ・日本の夏季気温と西部熱帯太平洋域の海水温との関係
…………… 栗原弘一 32 407-417 (8)
- ・大規模火山爆発直後における金華山平均気温と北半球中緯度平均気温の関係
…………… 近藤純正 32 623-630 (11)
- ・北半球 500 mb 高度のテレコネクションと日本のシンギュラリティ
…………… 川村隆一・田 少奮 39 75-85 (2)
- ・冬型降水に及ぼす日本海海面水温の影響
…………… 中江祥浩 39 271-278 (5)

* その他

- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 2 グローバルな場で見た東北の冷夏……星合 誠 31 164-165 (3)
- ・中国の気候と世界の気候との関係：過去・現在・将来……吉野正敏ほか 32 139-142 (3)
- ・昭和60年度春季大会シンポジウム「気候変動」の報告 2 数値モデルによる気候の研究
…………… 時岡達志 32 614-619 (11)
- ・全球降水気候計画 (GPCP) の経緯と現状
…………… 操野年之 35 203-206 (3)
- ・clouds in climate II 研究集会 (1987年10月) の報告……武田喬男ほか 35 545-549 (9)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 4 GCM を用いた生態系の気候形成における役割の研究
…………… 山崎孝治 35 667-672 (11)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 1 雲の放射特性
…………… 田中正之 36 393-399 (7)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 2 大気大循環モデルにおける雲の取り扱い

- ……………時岡達志 36 399-407 (7)
- ・“台風” — その最盛期における特徴と予測および
防災について — の報告 1 気候システムに
おける台風……………住 明正 37 311-316 (5)
- ・第1回「やませの研究会」報告
……………加藤内蔵進ほか 38 371-373 (6)
- ・TOGA-COARE 実施計画会議の報告
……………住 明正・竹内謙介 38 595-601 (9)
- ・「中世温暖期」研究集会 (1991年11月5〜8日,
トゥーソン) の報告
……………田上善夫 39 453-456 (8)
- ・第5回統計気候学国際研究集会の報告
……………田中 博・北川源四郎 39 719-722 (12)

302 中気候

*論文

- ・日本における風の日変化の気候学的特性について
……………森 征洋 29 223-230 (3)
- ・冬型気圧配置下における中部日本の風系の日変化
……………仁科淳司 29 515-531 (5)
- ・関東地域における運動学的量の平均場について
(II) — 季節的特徴 —
……………渡辺 明 29 611-623 (6)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第1報 風エ
ネルギーの表現法とその基礎的解析
……………橋口渉子 30 367-375 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第2報 地形
分類メッシュデータによる多次元解析法
……………橋口渉子 30 376-384 (8)
- ・気候要素の地域区分への主成分分析法の応用 (降
水量によるわが国の地域区分)
……………野本眞一ほか 30 385-392, 394 (8)
- ・日本における風の日変化の気候学的特性について
(II) — 季節変化 —
……………森 征洋 30 503-508 (10)
- ・地上気温月平均年値の永年変化例
……………坂本篤造 30 515-516 (10)
- ・典型的なヤマセ時のオホーツク海気団の特性
……………工藤泰子 31 411-419 (7)
- ・東北地方の大飢饉をもたらした天保年間の異常冷
夏……………近藤純正 32 241-248 (5)

- ・瀬戸内海上空の強風域について
……………佐橋 謙 32 321-328 (6)
- ・日本における風の年変化の気候学的特性について
……………森 征洋 33 539-549 (10)
- ・約10年の卓越周期を持つ本州東部の気温変動
……………藤部文昭 36 139-143 (3)
- ・梅雨と秋雨の降雨量の逆相関について
……………友田好文・橋本和也 37 483-486 (7)

*その他

- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」
の報告 3 オホーツク海の北海道の気象へ
の影響……………大川 隆 30 350-355 (8)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏
について」の報告 1 総観規模でみた東北
の冷夏……………二宮洗三 31 159-164 (3)
- ・ケニヤお天気事情……………篠田雅人 35 490-491, 493 (8)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報
告「グローバル水循環とアジア」 3 東
アジア乾燥地域周辺の水循環
……………加藤内蔵進ほか 39 408-413 (7)

303 小気候

*論文

- ・広戸風 (岡山県の局地風) に伴うロール雲
……………佐橋 謙 35 497-499 (8)
- ・飛驒の朝霧について
……………下畑五夫 39 565-567 (9)

304 都市気候

*解説

- ・都市気候に関する研究の動向 — 昭和63年度藤原賞
受賞記念講演 —
……………河村 武 36 197-205 (4)

*論文

- ・日本の都市気象台における近年の湿度の低下につ
いて……………小元敬男 29 73-80 (1)
- ・大分市の夏季の海陸風
……………楠田 信・阿部信男 29 81-86 (1)
- ・大分市における夏季の海陸風と二酸化硫黄濃度分
布の関係
……………阿部信男・楠田 信 29 87-90 (1)
- ・草加松原団地における小気候学的調査 — ヒートド

- ライアイランドを中心にしてー
……………榎原保志 29 141-150 (2)
- ・NOAA-6 AVHRR による都市ヒートアイランド
の検出……………土屋 巖 29 555-557 (5)
- ・自動車による気温の移動観測における観測誤差
ー特に自動車の影響を中心にー
……………佐橋 謙 30 509-514 (10)
- ・積雪都市のヒート・アイランド現象
……………大畑哲夫ほか 32 87-95 (2)
- ・都市大気における汚染物質および道路粉じんの3
次元挙動とヒートアイランド
……………齋藤武雄・千葉秀樹 34 195-204 (3)
- ・ヒートアイランドの形成要因としての都市キャニ
オンの天空比と夜間の長波放射収支
……………朴 恵淑 34 579-587 (9)
- ・札幌夏季気温と太陽活動
……………小寺邦彦 35 321-323 (5)
- ・建物における蓄熱の数値実験
……………榎原保志 36 431-438 (7)
- ・東京都における自動車排ガス大気汚染に影響を及
ぼす都市効果……………増原孝明 37 119-127 (2)
- ・海岸の都市が海風と汚染質拡散に与える影響の数
値実験……………吉門 洋 37 681-688 (10)
- * その他
- ・中小都市の熱環境……………土屋 巖 32 631-634 (11)

305 古気候

- * 解説
- ・惑星形成論に基づいた大気形成モデルー昭和63年
度堀内基金奨励賞受賞記念講演ー
……………阿部 豊・松井孝典 36 333-339 (6)
- * 論文
- ・東北地方の大飢饉をもたらした天保年間の異常冷
夏……………近藤純正 32 241-248 (5)
- * その他
- ・国際シンポジウム「Ice and Climate (雪氷圏と気
候)」に参加して
……………安成哲三ほか 37 165-168 (3)
- ・古気候の変化と進化
……………浅間一男 37 605-608 (9)
- ・欧州科学財団研究集会「史料から復元されたヨー
ロッパの気候：方法と成果」ー1990年3月1
～3日、マインツーの報告

- ……………田上善夫 37 677-680 (10)
- ・1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景ー気候と共存するサ
ブ・システムをめぐってー」3 永久凍土と
気候……………福田正己 37 736-741 (11)
- ・「中世温暖期」研究集会(1991年11月5～8日、
トウソン)の報告
……………田上善夫 39 453-456 (8)

306 気候の変動

* 解説

- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 1. 世界
気候小委員会の討議の概要
……………世界気候小委員会 29 35-41 (1)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 2. 気候
診断について
……………世界気候小委員会 29 135-140 (2)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 3. デー
タ管理
……………世界気候小委員会 29 215-222 (3)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 4. 気候
モデリング
……………世界気候小委員会 29 509-514 (5)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 5. 海洋
観測……………世界気候小委員会 29 595-603 (6)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 6. 気候
形成に重要な諸過程の観測計画
……………世界気候小委員会 29 701-710 (7)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 7. 南極
気候研究計画
……………世界気候小委員会 29 767-771 (8)
- ・世界の気候はどうか変わるか
……………山元龍三郎 31 219-226 (4)
- ・国際衛星雲気候計画(ISCCP)の進展
……………久保田 効 32 5-13 (1)
- ・ライダーにより観測された大気中エアロゾルの変
動と大気・海洋変動の関連ー昭和59年度藤原
賞受賞記念講演ー
……………広野求和 32 121-127 (3)
- ・対流圏イオンー新しい大気科学の視点ー
……………川本洋人・小川俊雄 34 5-21 (1)
- ・赤道域における大気・海洋結合系の力学に関する
研究ー昭和62年度日本気象学会賞受賞記念講

- 演—……………山形俊男 34 743-749 (12)
- ・地球回転と大気海洋力学—その新しい連携—
……………内藤勲夫 35 291-311 (5)
 - ・最近の気候影響・利用の研究 —その組織・課題・
成果—……………吉野正敏 37 5-17 (1)
 - ・地球温暖化の実態に関する研究の動向
……………山元龍三郎 37 289-305 (5)
 - ・「南極域における気候変動に関する総合研究
(ACR)」経過報告
……………山内 恭 37 641-657 (10)
 - ・気候温暖化に伴う海面水位の上昇について
……………周東健三 38 77-91 (2)
- *論文**
- ・東日本における小笠原気団の長期変動と太陽黒点
……………木村耕三 29 547-554 (5)
 - ・最近300年間の火山爆発と異常気象・大凶作
……………近藤純正 32 157-165 (4)
 - ・東北地方の大飢饉をもたらした天保年間の異常冷
夏……………近藤純正 32 241-248 (5)
 - ・最近150年間の東北地方における米収量(作況指
数)と夏の平均気温との関係
……………近藤純正 32 363-369 (7)
 - ・日本の夏季気温と西部熱帯太平洋域の海水温との
関係……………栗原弘一 32 407-417 (8)
 - ・大規模火山爆発直後における金華山平均気温と北
半球中緯度平均気温の関係
……………近藤純正 32 623-630 (11)
 - ・火山活動が気候に及ぼす影響の統計的分析
……………高橋浩一郎 33 615-620 (11)
 - ・北太平洋を中心とした最近の冬季の冷化について
……………柏原辰吉 34 777-781 (12)
 - ・札幌夏季気温と太陽活動
……………小寺邦彦 35 321-323 (5)
 - ・日本周辺海上域に出現する雲の分布の時間変化の
特徴
……………池山雅美・武田喬男 36 43-53 (1)
 - ・約10年の卓越周期を持つ本州東部の気温変動
……………藤部文昭 36 139-143 (3)
 - ・「気候一次元“模型”の解析」
……………石井正好・金久博忠 36 291-302 (5)
 - ・中冷夏の1988年—過去154年間の冷夏18位, 微雨含
む雨日数1位—
……………近藤純正 36 515-517 (8)
 - ・ENSO とモンスーン
……………村上多喜雄 36 565-576 (9)
 - ・地球の角運動量収支とコア・マントル非結合
……………内藤勲夫・菊地直吉 36 625-630 (10)
 - ・東北地方太平洋沿岸域の大気と海洋の相互作用の
長期変動……………山崎幸雄ほか 36 689-695 (11)
 - ・レーウィンゾンデ観測における気温の昼夜差の検
討……………宮川幸治 38 112-122 (2)
 - ・地球自転速度の不規則変動に対する大気の寄与
……………内藤勲夫・菊地直吉 39 17-22 (1)
 - ・年周極運動に対する風の寄与
……………菊地直吉・内藤勲夫 39 23-26 (1)
 - ・1992年1月に発生した双子低気圧—気象庁全球予
報モデルによる予報—
……………楠 昌司 39 629-630 (10)
- *その他**
- ・気候変動と海洋に関する研究の最近の動向(3)
—WCRP 大規模海洋実験研究会議(東京,
1982年5月)の報告—
……………浅井富雄 29 1081-1091 (10)
 - ・オーストラリア内陸部で早ばつの被害深刻
……………「天気」編集委員会 29 1220 (12)
 - ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」
の報告 1 オホーツク海の海水分布とその
変化……………赤川正臣 30 343-345 (8)
 - ・エル・ニーニョ……………時岡達志 30 485 (9)
 - ・海洋大循環実験(WOCE)科学作業グループ第1
回会合(ウズホール, 1983年8月)の報告
……………木村竜治 30 519-524 (10)
 - ・気候変動国際協同研究計画(WCRP)が日本学術
会議第91回総会で決議された
……………山元龍三郎 30 562-564 (11)
 - ・「近年における世界の異常気象の実態調査とその
長期見通しについて(III)」の紹介
……………真野裕三 31 270-272 (4)
 - ・中国の気候と世界の気候との関係: 過去・現在・
将来……………吉野正敏ほか 32 139-142 (3)
 - ・海洋大循環実験(WOCE)科学作業グループ第2
回(ワームリー, 1984年1月), 第3回(ベニ
ス, 1984年11月)の会合報告
……………木村竜治 32 143-147 (3)
 - ・昭和60年度春季大会シンポジウム「気候変動」の
報告 1 気候変動の診断
……………星合 誠 32 609-613 (11)
 - ・昭和60年度春季大会シンポジウム「気候変動」の

- 報告 2 数値モデルによる気候の研究
 ……時岡達志 32 614-619 (11)
- ・海面水温異常 (SSTA) の効果に関するモデルの結果の国際比較に関する会議の報告
 ……住 明正 33 203-205 (5)
 - ・IGBP/Study of Global Change
 ……浅井富雄 33 275-276 (6)
 - ・「国際衛星雲気候計画 (ISCCP) 資料管理作業委員会第5回会議」
 ……黒崎明夫 33 633-634 (12)
 - ・気候研究のための衛星観測システムに関する作業委員会 (JSC/CCCO WGSOS) 第4回会議報告
 ……村山信彦 34 317-320 (5)
 - ・国際会議「南半球の気象」・「気候変動のメカニズム」と CSIRO 大気研究部門訪問
 ……余田成男 34 337-338 (5)
 - ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 1 生命の存在と地球環境の生成
 ……森山 茂 35 653-659 (11)
 - ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 2 植生地の顕熱・潜熱輸送のパラメータ化
 ……近藤純正 35 659-662 (11)
 - ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 3 森林草地、半乾燥地からの蒸発散量
 ……三上正男・安田延壽 35 662-667 (11)
 - ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 4 GCM を用いた生態系の気候形成における役割の研究
 ……山崎孝治 35 667-672 (11)
 - ・Climate System Modeling Initiative (CSMI) 第1回研究集会に出席して
 ……田中 博 36 275-277 (5)
 - ・地球規模気候変動における地表面放射収支 (SRB) に関する COSPAR/WCRP ワークショップ出席報告
 ……山内 恭 37 116-118 (2)
 - ・国際シンポジウム「Ice and Climate (雪氷圏と気候)」に参加して
 ……安成哲三ほか 37 165-168 (3)
 - ・山元龍三郎氏の解説「地球温暖化の実態に関する研究の動向」を読んで
 ……高谷美正 37 545-546 (8)
 - ・古気候の変化と進化
 ……浅間一男 37 605-608 (9)
 - ・1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報告「地球システムの風景—気候と共存するサブ・システムをめぐる—」4 海洋プランクトン
 ……寺崎 誠 37 741-745 (11)
 - ・質疑応答
 ……根本順吉 37 769-770 (11)
 - ・地球規模変動における極域の役割に関する国際会議の報告
 ……田中 博ほか 38 103-106 (2)
 - ・WMO/UNEP・IPCC 第4回会合から
 ……黒沢真喜人 38 107-108 (2)
 - ・気候変化に関する北京国際シンポジウムの印象
 ……吉野正敏ほか 38 375-380 (6)
 - ・大気の大気長周期変動とその予測 I. 長周期変動の実態と力学
 ……新田 勅・露木 義 38 399-404 (6)
 - ・「WMO 月・季節変動の診断と予測に関する研修ワークショップ」の報告
 ……栗原弘一ほか 38 427-432 (7)
 - ・大気の大気長周期変動とその予測 II. 長期予報
 ……新田 勅・露木 義 38 453-455 (7)
 - ・「気候温暖化に伴う海面水位上昇について」(天気 Vol. 38 No. 2) についての根本順吉氏に対する回答
 ……周東健三 38 465-466 (7)
 - ・「WMO/UNEP IPCC 第四回会合から」の小文に関する、根本氏の意見について
 ……黒沢真喜人 38 466 (7)
 - ・ペルーから届いた論文 1982/83年エル・ニーニョ・イベント時のリマ上空の大気の鉛直構造
 ……高谷美正 39 37-40 (1)
 - ・長雨の機構について
 ……根本順吉 39 86 (2)
 - ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 1 大気—海洋—陸上生態系炭素循環の簡略モデリングの試み
 ……松野太郎 39 131-137 (3)
 - ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 2 炭素循環の問題点
 ……田中正之 39 137-142 (3)
 - ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出た

- CO₂ はどこへ行ったか」の報告 3 生物圏
はソースかシンクか
……………及川武久 39 142-146 (3)
- 1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂ はどこへ行ったか」の報告 4 海洋中の生物・地球化学過程
……………半田暢彦 39 146-156 (3)
 - 1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 2 地球気候システムにおけるアジアモンスーンの役割……………安成哲三 39 401-408 (7)
 - 第3回「大気—海洋相互作用研究会」の報告
……………花輪公雄ほか 39 513-518 (8)
 - チャップマン会議「気候、火山、地球規模変動」(1992年3月23日から26日、ハワイ/ヒロ) 参加報告……………林田佐智子 39 665-667 (11)
 - モデル相互比較実験研究会議に参加して
……………鬼頭昭雄・岩崎俊樹 39 673-677 (11)
 - 気候変動研究のための陸面の遠隔測定—ISLSCP Americas ワークショップに参加して—
……………佐藤信夫 39 723-724 (12)

4 応用気象

* 解説

- 応用気象学の発展に関する二、三の問題—わが国の応用気象学100年の歩み—
……………河村 武 29 1187-1197 (12)
- 最近の気候影響・利用の研究—その組織・課題・成果—……………吉野正敏 37 5-17 (1)

401 天気予報

* 解説

- 長期予報の発展……………浅倉 正 29 891-904 (9)
- 霧の Nowcasting……………沢井哲滋 37 509-518 (8)

* 論文

- 確率的気象予測の問題点
……………阿部克也 29 1061-1066 (10)
- 台風接近時に観測点で未来の風速—頻度スペクトルを予測する基礎的考察
……………苅屋公明 29 1129-1142 (11)
- アメダス(地域気象観測所) データを用いた夜間

冷却量の解析と最低気温予報式 (1)

- ……………近藤純正・森 洋介 29 1221-1233 (12)
- “天気指数”と天気予報の評価
……………増田善信 30 103-107 (2)
- 予想曇天域の衛星雲画像的表現—8層北半球モデルを使用して—
……………三浦信男・大野久雄 30 303-309 (6)
- 日本の夏季気温と西部熱帯太平洋域の海水温との関係……………栗原弘一 32 407-417 (8)
- 地域気象予知のための山頂風の利用
……………桑形恒男ほか 33 207-215 (5)
- 10分雨量データのみによる豪雨の検知と短時間最大雨量の予想……………塩月善晴 33 585-592 (11)
- 日本における月平均気温、月降水量と500mb循環指数
……………野木真一・千葉 長 33 593-601 (11)
- ベイズの定理を利用した降水確率ガイダンスの補正……………立平良三 35 249-251 (4)
- レーダーエコーによる冬季襲雷予測のための雷雲判定法……………道本光一郎 35 735-741 (12)
- 重回帰法による東海地方出梅日の長期予報
……………木下宣幸 36 83-87 (2)
- ハイエトグラフを利用した短時間雨量予測の試み
……………塩月善晴 36 449-459 (7)

* その他

- 昭和57年度春季大会シンポジウム「気象衛星資料の利用—その現状と展望—」の報告 1 静止気象衛星の予報業務への利用
……………立平良三 30 77-79 (2)
- 月例会「長期予報・大気大循環」の報告
……………栗原弘一ほか 30 160 (3)
- 天気予報技術に関する WMO 第II/第V地区技術集会に出席して
……………平沢正信 31 197-199 (3)
- 月例会「大気大循環・長期予報」の報告
……………工藤敏雄ほか 31 319-320 (5)
- 東京都八王子市防災課の八王子市の天気解説業務
……………饒村 曜 31 373 (6)
- 天気予報100年……………饒村 曜 31 371-373 (6)
- 月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………中澤哲夫ほか 32 207-208 (4)
- 昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 2 アメダスの風を利用した降雨の実態の把握と予測

-中井公太 32 226-229 (5)
- ・イギリスお天気事情—タイムズの記事から—
.....木村竜治 32 635-636 (11)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
.....河原幹雄ほか 33 236-237 (5)
- ・台風の新しい進路予報表示について
.....気象庁予報課 33 348 (7)
- ・第2回南半球の気象国際会議の報告
.....和田 誠・忠鉢 繁 34 243-244 (4)
- ・台風予報あれこれ.....加藤久雄 35 313-320 (5)
- ・WMO「短中期天気予報研究作業委員会」と「全球
数値予報結果の利用に力点を置いた地域気象
予報技術検討会」
.....二宮洗三 35 479-480 (8)
- ・イギリス南部を襲った暴風
.....瀬上哲秀 35 513-515 (8)
- ・ケニアお天気事情.....篠田雅人 35 490-491, 493 (8)
- ・長期予報発展のために—暖候期予報はなぜ外れた
か—.....根本順吉 36 105-106 (2)
- ・長期予報発展のために (根本順吉) を読んで
.....青木 孝 36 196 (4)
- ・月例会「長期予報と大循環」の報告
.....工藤達也ほか 38 49-51 (1)
- ・スペインの新聞天気欄
.....北島尚子 38 128-130 (2)
- ・エキスパートシステム
.....野口晉孝 38 335-336 (5)
- ・「WMO月・季節変動の診断と予測に関する研修
ワークショップ」の報告
.....栗原弘一ほか 38 427-432 (7)
- ・ソ連の新聞天気欄.....森 広道 38 671-674 (10)
- ・3次元グラフィックスを用いた数値予報 GPV 可
視化システム
.....小林ちあき・波多野健二 39 カラー (11)
- ・昭和58年度藤原賞受賞記念講演
.....都田菊郎 31 5 (1)
- ・熱帯域における東西循環・準定常超長波の実態解
明と熱帯域数値予報の試み—学会賞受賞記念
講演—.....金光正郎 31 77-90 (2)
- ・気象庁の数値予報ルーティンモデルの精度につい
て.....中山 嵩 31 441-459 (8)
- ・ヨーロッパ中期予報センター—その機構と活動—
.....金光正郎 32 597-608 (11)
- ・地球回転と大気海洋力学—その新しい連携—
.....内藤勲夫 35 291-311 (5)
- ・我国の数値予報システムの現状 (1) 概要
.....木田秀次 37 591-602 (9)
- ・局地スペクトルモデルの開発—1990年度日本気象
学会賞受賞記念講演—
.....巽 保夫 37 781-795 (12)
- ・我国の数値予報システムの現状 (2) 全球解析
予報システムの過去・現在・未来
.....佐藤信夫 38 11-31 (1)
- ・我国の数値予報システムの現状 (3) 狭領域モ
デルの概要.....瀬上哲秀 38 93-102 (2)
- ・我国の数値予報システムの現状 (4)
.....上野 充 38 141-147 (3)
- ・カオスと数値予報—局所的リアプノフ安定性と予
測可能性—
.....余田成男ほか 39 593-604 (10)

* 論文

- ・全球解析・予報システムのための全球気象デー
タの基礎的調査.....住 明正 29 53-72 (1)
- ・関東地方の局地的悪天時の場の特徴の数値シミュ
レーション.....山岸米二郎 30 531-538 (11)
- ・急激に発達した低気圧の数値シミュレーション
(I) —初期場の影響と総観的構造の特徴—
.....古賀晴成ほか 31 305-314 (5)
- ・急激に発達した低気圧の数値シミュレーション
(II) —潜熱放出の効果—
.....柏木啓一ほか 31 357-362 (6)
- ・微格子日本領域予報モデル (11 L-VFM 42) の開発
.....古賀晴成・山岸米二郎 31 403-410 (7)
- ・温帯低気圧移行時の台風の予報実験—T 8310 の
場合—.....三浦信男 32 371-379 (7)
- ・晴天乱気流の数値シミュレーション
.....遠峰菊郎ほか 34 625-631 (10)
- ・地球の角運動量収支とコア・マントル非結合

4011 数値予報

* 解説

- ・数値予報と数値シミュレーションの100年
.....増田善信 29 993-1025 (10)
- ・数値予報の最近の動向—藤原賞受賞記念講演—
.....新田 尚 29 1027-1040 (10)
- ・台風3次元モデルによる進路予報
.....大河内芳雄 30 277-289 (6)

- ……内藤勲夫・菊地直吉 36 625-630 (10)
- ・全球数値予報モデル (GSM) 降水量予想の検証
—中国領域を対象として—
……孫 沈清 38 389-394 (6)
- ・バングラデシュを襲ったサイクロン—気象庁全球
予報モデルによる予報—
……楠 昌司 38 486-487 (8)
- ・地球自転速度の不規則変動に対する大気の寄与
……内藤勲夫・菊地直吉 39 17-22 (1)
- ・年周極運動に対する風の寄与
……菊地直吉・内藤勲夫 39 23-26 (1)
- ・非静水圧ネスティングモデルによる局地風系のシ
ミュレーション
……斉藤和雄・猪川元興 39 615-625 (10)
- ・1992年1月に発生した双子低気圧—気象庁全球予
報モデルによる予報—
……楠 昌司 39 629-630 (10)
- * その他
- ・月例会「大気数値シミュレーション」(第5回)—北
半球が夏の場合のモンスーン循環—の報告
……近藤洋輝ほか 30 611-612 (12)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱
について」の報告 1 ベリィ・ファイン・
メッシュ・モデルの現状と問題点
……山岸米二郎 32 225-226 (5)
- ・WMO/IUGG 短・中期数値予報国際シンポジウム
の報告……二宮洸三 33 637-639 (12)
- ・CAS/JSC 数値実験作業委員会に出席して
……北出武夫 34 102 (2)
- ・CGFD の夜明け ……住 明正 34 125 (2)
- ・雨の短時間予報……竹村行雄 34 229-238 (4)
- ・局地モデルに関するミニワークショップの報告
……中村 一 34 239-241 (4)
- ・今、宇宙と大地の狭間で
……内藤勲夫 34 305-306 (5)
- ・東アジアの大気循環に関する国際会議—中国・成
都、1987年4月10~15日—
……浅井富雄ほか 34 509-515 (8)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「梅雨とモンスーン」報告 4 JMA モデル
による梅雨とモンスーンの予報実験
……中村 一 34 696-699 (11)
- ・non-local closure (非局所的クロージャー)
……中村晃三 36 688 (11)
- ・気象庁の新しい全球予報モデル
……木田秀次・佐藤信夫 37 112 (2)
- ・“台風”—その最盛期における特徴と予測および
防災について—の報告 2 台風の構造(発
生、発達)のシミュレーション、台風数値予報
モデルを含む)
……山岬正紀 37 316-320 (5)
- ・モデル大気を覗いてみると
……加藤政勝 37 747-751 (11)
- ・メソスケールデータ同化に関する NCAR 夏期コ
ロキウム参加報告
……青梨和正 38 64-71 (1)
- ・1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
中豪雨」の報告 2. 集中豪雨の予測につい
て……萬納寺信崇 38 288-294 (5)
- ・大気の長周期変動とその予測 II. 長期予報
……新田 勅・露木 義 38 453-455 (7)
- ・重力波ドラッグ……岩崎俊樹 38 603-604 (9)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報
告 「グローバル水循環とアジア」 5 モ
デリングの側からのコメント
……増田耕一・佐藤信夫 39 419-420 (7)
- ・3次元グラフィックスを用いた数値予報 GPV 可
視化システム
…小林ちあき・波多野健二 39 カラー (11)
- ・「計算機と大気科学」(CAS-92)に関するシンポ
ジウム報告……住 明正 39 725-726 (12)

402 大気汚染

* 解説

- ・オーストラリアにおけるベースライン大気汚染観
測所……佐橋 謙 32 291-300 (6)
- ・対流圏イオン—新しい大気科学の視点—
……川本洋人・小川俊雄 34 5-21 (1)
- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測 (2)
ズベニゴロド観測
……光田 寧ほか 35 411-415 (7)
- ・大気汚染の長距離輸送モデル
……岡本真一・片谷教孝 35 461-478 (8)
- ・複雑地形上での拡散モデルの開発について
……岡本真一・塩沢清茂 35 595-605 (10)
- ・海上および沿岸地域での拡散モデル
……岡本真一・塩沢清茂 36 711-722 (12)

- ・酸性雨に関する最近の話題
……………大喜多敏一 37 581-590 (9)
- * 論文
- ・大分市における夏季の海陸風と二酸化硫黄濃度分布の関係
……………阿部信男・楠田 信 29 87-90 (1)
- ・成層圏オゾンの地表オキシダント濃度に及ぼす影響に関する一考察
……………村尾直人ほか 29 537-545 (5)
- ・首都圏近郊における大気 NO₂ 全量の観測
……………柴崎和夫・小川利紘 29 721-727 (7)
- ・弘前市における降水の化学成分
……………中谷 周ほか 29 773-780 (8)
- ・都市大気における汚染物質および道路粉じんの3次元挙動とヒートアイランド
……………齋藤武雄・千葉秀樹 34 195-204 (3)
- ・AMeDAS データによる汚染気塊の流跡線解析
……………中西幹郎・木村竜治 34 467-477 (7)
- ・弱い傾度風下での大気汚染の長距離輸送の気象学的構造……………栗田秀實ほか 35 23-35 (1)
- ・地表面粗度をパラメータとした σ_z 図を使った都市の NO_x 拡散予測
……………河野 仁ほか 35 189-197 (3)
- ・東京都における自動車排ガス大気汚染に影響を及ぼす都市効果……………増原孝明 37 119-127 (2)
- ・海岸の都市が海風と汚染質拡散に与える影響の数値実験……………吉門 洋 37 681-688 (10)
- ・寒候期の大都市域における NO₂ の生成要因
……………木村富士男・相川光明 38 315-323 (5)
- ・瀬戸内沿岸域におけるオキシダント濃度の鉛直分布……………瀬戸信也 39 347-354 (6)
- ・筑波山周辺での拡散実験の解析とシミュレーション計算……………山澤弘実 39 605-613 (10)
- ・青森県津軽地方の降水の pH 変動と NO₃⁻, SO₄²⁻ 降下量
……………中谷 周・萩野 激 39 745-751 (12)
- * その他
- ・大気汚染現象と気象
……………中野道雄 29 237-250 (3)
- ・大気汚染物質の除去作用に関する第4回国際会議に出席して……………村上正隆 30 315-318 (7)
- ・人工衛星と航空機観測による海風前線の立体構造と汚染物質の立体分布
……………鶴田治雄 30 517-518 (10)
- ・ランドサットで検出された首都圏の汚染気塊
……………鶴田治雄 31 513-515 (8)
- ・ソウルで開催された国際学会に出席して
……………竹内清秀・河村 武 32 638 (11)
- ・気象庁 大気二酸化炭素の観測を開始
……………伊藤朋之 34 336 (5)
- ・東アジアの大気循環に関する国際会議—中国・成都, 1987年4月10~15日—
……………浅井富雄ほか 34 509-515 (8)
- ・熱帯の微気象と大気汚染の国際会議の報告
……………木村富士男・大喜多敏一 35 551-553 (9)
- ・煙とガスと放射能を追う(1)—大気汚染の測定, 実験と数値計算—
……………吉川友章 36 485-488 (8)
- ・煙とガスと放射能を追う(2)—湿潤条件下の大気汚染の測定と数値計算—
……………吉川友章 36 561-564 (9)
- ・煙とガスと放射能を追う(3)—原子力施設対策のための拡散実験と移流・拡散モデルの開発—
……………吉川友章 36 621-623 (10)
- ・第3回国際大気科学会議の報告—1990年10月15~19日—……………佐藤純次 38 363-365 (6)
- ・クエート油井火災による環境汚染
……………重久陽亮 38 カラー (9)
- ・大気輸送モデル評価研究(ATMES)ワークショップの報告
……………里村雄彦・山田慎一 39 71-73 (2)
- ・大気汚染……………大喜多敏一 39 225-229 (4)
- ・酸性雨の化学……………土器屋由紀子 39 645-649 (10)

403 産業気象

* 論文

- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第1報 風エネルギーの表現法とその基礎的解析
……………橋口渉子 30 367-375 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第2報 地形分類メッシュデータによる多次元解析法
……………橋口渉子 30 376-384 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第3報 各観測地点の風エネルギー特性

- ……………橋口渉子 31 471-478 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第4報 海岸立地点における風エネルギーの評価方法
……………橋口渉子 31 479-488 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第5報 地形分類メッシュデータによる多次元解析法の拡張について……………橋口渉子 31 695-700 (11)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第6報 内陸立地点における風エネルギーの評価方法
……………橋口渉子 32 23-31 (1)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第7報 風エネルギー予測システムの問題点と今後の課題
……………橋口渉子 32 73-77 (2)
- ・日別全天日射量階級別日数の全国マップ作成(I) 日別晴天指数度数分布の解析とモデル化
……………菊地原英和ほか 32 271-280 (5)
- ・日別全天日射量階級別日数の全国マップ作成(II) 日別全天日射量階級別日数の推定と全国マップ作成……………菊地原英和ほか 32 301-309 (6)
- ・東北地方における山がけ崩れ害の統計分析
……………水野 量 34 703-712 (11)
- ・瀬戸大橋における風の特性
……………横田寛伸 37 531-533 (8)
- ……………光本茂記ほか 32 497-506 (9)
- ・1981年5月12日に羽田空港に発生した Low Altitude Wind Shear (LAWS) の解析
……………中山 章・渡辺文雄 34 615-624 (10)
- ・晴天乱気流の数値シミュレーション
……………遠峰菊郎ほか 34 625-631 (10)
- ・地表電界値による航空機の被雷防止法
……………遠峰菊郎ほか 34 769-773 (12)
- ・三沢飛行場に霧が侵入する際の気温の鉛直分布と時間変化について
……………遠峰菊郎ほか 35 179-187 (3)
- ・厚さのうすい寒気の前縁部の Low Altitude Wind Shear の解析
……………中山 章・栗山陽一 35 381-389 (6)
- ・離陸滑走中に遭遇したマイクロ・バーストの解析
……………中山 章・青山雅典 37 421-429 (6)
- ・羽田で発生したダウンバースト(1987年7月25日)
……………岩下晴彦 39 279-290 (5)

* その他

- ・乱気流の多発する雲のパターン例
……………柴田 宣 29 175-176 (2)
- ・第3回気象レーダーと飛行安全に関する国際会議—台北, 1990年5月10~11日—
……………張 泉湧 37 519-520 (8)
- ・第25回国際レーダー気象学会議及び第4回国際航空気象学会議報告
……………上田 博ほか 39 199-204 (4)
- ・第一回「火山灰と航空機航行の安全に関する国際シンポジウム」(1991年7月8日~12日, 米国ワシントン州シアトル) 出席報告
……………澤田可洋 39 267-270 (5)

404 航空気象

* 解説

- ・メソ気象学の開拓—1990年度藤原賞受賞記念講演—
……………藤田哲也 37 803-807 (12)

* 論文

- ・晴天乱流解析のための DFDR の利用
……………中山 章・土屋昭夫 29 532-536 (5)
- ・航空悪天予想図中で Cb クラスタ域を診断する際の相対湿度基準値
……………大野久雄・伊佐真好 31 489-492 (8)
- ・1983年7月27日に富山空港で発生した microburst
……………中山 章・伊関次男 32 329-332 (6)
- ・成田空港の滑走路に沿った霧の分布
……………藤部文昭 32 419-424 (8)
- ・航空機による風速の測定

405 海洋気象

* 解説

- ・海上および沿岸地域での拡散モデル
……………岡本眞一・塩沢清茂 36 711-722 (12)
- ・北太平洋の大規模海面水温変動に関する研究—平成元年度堀内基金奨励賞受賞記念講演—
……………花輪公雄 37 221-230 (4)

* 論文

- ・オホーツク海域における大気中の熱収支と下層気温の変動について
……………加藤内蔵進 32 425-433 (8)

- ・台風8506号による高潮と副振動
……………小西達男ほか 33 263-270 (6)
- ・東シナ海における海面熱収支の季節変化
……………石井哲雄・近藤純正 34 517-526 (8)
- ・冬期日本海における帯状雲のメソ構造—啓風丸の特別観測の解析—
……………メソ気象調査グループ 35 237-248 (4)
- ・釧路の海霧……………沢井哲滋 35 555-566 (9)
- ・海面水温と長波放射の30—60日周期振動
……………村上多喜雄 35 715-722 (12)
- ・太平洋熱帯海域における大気境界層の熱収支
…萩野谷成徳・藤谷徳之助 37 397-408 (6)
- ・航行中の船舶を用いた広域の海面フラックスの測定法について
…藤谷徳之助・萩野谷成徳 38 441-447 (7)
- ・簡易日射計を用いた船上での日射量の測定
…萩野谷成徳・藤谷徳之助 38 645-648 (10)
- * その他
 - ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海氷」の報告 まえがき
……………菊地勝弘 30 343 (8)
 - ・ラジオたんぱ「朝の海上気象」の再開を求める
……………丸山健人 32 482 (9)
 - ・月例会「南極圏の気象」(第4回)の報告
……………小野延雄ほか 33 167-168 (4)
 - ・TOGA (Tropical Ocean-Global Atmosphere) = 熱帯海洋および全球大気変動の研究計画の現状と今後の進展について
……………住 明正 33 233-235 (5)
 - ・就航した長崎海洋気象台海洋気象観測船「長風丸」
…気象庁海洋気象部海務課 34 408-410 (6)
 - ・古事記にみる海事思想
……………原見敬二 34 527-528 (8)
 - ・大気—海洋相互作用に関するピアクネスシンポジウム……………新田 勅ほか 35 417-425 (7)
 - ・海面水温とメソ気象
……………荒川正一 36 353-360 (6)
 - ・OMLET (海洋混合層実験観測)
……………花輪高雄 36 584-585 (9)
 - ……………安富裕二 30 319-325 (7)
 - ・小さなダムの流量報告に基づく鳥海山の残雪流出解析……………土屋 巖 30 590-594 (12)
 - ・鳥海山の深雪地帯における積雪底と土壤表層の1986/87温度通年観測
……………土屋 巖 37 129-136 (2)
 - ・鳥海山における12000 mm以上の年降水量について……………土屋 巖 37 521-526 (8)
- * その他
 - ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「都市化と災害」の報告 2 都市化と洪水
……………角屋 睦 33 91-94 (3)
 - ・雨の短時間予報……………竹村行雄 34 229-238 (4)
 - ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
……………山田真吾ほか 37 137-140 (2)

407 気象災害

* 解説

- ・気象災害を防ぐ—30年の歩み—
……………中島暢太郎 31 461-470 (8)

* 論文

- ・V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪(II)
……………内田英治 29 43-52 (1)
- ・東北地方多地点一斉大規模山林火災を誘発した1983年4月27日の異常乾燥強風(1)
……………近藤純正 30 545-552 (11)
- ・東北地方多地点一斉大規模山林火災を誘発した1983年4月27日の異常乾燥強風(2)
……………近藤純正・桑形恒男 31 37-44 (1)
- ・東北地方多地点一斉大規模山林火災を誘発した1983年4月27日の異常乾燥強風(3)
……………近藤純正・桑形恒男 31 127-136 (2)
- ・中国地方における梅雨期の豪雨形態と災害との関係……………根山芳晴 31 633-637 (10)
- ・最近300年間の火山爆発と異常気象・大凶作
……………近藤純正 32 157-165 (4)
- ・台風8218号による東北地方の山がけ崩れと降水特性との対応性……………水野 量 32 573-580 (10)
- ・強風災害をもたらした下降流突風の事例解析
……………小元敬男 34 633-642 (10)
- ・東北地方における山がけ崩れ害の統計分析
……………水野 量 34 703-712 (11)
- ・1986年7月10日鹿児島市豪雨の特徴解析

406 水文気象

* 論文

- ・算術平均法による面積平均雨量の推定誤差

- ……………早川誠而ほか 36 207-213 (4)
- ・中冷夏の1988年一過去154年間の冷夏18位, 微雨含む
雨日数1位—
……………近藤純正 36 515-517 (8)
- ・1988年7月15日の浜田市付近の集中豪雨の特性
……………浜田周作 37 527-530 (8)
- ・台風8712号で観測された強風の特徴
……………荒生公雄ほか 38 305-314 (5)
- ・霧を伴うやませの気象特性
……………井上君夫 39 459-467 (8)
- * その他**
- ・米国における気象災害に対する心構えと報道
……………浜田忠昭 29 185-193 (2)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 1. 豪雪の機構について
……………松本誠一 29 1041-1042 (10)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 2. 豪雪のメカニズムについて
……………秋山孝子 29 1042-1043 (10)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 3. 実況の対応から見た56豪雪と38豪
雪の特徴……………石瀬宗弘 29 1044-1049 (10)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 4. 38豪雪及び山雪型の特徴について
……………内山文夫 29 1049-1050 (10)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 5. 衛星画像による日本海の降雪雲に
関する最近の研究
……………遠藤辰雄 29 1050-1052 (10)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 6. 降積雪情報システムと豪雪
……………木村忠志 29 1052-1057 (10)
- ・昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 7. 北陸豪雪あれこれ
……………樋口敬二 29 1058-1059 (10)
- ・オーストラリア内陸部で早ばつの被害深刻
……………「天気」編集委員会 29 1220 (12)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の
報告 3 台風災害
……………奥田 穰 32 400-405 (8)
- ・INSAT からの眺め
……………櫃間道夫 33 52 (2)
- ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「都市化と災害」の報告 1 高度情報化時代

における気象業務の将来展望

- ……………股野宏志 33 89-91 (3)
- ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「都市化と災害」の報告 2 都市化と洪水
……………角屋 睦 33 91-94 (3)
- ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「都市化と災害」の報告 3 都市化と風災害
……………光田 寧 33 94-99 (3)
- ・昭和60年度秋季大会シンポジウム「都市化と災害」
の報告 4 討論…………… 33 99-101 (3)
- ・酒田の大火(1976年)はフェーンによるものでは
ありません……………青木 孝 33 514 (10)
- ・1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
中豪雨」の報告 3. 集中豪雨の情報と防災
……………吉澤 博 38 294-301 (5)

408 生気象

* 解説

- ・脳卒中と気候・人工気候
……………榎山政子 34 659-670 (11)

* 論文

- ・メニエール病発作の気象学的考察
……………山鹿 延 31 363-368 (6)

* その他

- ・杉花粉と気象……………根本 修 35 171-178 (3)
- ・1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存するサ
ブ・システムをめぐって—」1 陸上生態系
……………及川武久 37 728-731 (11)
- ・1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存するサ
ブ・システムをめぐって—」2 土壌生態系
から放出される微量温室効果ガス
…犬伏和之・土器屋由紀子 37 731-736 (11)

409 農業気象

* 論文

- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第1報 風エ
ネルギーの表現法とその基礎的解析
……………橋口涉子 30 367-375 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ

- データによる評価方法の研究 第2報 地形分類メッシュデータによる多次元解析法
 ……………橋口渉子 30 376-384 (8)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第3報 各観測地点の風エネルギー特性
 ……………橋口渉子 31 471-478 (8)
 - ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第4報 海岸立地点における風エネルギーの評価方法
 ……………橋口渉子 31 479-488 (8)
 - ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第5報 地形分類メッシュデータによる多次元解析法の拡張について……………橋口渉子 31 695-700 (11)
 - ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第6報 内陸立地点における風エネルギーの評価方法
 ……………橋口渉子 32 23-31 (1)
 - ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュデータによる評価方法の研究 第7報 風エネルギー予測システムの問題点と今後の課題
 ……………橋口渉子 32 73-77 (2)
 - ・最近300年間の火山爆発と異常気象・大凶作
 ……………近藤純正 32 157-165 (4)
 - ・最近150年間の東北地方における米収量(作況指数)と夏の平均気温との関係
 ……………近藤純正 32 363-369 (7)
 - ・霧を伴うやませの気象特性
 ……………井上君夫 39 459-467 (8)
- * その他**
- ・鳥取大学砂丘利用研究施設
 ……………松田昭美 37 71-74 (1)
 - ・1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 3 生物圏はソースかシンクか
 ……………及川武久 39 142-146 (3)

410 山岳気象

* 論文

- ・夏期朝の山頂と自由大気との気温差
 ……………小路正弘 30 24-30 (1)

- ・山岳や山あいの地上風速に及ぼす地形の影響
 ……………荻野谷成徳ほか 31 497-505 (8)
 - ・地域気象予知のための山頂風の利用
 ……………桑形恒男ほか 33 207-215 (5)
 - ・鳥海山の深雪地帯における積雪底と土壌表層の1986/87温度通年観測
 ……………土屋 巖 37 129-136 (2)
 - ・鳥海山における12000 mm以上の年降水量について……………土屋 巖 37 521-526 (8)
- * その他**
- ・日本の山岳気象…………飯田睦次郎 29 91-100 (1)
 - ・富士山こぼれ話…………志崎大策 35 481-489 (8)
 - ・アルパイン気象の国際研究集会に参加して
 ……………石島 英 36 760-762 (12)
 - ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」 1 アジア高山雪氷圏と水循環
 ……………上田 豊 39 398-401 (7)

411 植物と気象

* 解説

- ・研究レビュー「リモートセンシングによる熱環境、熱収支、蒸発散の評価」
 ……………川島茂人 38 351-362 (6)

* 論文

- ・森林樹体の貯熱量の推定
 ……………近藤純正ほか 38 123-127 (2)
- ・広域陸面の蒸発—研究の指針—
 ……………近藤純正・渡辺 力 38 699-710 (11)
- ・森林における降雨の遮断蒸発のモデル計算
 ……………近藤純正ほか 39 159-167 (3)
- ・日本各地の森林蒸発散量の熱収支的評価
 ……………近藤純正ほか 39 685-695 (11)

* その他

- ・IGBP/Study of Global Change
 ……………浅井富雄 33 275-276 (6)
- ・杉花粉と気象……………根本 修 35 171-178 (3)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム「生態系と気候変動」の報告 4 GCMを用いた生態系の気候形成における役割の研究
 ……………山崎孝治 35 667-672 (11)
- ・1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報告「地球システムの風景—気候と共存するサ

- ブ・システムをめぐって— 1 陸上生態系
……………及川武久 37 728-731 (11)
- SiB ……………佐藤信夫 38 202 (4)
- 1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭
素循環の謎を考える—化石燃料から出た
CO₂はどこへ行ったか」の報告 3 生物圏
はソースかシンクか
……………及川武久 39 142-146 (3)
- 気候変動研究のための陸面の遠隔測定—ISLSCP
Americas ワークショップに参加して—
……………佐藤信夫 39 723-724 (12)

412 衛星気象学

* 解説

- 気象衛星データによる降水の見積もり法
……………土屋 喬 31 607-623 (10)
- 国際衛星雲気候計画 (ISCCP) の進展
……………久保田 効 32 5-13 (1)
- 米国・欧州における静止気象衛星搭載用放射計に
ついて
……………内山明博・操野年之 34 79-86 (2)
- 極軌道気象衛星等の地球観測衛星の最近の動向
……………福井徹郎・木村光一 35 643-649 (11)

* 論文

- V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪 (II)
……………内田英治 29 43-52 (1)
- NOAA-6 AVHRR による都市ヒートアイランド
の検出……………土屋 巖 29 555-557 (5)
- TOVS 鉛直分布算出データの精度
……………青木忠生・中島 忍 29 1243-1247 (12)
- 能登半島と佐渡島を迂回し合流する雪雲の流れ
—上越地方の大雪に関連して—
……………八木正允・内山良子 30 291-294 (6)
- 予想曇天域の衛星雲画像的表現—8層北半球モデ
ルを使用して—
……………三浦信男・大野久雄 30 303-309 (6)
- 台風を中心気圧の変化に先行する台風強度示数の
変化
……………島田健司・用貝敏郎 31 59-62 (1)
- GMS 観測に基づく総観スケール雲量と相対湿度
の統計的関係
……………大野久雄・伊佐真好 31 493-495 (8)
- 静止気象衛星データからみた長崎豪雨

- ……………長谷川隆司・二宮洸三 31 565-572 (9)
- 静止気象衛星 (GMS) の空間平均データによる降
水量の推定
……………中村和信・土屋 喬 32 565-572 (10)
- 赤外データを用いた強雨を伴う積乱雲クラスター
の解析
……………三木芳幸・土屋 喬 32 667-672 (12)
- 本州南岸沖の停滞性雲システムの衛星風ベクトル
……………斎藤和雄ほか 33 103-111 (3)
- 冬期季節風の吹き出し時に日本近傍に現れる雲列
群の出現分布……………中田裕一 34 45-53 (1)
- 赤外線データを画素単位でみた長崎豪雨の構造
……………松長高雄 34 385-396 (6)

* その他

- 寒気の南下……………木村竜治 29 72 (1)
- 乱気流の多発する雲のパターン例
……………柴田 宣 29 175-176 (2)
- 初夏を告げる陸上のすじ状雲
……………竹村行雄 29 251-252 (3)
- 富士山付近の風下に形成される筋状雲
……………浅沼勝実 29 450 (4)
- 中規模の渦状の雲……………三浦勇一 29 575-576 (5)
- 日本の南岸沖で発達する下層雲
……………見立陽一 29 669-670 (6)
- 平坦な雲と凹凸のある雲との境界
……………土屋 喬 29 749-750 (7)
- ケルビンヘルムホルツ波を想わせる雲
……………大野久雄 29 771 (8)
- 藤原効果を示すハリケーン
……………木村竜治 29 934 (9)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の
報告 5. 衛星画像による日本海の降雪雲に
関する最近の研究
……………遠藤辰雄 29 1050-1052 (10)
- 雲バンド内の降雨域の移動
……………中村和信 29 1060 (10)
- 冬期日本海における3種類の中規模うずパターン
……………嶋村 克 29 1159-1160 (11)
- 低分解能ファクシミリ (LR-FAX) による「ひま
わり」の赤外強調画像の出力—発達した積乱
雲および下層雲の強調
……………浜田忠昭ほか 29 1250-1252 (12)
- 雲影法による雲頂高度の算出方法
……………加藤一靖 30 56-57 (1)

- ・昭和57年度春季大会シンポジウム「気象衛星資料の利用—その現状と展望—」の報告 1 静止気象衛星の予報業務への利用
……………立平良三 30 77-79 (2)
- ・昭和57年度春季大会シンポジウム「気象衛星資料の利用—その現状と展望—」の報告 2 低気圧, 大雨(雪)などの解析への利用
……………岡林俊雄 30 79-83 (2)
- ・梅雨前線帯の季節的な変動について
……………加藤内蔵進 30 108-109 (2)
- ・衛星画像で見た対流性の雲塊の変化と降雨域
……………木場博之 30 161-163 (3)
- ・波長の短い気圧の谷に伴う小じょう乱による冬の日本海側の降雪
……………長谷川隆司 30 225-226 (4)
- ・大きなスケールの“層雲系曇天域”“積雲系曇天域”及び“快晴域”
……………大野久雄 30 258 (5)
- ・熱帯低気圧の対発生
……………木村竜治 30 302 (6)
- ・中・小規模じょう乱に伴う雲域と上層の谷との相互作用……………加藤政勝 30 335-336 (7)
- ・列島をはさむ二つの渦巻
……………木本昌秀 30 395-397 (8)
- ・本州南方海上を北上した対流雲
……………斉藤和雄 30 483-484 (9)
- ・人工衛星と航空機観測による海風前線の立体構造と汚染物質の立体分布
……………鶴田治雄 30 517-518 (10)
- ・テイパリングクラウドの発達・衰弱と赤外データの時間変動……………元木敏博 30 565-569 (11)
- ・GMSの赤外データと温帯低気圧に伴う降雨分布
……………松長高雄 30 613-616 (12)
- ・GMSによる上層風ベクトル平均場の長期変動
……………元木敏博 31 67-69 (1)
- ・台風(8310号)に伴うたつ巻
……………仲吉良功 31 147-148 (2)
- ・北大西洋上の寒気の南下とカルマン渦
……………木村竜治 31 190 (3)
- ・日本海と本州南岸に発生した擾乱に伴う雲域の盛衰……………山岸照幸 31 261-262 (4)
- ・北太平洋地域の特殊雲列
……………高崎洋見 31 315-318 (5)
- ・チベット高原から東進する広大な上層雲域
……………荻原武士 31 369-370 (6)
- ・亜熱帯高気圧の周囲を一回転した上層低気圧
……………高瀬邦夫 31 421-424 (7)
- ・ランドサットで検出された首都圏の汚染気塊
……………鶴田治雄 31 513-515 (8)
- ・上層雲域と下層雲域の移動の違い
……………坂田俊夫 31 583-585 (9)
- ・雲画像に現れる過度の補給
……………野瀬純一 31 647-648 (10)
- ・地表面温度……………徳野正己 31 701-706 (11)
- ・赤外2チャンネル(11 μ m, 12 μ m)でみた絹雲
……………井上豊志郎 31 757-759 (12)
- ・雷雲の列状発生と絹雲の帯
……………鈴木和史 32 33-34 (1)
- ・黒潮流域の海面水温分布
……………松長高雄 32 96 (2)
- ・前線性雲バンドのふるまい
……………永沢義嗣 32 130-132 (3)
- ・筋状絹雲の走向と上層風
……………白井紀一郎 32 199-200 (4)
- ・海水域における開水面
……………赤川正臣 32 281-283 (5)
- ・中国大陸上の梅雨前線帯の特徴
……………加藤内蔵進 32 333-335 (6)
- ・富士山の風下に形成された交互配列の雲
……………原田知幸 32 381-383 (7)
- ・雲影による雲頂高度の算出
……………井上豊志郎 32 435-439 (8)
- ・泡状に見える上層雲
……………伊藤秀喜 32 487-489 (9)
- ・GMS 毎時観測資料に現れた総観規模じょう乱発達期のCbクラスターのふるまい
……………嶋村 克 32 581-583 (10)
- ・中小都市の熱環境……………土屋 巖 32 631-634 (11)
- ・台風の末期に共存した2種類の雲渦
……………木場博之・櫃間道夫 32 673-674 (12)
- ・INSATからの眺め
……………櫃間道夫 33 52 (2)
- ・120°Eの赤道上からの地球観測
……………久保田 効 33 119-121 (3)
- ・スペースシャトルの窓から
……………木村竜治 33 393-396 (8)
- ・熱帯域の「降水量観測衛星」計画始まる
……………住 明正 33 620 (11)

- ・気候研究のための衛星観測システムに関する作業委員会 (JSC/CCCO WGSOS) 第4回会議報告……………村山信彦 34 317-320 (5)
- ・全球降水気候計画 (GPCP) の経緯と現状……………操野年之 35 203-206 (3)
- ・熱帯降雨観測国際シンポジウム……………中村建治・新田 勅 35 233-235 (4)
- ・ISCCP (国際衛星雲気候計画) データについて……………佐々木秀行・能美武功 36 181-185 (3)
- ・地球規模気候変動における地表面放射収支 (SRB) に関する COSPAR/WCRP ワークショップ出席報告……………山内 恭 37 116-118 (2)
- ・ランドサットから見た消散期の霧の構造……………栗田 進 38 カラー (3)
- ・東北画像データベース……………川村 宏 39 219-221 (4)
- ・気候変動研究のための陸面の遠隔測定—ISLSCP Americas ワークショップに参加して—……………佐藤信夫 39 723-724 (12)

413 レーダー気象学

*解説

- ・雲をつかむ話現代版—昭和57年秋季大会特別講演—……………小倉義光 30 61-75 (2)
- ・ミー散乱ライダーを用いた大気研究—昭和61年度日本気象学会山本賞受賞記念講演—……………笹野泰弘 34 89-101 (2)
- ・大型レーダーによる高層大気波動の研究—昭和63年度堀内基金奨励賞受賞記念講演—……………深尾昌一郎 36 341-346 (6)
- ・大気潮汐・大気重力波, MST レーダー平成元年度藤原賞受賞記念講演—……………加藤 進 36 681-685 (11)

*論文

- ・黄砂粒子の輸送とその空間的ひろがり—1979年4月に見られた黄砂現象のレーザーレーダ観測—……………岩坂泰信ほか 29 231-235 (3)
- ・台風の温帯低気圧化の過程における移動速度の変化……………村村照男 30 447-460, 468 (9)
- ・レーダーによる小松周辺の冬季雷の研究……………道本光一郎ほか 33 445-452 (9)
- ・帯状エコーの中で発達した対流雲のレーダーエ

コーの特徴—1985年6月23日, 北部九州たつ巻発生を主として—

- ……………早川誠而ほか 34 29-43 (1)
- ・2台のドップラーレーダーによって観測された関東地方の雷雲の内部構造……………石原正仁ほか 34 321-332 (5)
- ・レーダーエコーによる冬季襲雷予測のための雷雲判定法……………道本光一郎 35 735-741 (12)
- ・小松周辺の冬季雷に関する一考察……………道本光一郎 36 31-33 (1)
- ・1983年9月6日の福岡市における豪雨の特徴(2)—レーダエコーを主とした解析……………早川誠而ほか 36 127-133 (3)
- ・1986年7月10日鹿児島市豪雨の特徴解析……………早川誠而ほか 36 207-213 (4)
- ・寿命の長いシングルセル型対流雲の構造の解析……………田畑 明ほか 36 499-507 (8)
- ・夏季雷観測速報 (レーダーエコー強度の高度変化と発雷) ……道本光一郎 36 513-514 (8)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (I) 不規則な多重セル型雷雲……………竹内利雄ほか 37 45-50 (1)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (II) レーダーによる落雷点の予測……………竹内利雄ほか 37 51-53 (1)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (III) 巨大セル型雷雲……………竹内利雄ほか 37 57-60 (1)
- ・温帯低気圧に伴う Cloud Band 付近の大気運動の特徴……………渡辺 明ほか 37 203-208 (3)
- ・1台のドップラーレーダーによる大気下層の水平発散の検出—1台と2台の観測結果の比較をもとにした検討……………石原正仁 38 157-167 (3)
- ・吹雪のドップラーレーダー観測: Lモード降雪雲のケース……………真木雅之ほか 39 551-563 (9)
- ・ドップラーレーダーによって観測された亜熱帯スコールラインの構造……………石原正仁ほか 39 727-743 (12)

*その他

- ・第21回レーダ気象会議に出席して (I)……………中村健治 31 228-230 (4)
- ・第21回レーダ気象会議に出席して (II)……………藤原美幸 31 231-234 (4)

- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………柳沢善次ほか 31 264-265 (4)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱
について」の報告 3 レーダーとアメダス
を用いた雨域の把握
……………竹村行雄 32 229-231 (5)
- ・レーダー・アメダス雨量合成図
……………饒村 曜 33 27-28 (1)
- ・大気上層の乱れを探る—MST レーダーの話—
……………加藤 進 33 73-79 (2)
- ・雨の短時間予報……………竹村行雄 34 229-238 (4)
- ・第23回レーダー気象会議に出席して
……………石原正仁ほか 34 369-374 (6)
- ・観測・解析を中心とした米国メソ気象学事情
—NOAA/NSSL に滞在して—
……………石原正仁 34 481-486 (7)
- ・40周年記念レーダー気象会議に参加して
……………道本光一郎 35 166-167 (3)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 35 339-343 (5)
- ・大型レーダー国際学校 (ISAR) および第4回
MST レーダーワークショップの報告
……………山中大学・佐藤 薫 36 269-274 (5)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 36 376-380 (6)
- ・パダン・ブキティンギ訪問記
……………山中大学・中村卓司 36 650-652 (10)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………吉崎正憲ほか 37 495-500 (7)
- ・名瀬レーダーが捉えた台風19号
……………神林慶子 38 カラー (5)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 38 509-512 (8)
- ・レーダーがとらえた1990年12月11日千葉県の竜巻
の親雲の特性
……………鈴木 修・新野 宏 38 カラー (11)
- ・リモートセンシング I. レーダー
……………上田 博 39 47-51 (1)
- ・第25回国際レーダー気象学会議及び第4回国際航
空気象学会議報告
……………上田 博ほか 39 199-204 (4)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 39 473-477 (8)

414 気象制御

* その他

- ・第5回 WMO 気象制御・雲物理応用に関する科学
会議 (1989年5月8~12日, 中国北京市) 出
席報告……………水野 量 36 477-479 (8)

415 気象統計

* 解説

- ・気象, 気候における稀現象の解析
……………鈴木栄一 32 649-665 (12)
- ・メッシュ気候値—その作成, 利用の現状と将来—
……………岡村敏夫 34 157-174 (3)

* 論文

- ・GMS 観測に基づく総観スケール雲量と相対湿度
の統計的關係
……………大野久雄・伊佐真好 31 493-495 (8)
- ・日別全日射量階級別日数の全国マップ作成 (I)
日別晴天指数度数分布の解析とモデル化
……………菊地原英和ほか 32 271-280 (5)
- ・日別全日射量階級別日数の全国マップ作成 (II)
日別全日射量階級別日数の推定と全国マッ
プ作成……………菊地原英和ほか 32 301-309 (6)
- ・寒気吹出時の東支那海上の逆転層の統計
……………本多庸浩・藤田敏夫 33 113-118 (3)
- ・日本における風の年変化の気候学的特性について
……………森 征洋 33 539-549 (10)
- ・エル・ニーニョ年の日本の天候の特徴
……………宮崎保彦 36 489-498 (8)
- ・中冷夏の1988年—過去154年間の冷夏18位, 微雨含
む雨日数1位—
……………近藤純正 36 515-517 (8)

* その他

- ・第2回統計気候学国際研究集会に出席して
……………岡本雅典 31 673-677 (11)

5 研究技術

* 解説

- ・数値予報の最近の動向—藤原賞受賞記念講演—
……………新田 尚 29 1027-1040 (10)
- ・昭和58年度藤原賞受賞記念講演
……………都田菊郎 31 5 (1)

- ・気象研究の思い出
……………岸保勘三郎 31 659-672 (11)
- *論文
- ・複雑地形における夜間冷却—研究の指針—
……………近藤純正 29 935-949 (9)
- ・印刷気象データ光学読取装置
……………山元龍三郎ほか 30 31-40 (1)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第4報 海岸
立地点における風エネルギーの評価方法
……………橋口渉子 31 479-488 (8)
- ・複雑多様な地表面の熱収支—研究の指針—
……………近藤純正 31 573-581 (9)
- ・農業利用における小規模風エネルギーのメッシュ
データによる評価方法の研究 第5報 地形
分類メッシュデータによる多次元解析法の拡
張について……………橋口渉子 31 695-700 (11)
- ・ファジイ測度による多変量解析とその気象への応
用……………柳原一夫 38 381-388 (6)
- ・グンベル分布の推定母数の信頼性評価
……………寒川典昭ほか 38 479-485 (8)
- ・広域陸面の蒸発—研究の指針—
……………近藤純正・渡辺 力 38 699-710 (11)
- ……………特に自動車の影響を中心に—
……………佐橋 謙 30 509-514 (10)
- ・煙突から出た煙の三次元的運動の二点写真法によ
る観測……………石崎健二 30 595-602 (12)
- ・航空機による風速の測定
……………光本茂記ほか 32 497-506 (9)
- ・ドップラーソーダの開発と大気境界層観測への応
用……………伊藤芳樹ほか 33 375-385 (8)
- ・八代における局地風循環の一立体観測
……………大河内康正ほか 34 375-382 (6)
- ・小松周辺の冬季雷雲下の電界分布について
……………鈴川三男ほか 34 443-452 (7)
- ・ライダーによる南極昭和基地での薄い雲の観測
……………和田 誠・岩坂泰信 34 453-461 (7)
- ・三沢飛行場におけるライダーを用いた霧の観測
……………阿部成雄ほか 36 643-649 (10)
- ・ろ紙における降水粒子の質量測定の精度について
……………佐粧純男ほか 37 61-66 (1)
- ・鳥海山の深雪地帯における積雪底と土壤表層の
1986/87温度通年観測
……………土屋 巖 37 129-136 (2)
- ・レーウィンゾンデ観測における気温の昼夜差の検
討……………宮川幸治 38 112-122 (2)
- ・ハンググライダーによる局地風前線の観察
……………内藤邦裕 38 395-397 (6)
- ・航行中の船舶を用いた広域の海面フラックスの測
定法について
……………藤谷徳之助・萩野谷成徳 38 441-447 (7)
- *その他
- ・音波による大気及び海洋のリモートセンシング国
際シンポジウムに出席して
……………福島 圓 29 605-609 (6)
- ・雲影法による雲頂高度の算出方法
……………加藤一靖 30 56-57 (1)
- ・「大気境界層観測の計測器及び計測技術に関する
短期講座」に出席して
……………塚本 修・伊藤芳樹 31 545-551 (9)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「黄砂」の報告 5 氷晶核としての黄砂
……………田中豊顕 34 189-194 (3)
- ・飛行船を用いた大気観測：人間が空気と化す試み
……………岩坂泰信 34 415-417 (6)
- ・熱帯降雨観測国際シンポジウム
……………中村建治・新田 勅 35 233-235 (4)

501 観測技術

*解説

- ・釧路地方における海霧の観測
……………海霧研究グループ 32 41-52 (2)
- ・南極における気象研究—昭和62年度藤原賞受賞記
念講演—……………川口貞男 34 751-757 (12)
- ・大型レーダーによる高層大気波動の研究—昭和63
年度堀内基金奨励賞受賞記念講演—
……………深尾昌一郎 36 341-346 (6)
- ・大気中の二酸化炭素濃度のグローバル観測—平成
元年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………中澤高清 36 669-674 (11)
- ・西暦2000年までに衛星観測可能なパラメータ
……………大野久雄 37 81-95 (2)

*論文

- ・黄砂粒子の輸送とその空間的ひろがり—1979年4月
に見られた黄砂現象のレーザーレーダ観測—
……………岩坂泰信ほか 29 231-235 (3)
- ・自動車による気温の移動観測における観測誤差

- ・中国甘肅省黒河流域での日中共同観測現地計画調査記……………佐橋 謙 35 507-510 (8)
- ・シンポジウム“下部対流圏のプロファイリング：Needs and Technologies”・国際 Sodar 比較観測報告……………森 征洋ほか 36 553-558 (9)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 序論……………関口理郎 37 19 (1)
- ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 1 オゾン層の観測……………下道正則 37 20-25 (1)
- ・第28回 COSPAR 総会および第7回 STP シンポジウム(中層大気力学および惑星大気力学関係)の報告……………山中大学 38 35-40 (1)
- ・TOGA-COARE 実施計画会議の報告……………住 明正・竹内謙介 38 595-601 (9)
- ・リモートセンシング II レーザー遠隔計測……………杉本伸夫 39 169-173 (3)
- ・気候変動研究のための陸面の遠隔測定—ISLSCP Americas ワークショップに参加して—……………佐藤信夫 39 723-724 (12)

5011 一般測器

* 解説

- ・気象観測と測器……………竹内清秀ほか 29 7-33 (1)
- ・ドブソン分光光度計によるオゾン観測……………鈴木剛彦 30 237-253 (5)
- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測……………光田 寧ほか 33 625-631 (12)
- ・二酸化炭素変動計の開発……………大滝英治ほか 34 293-304 (5)
- ・大気中の炭酸ガス濃度変動の国際比較観測(2)ズベニゴロド観測……………光田 寧ほか 35 411-415 (7)
- ・雲粒子ゾンデの開発……………水野 量ほか 38 5-9 (1)

* 論文

- ・地表面日射量の実験式と日射計をチェックする簡便な方法……………近藤純正・三浦 章 30 469-475 (9)
- ・南極東クィーンモードランド前進拠点における無

人気象観測

- ……………菊地時夫・牧野章汎 35 39-46 (1)
- ・紙製電動式乾湿計の製作と校内の気温分布の観測—理科教材化への試み—……………榊原保志 35 93-104 (2)
- ・「高層気象観測装置(MARWIN RAWINSONDE SET MW 12)」を使って……………萩野谷成徳・藤谷徳之助 36 99-103 (2)
- ・自動気象ステーションのセンサーの問題点について……………萩野谷成徳・藤谷徳之助 36 747-751 (12)
- ・紫外線光電測定器の原理及び応用……………徐 国鈞・村松久史 37 255-259 (4)
- ・放射収支計キャリブレーション装置の製作とその運用結果について……………新井重男 37 609-613 (9)
- ・ゴム気球による成層圏試料回収技術について……………佐々木 徹ほか 37 617-620 (9)
- ・日射量および下向き大気放射量の推定……………近藤純正ほか 38 41-48 (1)
- ・簡易日射計を用いた船上での日射量の測定……………萩野谷成徳・藤谷徳之助 38 645-648 (10)
- * その他
 - ・日照時間観測における新日照計の採用……………気象庁観測部測候課 33 31-33 (1)
 - ・気象測器参考館の紹介……………深井智亜樹 34 589-590 (9)
 - ・全天日射計測の今昔……………三宅行美 38 589-592 (9)
 - ・天文台の气象台90年のあゆみ(重錘式気圧計をご存じですか)……………菊地直吉 38 715-716 (11)

5012 レーダー

* 解説

- ・気象観測と測器……………竹内清秀ほか 29 7-33 (1)
- ・リモートセンシングによる気象観測……………小平信彦・村山信彦 29 113-133 (2)
- ・ライダーにより観測された大気中エアロゾルの変動と大気・海洋変動の関連—昭和59年度藤原賞受賞記念講演—……………広野求和 32 121-127 (3)
- ・大気潮汐・大気重力波, MST レーダー平成元年度藤原賞受賞記念講演……………加藤 進 36 681-685 (11)

- ・直交二偏波レーダによる降水現象研究の動向
……………吉野文雄 37 145-159 (3)
- ・気象レーダーのデジタル化について
……………迫田優一 37 659-670 (10)
- ・MU レーダーで観測される対流圏及び下部成層
圏の鉛直風擾乱—1991年度山本・正野論文賞
受賞記念講演—
……………佐藤 薫 39 337-346 (6)
- *論文**
- ・ミリ波レーダーによる海霧の観測
……………柳沢善治ほか 33 603-612 (11)
- ・帯状エコーの中で発達した対流雲のレーダーエ
コーの特徴—1985年6月23日、北部九州たつ
巻発生を主として—
……………早川誠而ほか 34 29-43 (1)
- ・2台のドップラーレーダーによって観測された関
東地方の雷雲の内部構造
……………石原正仁ほか 34 321-332 (5)
- ・北海道西岸帯状収束雲のドップラーレーダー観測
(I) —温暖前線型—
……………藤吉康志ほか 35 427-439 (7)
- ・ライダーによる霧の鉛直分布観測
……………平山 力ほか 35 607-610 (10)
- ・冬季雷観測速報(レーダーエコー強度の高度変化
と発雷)……………道本光一郎 35 613-614 (10)
- ・レーダーエコーによる冬季襲雷予測のための雷雲
判定法……………道本光一郎 35 735-741 (12)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (I)
不規則な多重セル型雷雲
……………竹内利雄ほか 37 45-50 (1)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (II)
レーダーによる落雷点の予測
……………竹内利雄ほか 37 51-53 (1)
- ・大津における夏の雷雲のレーダー観測結果 (III)
巨大セル型雷雲
……………竹内利雄ほか 37 57-60 (1)
- ・温帯低気圧に伴う Cloud Band 付近の気象運動の
特徴……………渡辺 明ほか 37 203-208 (3)
- ・1台のドップラーレーダーによる大気下層の水平
発散の検出—1台と2台の観測結果の比較を
もとにした検討
……………石原正仁 38 157-167 (3)
- ・の報告 2 流水観測レーダによる海水の動
態……………石田 完 30 346-349 (8)
- ・大気上層の乱れを探る—MST レーダーの話—
……………加藤 進 33 73-79 (2)
- ・「MAP におけるレーダ技術発展と将来について
のワークショップ」の報告
……………山中大学 33 431-434 (9)
- ・「赤道レーダー観測所」計画について
……………住 明正 33 636 (12)
- ・観測・解析を中心とした米国メソ気象学事情
—NOAA/NSSL に滞在して—
……………石原正仁 34 481-486 (7)
- ・ポンティアナック訪問記
……………住 明正 34 723-724 (11)
- ・激しい対流系とドップラーレーダー
……………榊原 均 35 63-64 (1)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 35 339-343 (5)
- ・ヨーロッパの偏波レーダーを訪ねて
……………上田 博 36 134-135 (3)
- ・大型レーダー国際学校 (ISAR) および第 4 回
MST レーダーワークショップの報告
……………山中大学・佐藤 薫 36 269-274 (5)
- ・NEXRAD (次世代気象レーダー)
……………石原正仁 36 663 (10)
- ・プキティンギ訪問記 (その 2)
……………山中大学ほか 37 308-310 (5)
- ・「インドネシア地域における赤道大気観測に関す
る国際シンポジウム」の報告
……………加藤 進ほか 37 477-482 (7)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………吉崎正憲ほか 37 495-500 (7)
- ・第 3 回気象レーダーと飛行安全に関する国際会議
—台北, 1990年5月10~11日—
……………張 泉湧 37 519-520 (8)
- ・「垂熱帯大気の大規模レーダー観測に関する国際
ワークショップ」の報告
……………山中大学 37 603-604 (9)
- ・ECLIPS……………中村晃三 38 92 (2)
- ・名瀬レーダーが捉えた台風19号
……………神林慶子 38 カラー (5)
- ・RASS……………津田敏隆 38 628 (10)
- ・レーダーがとらえた1990年12月11日千葉県
の竜巻の親雲の特性
- *その他**
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」

- ……………鈴木 修・新野 宏 38 カラー (11)
- ・「インドネシア域における赤道大気観測に関する
第3回国際シンポジウム」の報告
……………津田敏隆ほか 38 747-755 (12)
- ・リモートセンシング I. レーダー
……………上田 博 39 47-51 (1)
- ・リモートセンシング II. レーザー遠隔計測
……………杉本伸夫 39 169-173 (3)
- ・第25回国際レーダー気象学会議及び第4回国際航
空気象学会議報告
……………上田 博ほか 39 199-204 (4)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 39 473-477 (8)
- ・「第3回メソ気象研究会」の報告
……………新野 宏ほか 39 651-653 (10)

5013 人工衛星の技術と搭載用 測器

* 解説

- ・リモートセンシングによる気象観測
……………小平信彦・村山信彦 29 113-133 (2)
- ・気象衛星による成層圏オゾンの観測—Nimbus 4号
BUV による試み—
……………長谷部文雄 29 905-933 (9)
- ・国際衛星雲気候計画 (ISCCP) の進展
……………久保田 効 32 5-13 (1)
- ・米国・欧州における静止気象衛星搭載用放射計に
ついて
……………内山明博・操野年之 34 79-86 (2)
- ・極軌道気象衛星等の地球観測衛星の最近の動向
……………福井徹郎・木村光一 35 643-649 (11)
- ・研究レビュー「リモートセンシングによる熱環境、
熱収支、蒸発散の評価」
……………川島茂人 38 351-362 (6)
- ・大気分光学の気象学及びリモートセンシングへの
応用—1991年度日本気象学会賞受賞記念講演—
……………青木忠生 39 123-129 (3)

* 論文

- ・NOAA-6 AVHRR による都市ヒートアイランド
の検出……………土屋 徹 29 555-557 (5)
- ・TOVS 鉛直分布算出データの精度
……………青木忠生・中島 忍 29 1243-1247 (12)
- ・NOAA 7号の AVHRR チャンネル3 データの雲
解析への利用について—機械的原因による

データの変動の実態とその除去—

- ……………赤枝健治・武田喬男 31 53-58 (1)
- ・差分吸収レーザーレーダーを用いた宇宙からのオ
ゾン観測の可能性について
……………林田佐智子ほか 36 439-448 (7)
- * その他
- ・「ひまわり」の交代
……………中村 繁 29 546 (5)
- ・低分解能ファクシミリ (LR-FAX) による「ひま
わり」の赤外強調画像の出力—発達した積乱
雲および下層雲の強調
……………浜田忠昭ほか 29 1250-1252 (12)
- ・第1回 TOVS 国際研究会議報告 (1983年8月29
日～9月2日, インズブルック)
……………青木忠生 31 285-292 (5)
- ・雲影による雲頂高度の算出
……………井上豊志郎 32 435-439 (8)
- ・熱帯域の「降水量観測衛星」計画始まる
……………住 明正 33 620 (11)
- ・「国際衛星雲気候計画 (ISCCP) 資料管理作業委
員会第5回会議」
……………黒崎明夫 33 633-634 (12)
- ・「衛星観測による極域の雲に関するワークショッ
プ」の報告……………山内 恭 33 635-636 (12)
- ・気候研究のための衛星観測システムに関する作業
委員会 (JSC/CCCO WGSOS) 第4回会議報
告……………村山信彦 34 317-320 (5)
- ・ヘルシンキ COSPAR 総会の報告 (惑星大気力学
関係) ………………山中大学 36 59-62 (2)
- ・ISCCP (国際衛星雲気候計画) データについて
……………佐々木秀行・能美武功 36 181-185 (3)
- ・TRMM (熱帯降雨観測衛星計画)
……………中村健治 36 214 (4)
- ・S-VISSR (ストレッチド VISSR)
……………竹内義明 37 160 (3)
- ・ランドサットから見た消散期の霧の構造
……………栗田 進 38 カラー (3)
- ・第1回米国 TRMM (熱帯降雨観測衛星) 計画科
学チーム会議……………新田 勅 38 561-564 (9)

502 気象資料

* 解説

- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 3. データ

について

- ……………栗原弘一・小泉 耕 37 337-342 (5)
- ・降水量の時間変動のフラクタル解析
 - ……………川上紳一ほか 37 753-762 (11)
- ・ファジィ測度による多変量解析とその気象への応用
 - ……………柳原一夫 38 381-388 (6)
- ・グンベル分布の推定母数の信頼性評価
 - ……………寒川典昭ほか 38 479-485 (8)
- ・情報量の増分と上限確率を付与した確率降水量について
 - ……………寒川典昭ほか 39 757-765 (12)
- * その他**
 - ・誤差と残差と偏差と精度を中心に
 - ……………鈴木栄一 29 451-452 (4)
 - ・“台風” — その最盛期における特徴と予測および防災について — の報告 3 台風の移動と予測 (襲来頻度の統計的な考察を含む)
 - ……………村松照男 37 320-323 (5)
 - ・“台風” — その最盛期における特徴と予測および防災について — の報告 4 台風の強風の性質と確率モデルによるシミュレーション
 - ……………藤井 健・光田 寧 37 324-328 (5)
 - ・山元龍三郎氏の解説「地球温暖化の実態に関する研究の動向」を読んで
 - ……………高谷美正 37 545-546 (8)
 - ・WAVELET 解析
 - ……………山田道夫 38 366-367 (6)
 - ・ファジィ・クラスタリング
 - ……………藤部文昭 39 97-99 (2)
 - ・第5回統計気候学国際研究集会の報告
 - ……………田中 博・北川源四郎 39 719-722 (12)

504 計算技術

* 解説

- ・新しい解析手法による赤道波等地球規模大気擾乱の機構の研究
 - ……………林 良一 30 4-12 (1)
- ・譬え話あれこれ — 気象学講義余談集 —
 - ……………廣田 勇 34 603-610 (10)
- ・局地スペクトルモデルの開発 — 1990年度日本気象学会賞受賞記念講演 —
 - ……………巽 保夫 37 781-795 (12)
- ・乱流のラージ・エディ・シミュレーションについて
 - ……………堀内 潔 38 683-697 (11)

* 論文

- ・水蒸気圧に対応する露点温度の算出法について
 - ……………富高四郎 35 115-126 (2)
- * その他**
 - ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 1 ベリイ・ファイン・メッシュ・モデルの現状と問題点
 - ……………山岸米二郎 32 225-226 (5)
 - ・CGFD の夜明け
 - ……………住 明正 34 125 (2)
 - ・雪結晶の形態形成のシミュレーション
 - ……………黒田登志雄・横山悦郎 35 207-210 (3)
 - ・気象庁の新しい全球予報モデル
 - ……………木田秀次・佐藤信夫 37 112 (2)
 - ・モデル大気を覗いてみると
 - ……………加藤政勝 37 747-751 (11)
 - ・「計算機と大気科学」(CAS-92) に関するシンポジウム報告
 - ……………住 明正 39 725-726 (12)

505 実験技術

* 解説

- ・中国における台風の室内実験
 - ……………魏 鼎文ほか 34 307-316 (5)

* 論文

- ・垂直風洞に浮遊する水滴の振動と分裂について
 - ……………岩井邦中・中田元司 32 15-21 (1)
- ・乱流境界層中の乱れの減衰とその拡散への影響 (風洞実験)
 - ……………加藤真規子 32 511-522 (9)
- ・野外実験と風洞実験による複雑地形上の拡散の比較
 - ……………林 隆ほか 34 397-407 (6)
- ・複雑地形上の気流の乱流特性 — 野外観測と風洞実験の比較 —
 - ……………加藤真規子ほか 37 171-183 (3)
- ・風洞実験における縮尺の効果について
 - ……………水本伸子・藤本達見 37 699-708 (10)
- ・回転円筒水槽内の流れと温度分布の液晶による立体的観測
 - ……………田島俊彦・川平浩二 38 495-500 (8)
- * その他**
 - ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について — タワーと風洞に関して」の報告 2 室内実験による大気境界層のシミュレーション
 - ……………植田洋匡 31 101-107 (2)
 - ・流れの安定性について

……………新野 宏 34 671-684 (11)

506 写真技術

*論文

・煙突から出た煙の三次元的運動の二点写真法による観測……………石崎健二 30 595-602 (12)

*その他

・紹介：根室で観察されたハロー現象……………浅野正二 35 326-328 (5)

・雲をつかむ……………横田寛伸・山根 悟 39 233-237 (4)

507 語学, 用語, 論文の書き方

*解説

・国際単位系 (SI) と気象の定数……………清水逸郎 33 43-47 (2)

・著作権法について……………蔵重 清・村上勝人 35 361-371 (6)

*その他

・学術用語集気象学編改訂作業についての経過報告……………31 72 (1)

・筑波におけるエスペラント……………丸山健人 33 640 (12)

・TRMM (熱帯降雨観測衛星計画)……………中村健治 36 214 (4)

・LLJ (下層ジェット)……………吉崎正憲 36 325-326 (5)

・Saturation Point (飽和点)……………中村晃三 36 340 (6)

・COADS (総合海洋気象データセット)……………江口一平 36 468 (7)

・Gust Front (ガストフロント)……………上田 博 36 484 (8)

・OMLET (海洋混合層実験観測)……………花輪公雄 36 584-585 (9)

・NEXRAD (次世代気象レーダー)……………石原正仁 36 663 (10)

・non-local closure (非局所的クロージャー)……………中村晃三 36 688 (11)

・スーパークラスター……………中澤哲夫 36 743 (12)

・ラ・ニーニャ……………山形俊男 37 4,17 (1)

・Symmetric Instability (対称不安定)……………齊藤 定 37 113 (2)

・S-VISSR (ストレッチド VISSR)……………竹内義明 37 160 (3)

・温室効果気体……………早坂忠裕 37 260, 264 (4)

・日本気象学会は元号表示をやめよう……………櫃間道夫 37 333 (5)

・暴走温室効果……………阿部 豊 37 351-352 (5)

・力学的に誘起されたフェーン……………猪川元興 37 420 (6)

・GEWEX (全地球エネルギー・水循環実験観測計画)……………武田喬男 37 490 (7)

・大規模海風……………近藤裕昭 37 539-540 (8)

・J-COARE (西太平洋大気海洋相互作用研究計画)……………住 明正 37 616 (9)

・JGOFS (Joint Global Ocean Flux Study)……………小池勲夫 37 709-710 (10)

・WOCE (世界海洋循環実験計画)……………永田 豊 37 775-776 (11)

・GPCP (全球降水気候計画)……………大野久雄 37 796 (12)

・IDNDR (国際防災の10年)……………白崎航一 38 10 (1)

・ECLIPS……………中村晃三 38 92 (2)

・Paluch Diagram……………高谷美正 38 168-169 (3)

・SiB……………佐藤信夫 38 202 (4)

・エキスパートシステム……………野口晉孝 38 335-336 (5)

・WAVELET 解析……………山田道夫 38 366-367 (6)

・ユニデータ……………田中 博 38 448 (7)

・モドン……………金久博忠 38 504-505 (8)

・重力波ドラッグ……………岩崎俊樹 38 603-604 (9)

・RASS……………津田敏隆 38 628 (10)

・収束雲帯 (帯状収束雲)……………永田 雅 38 698 (11)

・蒸発—風速フィードバック, WISHE……………沼口 敦 39 4 (1)

・「収束雲帯」についてのコメント……………小倉義光 39 205 (4)

・小倉氏の「収束雲帯」についてのコメントに対する回答……………永田 雅 39 205-206 (4)

・「収束雲帯 (帯状収束雲)」の一部訂正……………永田 雅 39 217 (4)

・天候レジーム

- ……………木本昌秀 39 387-388 (6)
- ・学会発表の時の OHP の使用方法について
- ……………佐橋 謙 39 428 (7)

6 気象事業

* 解説

- ・日本気象学会創立100周年記念レビューの特別計画について
- ……………内田英治・杉村行勇 29 6 (1)
- ・日本気象学会創立100周年記念「天気」特別号について
- ……………内田英治・杉村行勇 29 267 (4)
- ・日本気象学会創立100周年記念レビュー編集後記
- ……………内田英治 29 1197 (12)
- ・最近の気候影響・利用の研究—その組織・課題・成果—
- ……………吉野正敏 37 5-17 (1)

* その他

- ・「ひまわり」の交代
- ……………中村 繁 29 546 (5)
- ・地上及び海上気象電報の通報型式と天気図への記入 (昭和57年1月1日) —概要と特徴—
- ……………神子敏郎 29 981-983 (9)
- ・学術用語集気象学編改訂作業についての経過報告
- …………… 31 72 (1)
- ・気象データ交信が飛躍的に向上
- ……………オーストラリア大使館 31 320 (5)
- ・奨励金受賞を今後の糧として
- ……………西銘宜正 37 202 (3)
- ・若き気象庁職員の見たアメリカ
- ……………隈 健一 37 242-244 (4)
- ・日本気象学会は元号表示をやめよう
- ……………櫃間道夫 37 333 (5)
- ・気象学会パソコン通信 (MSJ BBS) 本格運用開始のお知らせ
- …………… 37 745 (11)

- ……………世界気候小委員会 29 135-140 (2)
- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 3. データ管理
- ……………世界気候小委員会 29 215-222 (3)
- ・日本気象学会創立100周年記念支部座談会「各地区の顕著な気象現象の調査研究とその発展」
- …………… 29 335-356 (4)
- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 4. 気候モデリング
- ……………世界気候小委員会 29 509-514 (5)
- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 5. 海洋観測
- ……………世界気候小委員会 29 595-603 (6)
- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 6. 気候形成に重要な諸過程の観測計画
- ……………世界気候小委員会 29 701-710 (7)
- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 7. 南極気候研究計画
- ……………世界気候小委員会 29 767-771 (8)
- ・WMOの新しい波……新田 尚 31 277-284 (5)
- ・オーストラリアにおけるベースライン大気汚染観測所
- ……………佐橋 謙 32 291-300 (6)
- ・ヨーロッパ中期予報センター—その機構と活動—
- ……………金光正郎 32 597-608 (11)
- ・ユーザーとの接点にある民間気象調査研究の現状
- ……………中野道雄 33 5-15 (1)
- ・インド工科大学 (ニュー・デリー) での生活
- ……………岸保勲三郎 33 487-495 (10)
- ・民間気象会社 (株) オーシャンルーツ及び (株) ウェザーニュースの気象業務
- ……………尾崎康一 34 221-227 (4)
- ・市民生活と気象—中学校での気象観測が八王子市天気相談所へ発展—
- ……………原嶋宏昌 34 569-578 (9)
- ・著作権法について
- ……………蔵重 清・村上勝人 35 361-371 (6)
- ・国際気象学大気物理学協会 (IAMAP) —その歴史と現状—
- ……………浅井富雄 37 379-388 (6)
- ・「南極域における気候変動に関する総合研究 (ACR)」経過報告
- ……………山内 恭 37 641-657 (10)
- ・黒河流域における大気—地表相互作用に関する日中共同研究 (HEIFE) の現状
- ……………光田 寧ほか 37 721-725 (11)
- ・熱帯低気圧に関する国際協力の現状と台風特別実

601 研究及び気象事業体制

* 解説

- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 1. 世界気候小委員会の討議の概要
- ……………世界気候小委員会 29 35-41 (1)
- ・わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 2. 気候診断について

- 験について……大西晴夫 38 739-746 (12)
- ・中国に於ける WCRP とその研究成果
……黄 栄輝 39 541-550 (9)
 - * その他
 - ・日本学術会議の国際会議代表派遣問題と自主的改
革について……増田善信 29 183-184 (2)
 - ・気象学会総会における学術会議改革問題に対する
緊急提案について
……佐藤 功 30 337 (7)
 - ・日本学術会議の改革問題について
……増田善信 30 486-488 (9)
 - ・気象学長期計画一経過と評価
……長期計画委員会 30 491-494 (10)
 - ・海洋大循環実験 (WOCE) 科学作業グループ第 1
回会合 (ウズホール, 1983年 8 月) の報告
……木村竜治 30 519-524 (10)
 - ・気候変動国際協同研究計画 (WCRP) が日本学術
会議第91回総会で決議された
……山元龍三郎 30 562-564 (11)
 - ・世界気候計画 (WCP) への各国の対応について
……村木彦磨 31 641-646 (10)
 - ・日本気象学会における日本学術会議第13期会員候
補者等の選考経過及び選考結果
……日本気象学会理事長 32 173 (4)
 - ・NSSL (NOAA/ERL) に滞在して
……上田 博 32 201-206 (4)
 - ・国際学術交流事業について
……国際学術交流委員会 32 232 (5)
 - ・学会のすそ野をひろげるために
……増田耕一 32 336 (6)
 - ・学会のすそ野を広げるための一私見
……山中大学 32 418, 434 (8)
 - ・ラジオたんぱ“朝の海上気象”の再開を求める
……丸山健人 32 482 (9)
 - ・筑波の研究者と国家機密法
……丸山健人 33 51 (2)
 - ・WCP レポートシリーズについて
……真野裕三 33 63-70 (2)
 - ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「都市化と災害」の報告 1 高度情報化時代
における気象業務の将来展望
……股野宏志 33 89-91 (3)
 - ・TOGA (Tropical Ocean-Global Atmosphere) =
熱帯海洋および全球大気変動の研究計画の現
状と今後の進展について
……住 明正 33 233-235 (5)
 - ・IGBP/Study of Global Change
……浅井富雄 33 275-276 (6)
 - ・中国気象学会訪日代表団を迎えて
……国際学術交流委員会 33 467-469 (9)
 - ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「熱帯の大気と海洋」の報告 4 「TOGA」
計画について……住 明正 33 525-526 (10)
 - ・気候変動国際協同研究計画 (WCRP) の実施が関
係大臣に建議された
……山本龍三郎 33 551-555 (10)
 - ・熱帯域の「降水量観測衛星」計画始まる
……住 明正 33 620 (11)
 - ・日本気象学会の役員選出について
……根本順吉 33 632 (12)
 - ・「赤道レーダー観測所」計画について
……住 明正 33 636 (12)
 - ・中華人民共和国国家気象局気象中心 (北京市) 及
び上海市気象局を訪問して
……工藤達也 34 54 (1)
 - ・「気候問題」における我国最大の問題
……田宮兵衛 34 55-58 (1)
 - ・ヨーロッパでの国際会議と大学・研究所訪問
……余田成男 34 59-62 (1)
 - ・IGAC 計画……小川利紘 34 87-88 (2)
 - ・TOGA-SSG IV/Vについて
……住 明正 34 115-117 (2)
 - ・米国の気象衛星のデータ受信局/利用者へのパソ
コン通信サービスについて
……操野年之 34 215 (3)
 - ・スイスの気象学と学生生活
……榎本浩之 34 265-266 (4)
 - ・中国香河大気物理観測所滞在記
……文字信貴 34 339-341 (5)
 - ・「G. I. Taylur Professorship」設立基金のための
アピール……木村竜治 34 414 (6)
 - ・観測・解析を中心とした米国メソ気象学事情
—NOAA/NSSL に滞在して—
……石原正仁 34 481-486 (7)
 - ・気象測器参考館の紹介
……深井智亜樹 34 589-590 (9)
 - ・米国から見る日本気象界の開国
……木田秀次 34 596-597 (9)

- ・韓国気象学会に招待されて
……………住 明正 34 643 (10)
- ・国立極地研究所……………藤井理行 35 61-62 (1)
- ・北海道大学低温科学研究所
……………遠藤辰雄 35 129-130 (2)
- ・名古屋大学水圏科学研究所
……………岩坂泰信 35 201-202, 187 (3)
- ・ポナペ気象台訪問記
……………藤谷徳之助 35 252-253 (4)
- ・気象研究所気候研究部
……………重久陽亮 35 258-260 (4)
- ・長野県衛生公害研究所
……………栗田秀實 35 335-336, 347 (5)
- ・金星下層大気浮遊気球計画について
……………山中大学 35 391-393 (6)
- ・気象研究所気象衛星・観測システム研究部
……………内野 修 35 403-404 (6)
- ・京都大学超高層電波研究センター
……………深尾昌一郎 35 446-448 (7)
- ・大気-地表面相互作用に関する日中共同研究
(HEIFE) ……光田 寧 35 501-505 (8)
- ・郵政省通信総合研究所
……………板部敏和 35 511-512 (8)
- ・日本気象協会研究所
……………清水嘉夫 35 567-568 (9)
- ・九州大学応用力学研究所
……………山形俊男 35 631-632 (10)
- ・国立公害研究所
……………林田佐智子・光本茂記 35 651-652 (11)
- ・京都大学防災研究所
……………光田 寧 35 742-744 (12)
- ・東京大学海洋研究所
……………中村晃三 36 28-30 (1)
- ・ヘルシンキ COSPAR 総会の報告(惑星大気力学
関係) ……山中大学 36 59-62 (2)
- ・休憩=研究交流時間をもっと多くとれるのなら
……………丸山健人 36 62 (2)
- ・「天気」に学生参加企画を一支部持ち回りで学生
座談会をやってみませんかー
……………一ノ瀬俊明 36 96 (2)
- ・公害資源研究所……………近藤裕昭 36 97-98 (2)
- ・長期予報発展のために一暖候期予報はなぜ外れた
かー……………根本順吉 36 105-106 (2)
- ・アラスカ大学地球物理研究所
……………田中 博 36 145-146, 185 (3)
- ・長期予報発展のために(根本順吉)を読んで
……………青木 孝 36 196 (4)
- ・農業環境技術研究所
……………内島立郎 36 233-235 (4)
- ・国立防災科学技術センター
……………真木雅之 36 320-322 (5)
- ・高層気象台……………広田道夫 36 347-348 (6)
- ・気象研究所台風研究部
……………村上勝人 36 428-430 (7)
- ・若手による覆面座談会「気候学と気象学の役割分
担とは」
…気候コロキウムの皆さん 36 461-464 (7)
- ・オーストラリア気象局を訪問して
……………村木彦磨 36 465-467 (7)
- ・理化学研究所……………増田彰正 36 588-590 (9)
- ・(財)電力中央研究所
……………加藤央之 36 659-660 (10)
- ・東京都環境科学研究所
……………宇田川 満 36 696-698 (11)
- ・気象研究所物理気象研究部
……………松尾敬世ほか 36 740-742 (12)
- ・素人による気象学放談会(その1)
……………木村竜治 37 41-44 (1)
- ・鳥取大学砂丘利用研究施設
……………松田昭美 37 71-74 (1)
- ・素人による気象学放談会(その2)
……………木村竜治 37 97-100 (2)
- ・常任理事会からのお知らせ………… 37 196 (3)
- ・会員種別の改正案について
日本気象学会庶務担当理事 37 267-270 (4)
- ・プキティンギ訪問記(その2)
……………山中大学ほか 37 308-310 (5)
- ・日本気象学会定款・細則および各賞選定規定等
…………… 37 367-376 (5)
- ・日本気象学会役員選挙の実施方法の私案
……………小倉義光 37 409-410 (6)
- ・GEWEX(全地球エネルギー・水循環実験観測計
画)……………武田喬男 37 490 (7)
- ・コペンハーゲン大学北極観測所
……………菊地勝弘 37 493-494 (7)
- ・J-COARE(西太平洋大気海洋相互作用研究計画)
……………住 明正 37 616 (9)
- ・JGOFS (Joint Global Ocean Flux Study)

-小池勲夫 37 709-710 (10)
- ・会費納入と会員制度に関する改善のお知らせ
.....庶務担当理事ほか 37 713-714 (10)
- ・WMO 新広告資料 (Fact Sheet) の紹介
.....松原廣司 37 771-772 (11)
- ・WOCE (世界海洋循環実験計画)
.....永田 豊 37 775-776 (11)
- ・GPCP (全球降水気候計画)
.....大野久雄 37 796 (12)
- ・第28回 COSPAR 総会および第7回 STP シンポジウム (中層大気力学および惑星大気力学関係) の報告.....山中大學 38 35-40 (1)
- ・ECLIPS中村晃三 38 92 (2)
- ・WINTER ICING AND STORM PROJECT に参加して—NCAR 滞在記—
.....村上正隆 38 171-173 (3)
- ・ユニデータ.....田中 博 38 448 (7)
- ・気象研究所地球化学研究部
.....広瀬勝己 38 457-458 (7)
- ・国際気象学大気物理学協会 (IAMAP) 第6回科学会議開催について
.....浅井富雄・村上勝人 38 463-464 (7)
- ・東北農業試験場.....井上君夫 38 506-508 (8)
- ・第2回世界気候会議出席報告
.....新田 尚ほか 38 553-560 (9)
- ・第1回米国 TRMM (熱帯降雨観測衛星) 計画科学チーム会議.....新田 勅 38 561-564 (9)
- ・アナウンスメントの発送開始
.....里村雄彦 38 588 (9)
- ・京都大学原子炉実験所
.....水間満郎 38 593-594 (9)
- ・岡山大学資源生物科学研究所
.....米谷俊彦 38 654-655 (10)
- ・GEWEX へ向けて—我が国の取り組みの現状—
.....GEWEX 作業委員会 38 665-670 (10)
- ・防災科学技術研究所長岡雪水防災実験研究所
.....中尾正義 38 721-723 (11)
- ・東北大学大気海洋変動観測研究センター
.....中澤高清ほか 38 785-787 (12)
- ・IAMAP '93科学プログラム決まる
.....村上勝人 38 790-791 (12)
- ・筑波大学水理実験センター
.....杉田倫明 39 41-42 (1)
- ・WMO だより近藤洋輝 39 45-46 (1)
- ・北海道開発庁開発土木研究所
.....石本敬志 39 181-182 (3)
- ・ソ連の気象機関を訪問して
.....森 広道 39 239-243 (4)
- ・IAMAP '93論文募集始まる
.....里村雄彦 39 245-246 (4)
- ・気象研究所海洋研究部
.....西山勝暢 39 305-306 (5)
- ・北海道大学低温科学研究所附属流氷研究施設
.....白澤邦男 39 384-386 (6)
- ・1991年度日本気象学会秋季大会シンポジウムの報告「グローバル水循環とアジア」5 モデリングの側からのコメント
.....増田耕一・佐藤信夫 39 419-420 (7)
- ・建設省建築研究所.....岡田 恒 39 445-446 (7)
- ・講演申込締切りは来年1月です
.....里村雄彦 39 447 (7)
- ・メソ気象センター設立のすすめ
.....小倉義光 39 581-583 (9)
- ・新潟大学積雪地域災害研究センター
.....小林俊一 39 584-586 (9)
- ・KUREX '91見学記—ソ連クルスクにおける大気・地表面相互作用観測計画—
.....安成哲三ほか 39 631-636 (10)
- ・「第3回メソ気象研究会」の報告
.....新野 宏ほか 39 651-653 (10)
- ・TOGA COARE International Project Office の活動.....黒田芳史 39 655-657 (10)
- ・日本学術会議だより No. 26 共同主催国際会議閣議了解得る
.....日本学術会議広報委員会 39 660-661 (10)
- ・農林水産省森林総合研究所
.....谷 誠 39 711-712 (11)
- ・名古屋大学太陽地球環境研究所
.....岩坂泰信 39 754-756 (12)
- ・講演申込締切りせまる
.....里村雄彦 39 756 (12)
- ・極域研究連絡会1992年春季研究会「南極域の物質循環」報告
.....神沢 博・安成哲三 39 775-778 (12)

602 会議

*解説

- わが国の気候変動研究計画 (WCRP) 1. 世界気候小委員会の討議の概要
.....世界気候小委員会 29 35-41 (1)
- 日本気象学会創立100周年記念支部座談会「各地区の顕著な気象現象の調査研究とその発展」
..... 29 335-356 (4)
- WMOの新しい波.....新田 尚 31 277-284 (5)
- *その他
- 北海道支部第1回研究発表会の報告
.....三輪建治ほか 29 172-174 (2)
- MONEX 成果に関する国際研究集会(インドネシア, 1981年10月)の報告
.....MONEX 研究連絡会 29 177-182 (2)
- WMO 国際単位系の採用に踏み切る
.....岡村 存 29 448-450 (4)
- 第4回極域気水圏シンポジウム報告
.....気水圏シンポジウム係 29 574 (5)
- 音波による大気及び海洋のリモートセンシング国際シンポジウムに出席して
.....福島 圓 29 605-609 (6)
- 北海道支部研究発表会の報告
.....西山勝暢ほか 29 671-672 (6)
- 第3回合同科学委員会 (JSC-III) の報告—1982年3月, ダブリン—
.....浅井富雄 29 837-843 (8)
- 学術会議改革試案を採択—日本学術会議第85回総会報告—.....増田善信 29 844-845 (8)
- 日本学術会議第85回総会 国際地球観測百年記念に際して(声明)
.....増田善信 29 849-850 (8)
- 日本気象学会創立100周年記念式典, 講演, 記念パーティー報告
.....内田英治 29 879-890 (9)
- 日本学術会議改革試案 (ダイジェスト版)
.....増田善信 29 985-988 (9)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 1. 豪雪の機構について
.....松本誠一 29 1041-1042 (10)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 2. 豪雪のメカニズムについて
.....秋山孝子 29 1042-1043 (10)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 3. 実況の対応から見た56豪雪と38豪雪の特徴.....石瀬宗弘 29 1044-1049 (10)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 4. 38豪雪及び山雪型の特徴について
.....内山文夫 29 1049-1050 (10)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 5. 衛星画像による日本海の降雪雲に関する最近の研究
.....遠藤辰雄 29 1050-1052 (10)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 6. 降積雪情報システムと豪雪
.....木村忠志 29 1052-1057 (10)
- 昭和56年度秋季大会シンポジウム「北陸豪雪」の報告 7. 北陸豪雪あれこれ
.....樋口 敬 29 1058-1059 (10)
- 気候変動と海洋に関する研究の最近の動向(3) —WCRP 大規模海洋実験研究会議(東京, 1982年5月)の報告—
.....浅井富雄 29 1081-1091 (10)
- 月例会「大気数値シミュレーション」(第4回)—積雲のシミュレーションの報告
.....近藤洋輝ほか 29 1248-1249 (12)
- 昭和57年度春季大会シンポジウム「気象衛星資料の利用—その現状と展望—」の報告 1 静止気象衛星の予報業務への利用
.....立平良三 30 77-79 (2)
- 昭和57年度春季大会シンポジウム「気象衛星資料の利用—その現状と展望—」の報告 2 低気圧, 大雨(雪)などの解析への利用
.....岡林俊雄 30 79-83 (2)
- 昭和57年度春季大会シンポジウム「気象衛星資料の利用—その現状と展望—」の報告 おわりに.....伊藤 宏 30 83-84 (2)
- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第3回地球流体夏のセミナーを終えて
.....神部 勉 30 113-114 (3)
- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第1部分岐理論.....宇敷重広ほか 30 114-119 (3)
- 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第2部 不安定論.....山田道夫ほか 30 119-125 (3)

- ・第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第3部 プロッキング……………楠 昌司ほか 30 125-128 (3)
- ・第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第4部 黒潮の蛇行……………西田英男ほか 30 128-131 (3)
- ・日米セミナー「中層大気力学」の報告……………廣田 勇ほか 30 133-135 (3)
- ・月例会「長期予報・大気大循環」の報告……………栗原弘一ほか 30 160 (3)
- ・熱帯気象学に関する地域科学会議の報告……………組織委員会ほか 30 193-199 (4)
- ・昭和57年度九州支部講演会盛會裡に終わる…………… 30 200 (4)
- ・北海道支部昭和57年度第1回研究発表会の報告…………… 30 268 (5)
- ・大気汚染物質の除去作用に関する第4回国際会議に出席して……………村上正隆 30 315-318 (7)
- ・気象学会総会における学術会議改革問題に対する緊急提案について……………佐藤 功 30 337 (7)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 まえがき……………菊地勝弘 30 343 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 1 オホーツク海の海水分布とその変化……………赤川正臣 30 343-345 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 2 流水観測レーダによる海水の動態……………石田 完 30 346-349 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 3 オホーツク海の北海道の気象への影響……………大川 隆 30 350-355 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 4 大気と海水の相互作用「大気大循環への影響」…片山 昭 30 355-364 (8)
- ・日本学術会議の改革問題について……………増田善信 30 486-488 (9)
- ・海洋大循環実験(WOCE)科学作業グループ第1回会合(ウズホール, 1983年8月)の報告……………木村竜治 30 519-524 (10)
- ・中部支部研究会の開催について…………… 30 526 (10)
- ・気候変動国際協同研究計画(WCRP)が日本学術会議第91回総会で決議された……………山元龍三郎 30 562-564 (11)
- ・月例会「大気数値シミュレーション」(第5回)—北半球が夏の場合のモンスーン循環—の報告……………近藤洋輝ほか 30 611-612 (12)
- ・第18回 IUGG 総会の報告……………廣田 勇ほか 31 19-26 (1)
- ・関西支部発足30周年記念講演会について…………… 31 58 (1)
- ・第4回合同科学委員会(JSC-IV)の報告—1983年3月, ヴェニス—……………浅井富雄 31 63-66 (1)
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について—タワーと風洞に関して」の報告 1 気象研究所観測用鉄塔による大気境界層の解析……………花房龍男 31 91-100 (2)
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について—タワーと風洞に関して」の報告 2 室内実験による大気境界層のシミュレーション……………植田洋匡 31 101-107 (2)
- ・昭和58年度春季大会シンポジウム「大気境界層について—タワーと風洞に関して」の報告 3 大気境界層の構造……………横山長之 31 108-113 (2)
- ・大気, 及び, 大気モデルにおける準定常超長波の維持に関するシンポジウムについて……………住 明正ほか 31 115-125 (2)
- ・東北支部講演会の開催…………… 31 148 (2)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 1 総観規模でみた東北の冷夏……………二宮洗三 31 159-164 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 2 グローバルな場で見た東北の冷夏……………星合 誠 31 164-165 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 3 “やませ”について……………昆 幸雄 31 165-170 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 4 やませの数値シミュレーション……………荒川正一 31 170-172 (3)
- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 5 局地地形における冷却機構について……………近藤純正 31 173-174 (3)

- ・昭和58年秋季大会シンポジウム「東北地方の冷夏について」の報告 6 冷気の流出に関するコメント……………木村竜治 31 175-178 (3)
- ・天気予報技術に関する WMO 第II/第V地区技術集会に出席して……………平沢正信 31 197-199 (3)
- ・第21回レーダ気象会議に出席して (I)……………中村健治 31 228-230 (4)
- ・第21回レーダ気象会議に出席して (II)……………藤原美幸 31 231-234 (4)
- ・月例会「レーダー気象」の報告……………柳沢善次ほか 31 264-265 (4)
- ・第1回 TOVS 国際研究会議報告 (1983年8月29日～9月2日, インスブルック)……………青木忠生 31 285-292 (5)
- ・月例会「大気大循環・長期予報」の報告……………工藤敏雄ほか 31 319-320 (5)
- ・東北支部講演会の開催……………二宮洸三, 角田忠一 31 322 (5)
- ・第4回地球流体夏のセミナー……………吉澤能政 31 401-402 (7)
- ・学協会の登録基準決まる一日本学術会議第93回総会報告……………増田善信 31 428-429 (7)
- ・第5回合同科学委員会 (JSC-V) の報告—1984年3月, 杭州—……………浅井富雄 31 507-512 (8)
- ・「大気境界層観測の計測器及び計測技術に関する短期講座」に出席して……………塚本 修・伊藤芳樹 31 545-551 (9)
- ・中部支部研究会の開催について…………… 31 581 (9)
- ・月例会「南極圏の気象」(第1回)の報告……………廣田 勇ほか 31 586-587 (9)
- ・日本学術会議会員の選出制度はどう変わったか……………増田善信 31 649-651 (10)
- ・月例会「大気数値シミュレーション」(第6回)—中規模スケールの気象現象—の報告……………吉崎正憲ほか 31 652-653 (10)
- ・第2回統計気候学国際研究集会に出席して……………岡本雅典 31 673-677 (11)
- ・地物研連の7分科会は研連に—日本学術会議第96回総会報告—……………増田善信 31 756 (12)
- ・東北支部講演会の報告……………玉山洋一ほか 32 36-37 (1)
- ・月例会「南極圏の気象」(第2回)の報告……………近藤純正ほか 32 128-129, 132 (3)
- ・第7回国際大気電気学会議の報告……………小川俊雄ほか 32 133-137 (3)
- ・中国の気候と世界の気候との関係: 過去・現在・将来……………吉野正敏ほか 32 139-142 (3)
- ・海洋大循環実験 (WOCE) 科学作業グループ第2回 (ワームリー, 1984年1月), 第3回 (ベニス, 1984年11月) の会合報告……………木村竜治 32 143-147 (3)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告……………中澤哲夫ほか 32 207-208 (4)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 1 ベリイ・ファイン・メッシュ・モデルの現状と問題点……………山岸米二郎 32 225-226 (5)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 2 アメダスの風を利用した降雨の実態の把握と予測……………中井公太 32 226-229 (5)
- ・昭和59年春季大会シンポジウム「小規模じょう乱について」の報告 3 レーダーとアメダスを用いた雨域の把握……………竹村行雄 32 229-231 (5)
- ・京都国際 MAP シンポジウムを終えて……………廣田 勇ほか 32 233-239 (5)
- ・第9回国際雲物理学会議 (ICPC) の報告……………菊地勝弘ほか 32 357-361 (7)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の報告 1 アメダス資料からみた九州付近を通過する台風の風の特徴……………渡辺 勉 32 395-397 (8)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の報告 2 台風の構造と温帯低気圧化について……………村松照男 32 397-400 (8)
- ・昭和59年秋季大会シンポジウム「台風と災害」の報告 3 台風災害……………奥田 穰 32 400-405 (8)
- ・1985年水分と湿度に関する国際シンポジウムに出席して……………和田 誠 32 483-485 (9)
- ・IAMAP 総会 (ホノルル) への会員の派遣に関する報告……………国際学術交流委員会 32 485 (9)
- ・月例会「南極圏の気象」第3回の報告

- ……………伊藤朋之ほか 32 508-510 (9)
- ・第19期日本学術会議地球物理学研究連絡委員会
 - …………… 32 592 (10)
- ・昭和60年度春季大会シンポジウム「気候変動」の報告 1 気候変動の診断
 - ……………星合 誠 32 609-613 (11)
- ・昭和60年度春季大会シンポジウム「気候変動」の報告 2 数値モデルによる気候の研究
 - ……………時岡達志 32 614-619 (11)
- ・IAGA/IAMAP 中層大気シンポジウムの報告
 - ……………廣田 勇 32 621-622 (11)
- ・ソウルで開催された国際学会に出席して
 - ……………竹内清秀・河村 武 32 638 (11)
- ・中国気象学会代表団を迎えて—中部支部での交流—
 - ……………岩坂泰信 32 676 (12)
- ・日本学術会議だより 第13期活動計画決まる
 - …日本学術会議広報委員会 32 677-678 (12)
- ・IAMAP 総会 (1985) 実感
 - ……………林 祥介ほか 33 29-30 (1)
- ・極東域のモンスーンに関する国際研究集会の報告
 - ……………中村晃三 33 49-51 (2)
- ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「都市化と災害」の報告 1 高度情報化時代における気象業務の将来展望
 - ……………股野宏志 33 89-91 (3)
- ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「都市化と災害」の報告 2 都市化と洪水
 - ……………角屋 睦 33 91-94 (3)
- ・昭和60年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「都市化と災害」の報告 3 都市化と風災害
 - ……………光田 寧 33 94-99 (3)
- ・昭和60年度秋季大会シンポジウム「都市化と災害」の報告 4 討論…………… 33 99-101 (3)
- ・イギリスにおける「前線」研究の動向—英国気象学会「前線」シンポジウムから—
 - ……………木村竜治 33 145-149 (4)
- ・月例会「南極圏の気象」(第4回)の報告
 - ……………小野延雄ほか 33 167-168 (4)
- ・IAMAP/IAPSO 合同研究集会の報告
 - ……………浅井富雄ほか 33 189-198 (5)
- ・韓国での第1回 ASAAQ 国際会議に参加して
 - ……………竹内清秀・藤谷徳之助 33 199-201 (5)
- ・海面水温異常 (SSTA) の効果に関するモデルの結果の国際比較に関する会議の報告
 - ……………住 明正 33 203-205 (5)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
 - ……………河原幹雄ほか 33 236-237 (5)
- ・IGBP/Study of Global Change
 - ……………浅井富雄 33 275-276 (6)
- ・日本学術会議だより No.1 100回を迎えた日本学術会議総会
 - …日本学術会議広報委員会 33 279-280 (6)
- ・熱帯低気圧に関する国際ワークショップの報告
 - ……………北出武夫ほか 33 359-363 (8)
- ・月例会「南極圏の気象」(第5回)の報告
 - ……………伊藤朋之ほか 33 413-415 (8)
- ・「MAP におけるレーダ技術発展と将来についてのワークショップ」の報告
 - ……………山中大学 33 431-434 (9)
- ・日本学術会議だより No.2 「日本高齢社会総合研究センター(仮称)の設立についての提言」
 - …日本学術会議広報委員会 33 473-474 (9)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 1 季節内変動のモニタリング
 - ……………河原幹雄 33 515-519 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 2 ENSO モデル研究の最近の発展
 - ……………山形俊男 33 519-522 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 3 30—40日周期振動に関する数値実験
 - ……………林 祥介 33 522-524 (10)
- ・昭和61年度日本気象学会春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 4 「TOGA」計画について……………住 明正 33 525-526 (10)
- ・昭和61年度春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 総合討論
 - ……………松野太郎 33 526-528 (10)
- ・「インド・モンスーン長期予報100年」記念国際セミナーに参加して
 - ……………安成哲三・栗原弘一 33 529-536 (10)
- ・関西支部「第8回夏季大学」の報告
 - …………… 33 550 (10)
- ・北海道支部「第4回夏季大学」の報告
 - …………… 33 550 (10)
- ・大気力学京都国際セミナーの報告

- ……………廣田 勇ほか 33 575-577 (11)
- ・豪雨に関する Workshop について
 - ……………住 明正 33 579-584 (11)
- ・東北支部講演会の報告…………… 33 622 (11)
- ・「国際衛星雲気候計画 (ISCCP) 資料管理作業委員会第5回会議」
 - ……………黒崎明夫 33 633-634 (12)
- ・「衛星観測による極域の雲に関するワークショップ」の報告……………山内 恭 33 635-636 (12)
- ・WMO/IUGG 短・中期数値予報国際シンポジウムの報告……………二宮洸三 33 637-639 (12)
- ・SCOSTEP 審議会/MAP 委員会, 第6回STPシンポジウムおよび第26回COSPAR総会の報告……………加藤 進ほか 34 23-26 (1)
- ・ヨーロッパでの国際会議と大学・研究所訪問
 - ……………余田成男 34 59-62 (1)
- ・日本学術会議だより No.3 第13期初めての勧告・要望出る
 - …日本学術会議広報委員会 34 69-70 (1)
- ・CAS/JSC 数値実験作業委員会に出席して
 - ……………北出武夫 34 102 (2)
- ・TOGA-SSG IV/Vについて
 - ……………住 明正 34 115-117 (2)
- ・STE 研究会に参加して
 - ……………岩崎俊樹 34 119-120 (2)
- ・関西支部「昭和61年度第2回例会」の報告
 - …………… 34 129 (2)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告
 - ……………小野 晃 34 175 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 1 黄砂の発生と輸送
 - ……………村山信彦 34 176-179 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 2 黄砂粒子の輸送と輸送途中で見られる物理・化学的变化
 - ……………岩坂泰信 34 179-183 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 3 日射観測からみた黄砂
 - ……………荒生公雄 34 183-185 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「黄砂」の報告 4 黄砂性エアロゾルの光学的特性……………中島映至 34 185-188 (3)
- ・昭和61年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
 - 「黄砂」の報告 5 氷晶核としての黄砂
 - ……………田中豊顕 34 189-194 (3)
 - ・日本学術会議だより No.4 21世紀の学術とその動向調査
 - …日本学術会議広報委員会 34 213-214 (3)
 - ・関西支部「昭和61年度第3回例会」の報告
 - …………… 34 216 (3)
 - ・局地モデルに関するミニワークショップの報告
 - ……………中村 一 34 239-241 (4)
 - ・第2回南半球の気象国際会議の報告
 - ……………和田 誠・忠鉢 繁 34 243-244 (4)
 - ・月例会「南極圏の気象」(第6回)の報告
 - ……………安成哲三ほか 34 257-261 (4)
 - ・スウェーデンの“反核気象人の会”
 - ……………増田善信 34 267-268 (4)
 - ・関西支部昭和61年度第4回例会および講演会の報告…………… 34 274 (4)
 - ・気候研究のための衛星観測システムに関する作業委員会 (JSC/CCCO WGSOS) 第4回会議報告……………村山信彦 34 317-320 (5)
 - ・国際会議「南半球の気象」・「気候変動のメカニズム」とCSIRO 大気研究部門訪問
 - ……………余田成男 34 337-338 (5)
 - ・第23回レーダー気象会議に出席して
 - ……………石原正仁ほか 34 369-374 (6)
 - ・日本学術会議だより No.5 地域型研究機関設立(勧告)・学術予算の増額(要望)出される
 - …日本学術会議広報委員会 34 418-419 (6)
 - ・第9回風工学シンポジウムの報告
 - ……………竹内清秀・藤谷徳之助 34 441-442 (7)
 - ・大気境界層ワークショップの講演から
 - ……………木村富士男・竹内清秀 34 507-508 (8)
 - ・東アジアの大気循環に関する国際会議—中国・成都, 1987年4月10~15日—
 - ……………浅井富雄ほか 34 509-515 (8)
 - ・北海道支部創立30周年記念行事の報告
 - …………… 34 538 (8)
 - ・日本学術会議だより No.6 マン・システム・インターフェース(人間と高度技術化社会)特別委員会設置さる
 - …日本学術会議広報委員会 34 591-592 (9)
 - ・南半球中層大気と重力波に関する合同国際ワークショップの報告
 - ……………廣田 勇・神沢 博 34 611-613 (10)

- ・関西支部第9回夏季大学の報告
..... 34 632 (10)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「梅雨とモンスーン」報告 1 東アジア循環
場の季節進行と梅雨前線
.....加藤内蔵進 34 685-688 (11)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「梅雨とモンスーン」報告 2 モンスーンの
季節内変動と東アジアの循環場
.....安成哲三 34 689-692 (11)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「梅雨とモンスーン」報告 3 中国黄河流域
の降水量の年々変動とアジアモンスーンとの
関係.....田中 実 34 693-695 (11)
- ・昭和62年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「梅雨とモンスーン」報告 4 JMA モデル
による梅雨とモンスーンの予報実験
.....中村 一 34 696-699 (11)
- ・第1回「梅雨研究会」報告
.....加藤内蔵進ほか 34 761-768 (12)
- ・月例会「南極圏の気象」(第7回)の報告
.....瀬古勝基ほか 34 785-789 (12)
- ・日本学術会議だより No.7 「脳死に関する見
解」採択される
...日本学術会議広報委員会 34 790-791 (12)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
.....上野達雄ほか 35 20-22 (1)
- ・IUGG 第19回総会の報告—バンクーバー1987年8
月—.....浅井富雄ほか 35 71-82 (2)
- ・日本学術会議だより No.8 公開講演会開催さる
...日本学術会議広報委員会 35 105-106 (2)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
乱」の報告 1 石狩平野の降雪の特徴
.....菊地勝弘 35 135-140 (3)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
乱」の報告 2 降雪雲の動的構造
.....若濱五郎 35 141-146 (3)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
乱」の報告 3 北海道西岸における小低気
圧.....木部俊一郎 35 146-151 (3)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
乱」の報告 4 日本海上の収束雲の数値実
験.....永田 雅・猪川元興 35 151-155 (3)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
乱」の報告 5 日本海豪雪の中規模の様相
.....浅井富雄 35 156-161 (3)
- ・昭和62年度日本気象学会秋季大会シンポジウム
「“どか雪”—日本海における中小規模じょう
乱」の報告 討論及び総合討論の記録とあと
がき.....上田 博ほか 35 161-165 (3)
- ・ASEAN 地域特別気象中枢計画会議
.....二宮洸三 35 200,210 (3)
- ・地球大気化学国際シンポジウム報告
.....小川利紘 35 231-232 (4)
- ・熱帯降雨観測国際シンポジウム
.....中村健治・新田 勲 35 233-235 (4)
- ・月例会「南極の気象」(第8回)の報告
.....遠藤辰雄ほか 35 261-266 (4)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
.....田畑 明ほか 35 339-343 (5)
- ・日本学術会議だより No.9 第13期最後の総会
終わる
...日本学術会議広報委員会 35 398-399 (6)
- ・大気—海洋相互作用に関するピアクネスシンポジ
ウム.....新田 勲ほか 35 417-425 (7)
- ・「スペシャル(テーマ別)セッション」提案者の
弁.....増田耕一 35 455-456,440 (7)
- ・WMO「短中期天気予報研究作業委員会」と「全球
数値予報結果の利用に力点を置いた地域気象
予報技術検討会」
.....二宮洸三 35 479-480 (8)
- ・clouds in climate II 研究集会(1987年10月)の
報告.....武田喬男ほか 35 545-549 (9)
- ・熱帯の微気象と大気汚染の国際会議の報告
...木村富士男・大喜多敏一 35 551-553 (9)
- ・南極委員会が行った「テーマ別セッション」につ
いて.....丸山健人 35 554 (9)
- ・関西支部第10回夏季大学の報告
..... 35 638 (10)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「生態系と気候変動」の報告 1 生命の存在
と地球環境の生成
.....森山 茂 35 653-659 (11)

- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「生態系と気候変動」の報告 2 植生地の顕熱・潜熱輸送のパラメータ化
……………近藤純正 35 659-662 (11)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「生態系と気候変動」の報告 3 森林草地、半乾燥地からの蒸発散量
……………三上正男・安田延壽 35 662-667 (11)
- ・昭和63年度日本気象学会春季大会シンポジウム
「生態系と気候変動」の報告 4 GCMを用いた生態系の気候形成における役割の研究
……………山崎孝治 35 667-672 (11)
- ・Polar Ozone Workshop (極域オゾン研究集会)
参加報告……………忠鉢 繁 35 707-708 (12)
- ・ヘルシンキ COSPAR 中層大気シンポジウムの報告……………廣田 勇・山中大学 35 709-713 (12)
- ・日本学術会議だより No.11 第14期活動計画決まる
…日本学術会議広報委員会 35 730-731 (12)
- ・TOGA-SSG-VII報告
……………住 明正 35 745-746,708(12)
- ・NVAG 2 (地球物理におけるスケーリング則・フラクタル・非線形変動) ワークショップ報告
……………矢野順一 36 5-9 (1)
- ・第2回「梅雨研究会」報告
……………加藤内蔵進ほか 36 11-17 (1)
- ・北海道支部で主催した講演会と研究発表会の報告
…………… 36 34 (1)
- ・ヘルシンキ COSPAR 総会の報告 (惑星大気力学関係) ……………山中大学 36 59-62 (2)
- ・国際オゾンシンポジウム・対流圏オゾンワークショップ報告
……………小川利紘ほか 36 63-68 (2)
- ・ニュークリエーションと大気エアロゾルの第12回国際会議に出席して
……………福田矩彦 36 119-120 (3)
- ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告—中・高緯度対流圏の長期変動—
……………露木 義ほか 36 158-160 (3)
- ・日本学術会議だより No.12 第14期特別委員会の活動始まる
…日本学術会議広報委員会 36 187-188 (3)
- ・大型レーダー国際学校 (ISAR) および第4回MST レーダーワークショップの報告
……………山中大学・佐藤 薫 36 269-274 (5)
- ・Climate System Modeling Initiative (CSMI) 第1回研究集会に出席して
……………田中 博 36 275-277 (5)
- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 36 376-380 (6)
- ・日本学術会議だより No.13 第14期初めての勧告採択される
…日本学術会議広報委員会 36 387-388 (6)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 1 雲の放射特性
……………田中正之 36 393-399 (7)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 2 大気大循環モデルにおける雲の取り扱い
……………時岡達志 36 399-407 (7)
- ・昭和63年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「雲と放射」の報告 3 雲と降水のメカニズム……………高橋 劭 36 407-412 (7)
- ・第10回国際雲物理学会議の報告
……………武田喬男ほか 36 417-425 (7)
- ・第5回WMO 気象制御・雲物理応用に関する科学会議 (1989年5月8~12日, 中国北京市) 出席報告……………水野 量 36 477-479 (8)
- ・韓国気象学会総会に出席して
……………浅井富雄 36 480 (8)
- ・オゾン層の現状に関する声明国際オゾン委員会
……………小川利紘 36 508-509 (8)
- ・日本学術会議だより No.14 人間の科学特別委員会設置される
…日本学術会議広報委員会 36 547-548 (8)
- ・シンポジウム“下部対流圏のプロファイリング: Needs and Technologies”・国際Sodar比較観測報告……………森 征洋ほか 36 553-558 (9)
- ・中国南極観測国際シンポジウムに出席して
……………山内 恭 36 559-560 (9)
- ・関西支部第11回夏季大学の報告
…………… 36 596 (9)
- ・オゾン研究会報告
……………林田佐智子 36 599-600 (9)
- ・米国気象学会中層大気分科会および南半球中層大気国際研究集会の報告
……………廣田 勇ほか 36 615-620 (10)
- ・IAMAP 第5回研究集会の報告—レディング,

- 1989年8月—
- ……浅井富雄ほか 36 723-726 (12)
 - ・初の沖縄大会に参加して
 - ……丸山健人 36 742 (12)
 - ・アルパイン気象の国際研究集会に参加して
 - ……石島 英 36 760-762 (12)
 - ・日本学術会議だより No. 15 「ヒト・ゲノム・プロジェクトの推進について(勧告)」を採択
 - …日本学術会議広報委員会 36 765-766 (12)
 - ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 序論
 - ……関口理郎 37 19 (1)
 - ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 1 オゾン層の観測
 - ……下道正則 37 20-25 (1)
 - ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 2 オゾン層の力学
 - ……神沢 博 37 25-31 (1)
 - ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 3 オゾン層の化学
 - ……近藤 豊 37 31-36 (1)
 - ・平成元年度日本気象学会春季大会シンポジウム「オゾン層の科学—現状と課題」の報告 4 オゾン層のモデリング
 - ……佐々木 徹 37 37-40 (1)
 - ・北海道支部で主催した講演会と研究発表会の報告
 - …… 37 56 (1)
 - ・地球規模気候変動における地表面放射収支(SRB)に関するCOSPAR/WCRP ワークショップ出席報告
 - ……山内 恭 37 116-118 (2)
 - ・月例会「長期予報と大気大循環」の報告
 - ……山田真吾ほか 37 137-140 (2)
 - ・スペシャルセッションの報告「地表面・大気相互作用」(1988年秋)、「陸面過程」(1989年春)
 - ……増田耕一・桑形恒男 37 161-164 (3)
 - ・国際シンポジウム「Ice and Climate (雪氷圏と気候)」に参加して
 - ……安成哲三ほか 37 165-168 (3)
 - ・日本学術会議だより No. 16 公開講演会盛會裡に終了
 - …日本学術会議広報委員会 37 209-210 (3)
 - ・南半球の気象と海洋に関する第3回国際会議の報告
 - ……鬼頭昭雄 37 245-247 (4)
 - ・ソ連で開催された中層大気に関する国際シンポジウムの報告
 - ……津田敏隆 37 251-254 (4)
 - ・“台風”—その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 1 気候システムにおける台風
 - ……住 明正 37 311-316 (5)
 - ・“台風”—その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 2 台風の構造(発生, 発達)のシミュレーション, 台風数値予報モデルを含む
 - …山岬正紀 37 316-320 (5)
 - ・“台風”—その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 3 台風の移動と予測(襲来頻度の統計的な考察を含む)
 - ……村松照男 37 320-323 (5)
 - ・“台風”—その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 4 台風の強風の性質と確率モデルによるシミュレーション
 - ……藤井 健・光田 寧 37 324-328 (5)
 - ・“台風”—その最盛期における特徴と予測および防災について—の報告 討論と総合討論
 - ……石島 英・仲吉良功 37 329-333 (5)
 - ・「モンスーンに関する国際シンポジウム」に参加して
 - ……松本 淳ほか 37 389-392 (6)
 - ・日本学術会議だより No. 17 「地球圏—生物圏国際共同研究計画(IGBP)の実施について(勧告)」を採択
 - …日本学術会議広報委員会 37 433-434 (6)
 - ・「インドネシア地域における赤道大気観測に関する国際シンポジウム」の報告
 - ……加藤 進ほか 37 477-482 (7)
 - ・月例会「レーダー気象」の報告
 - ……吉崎正憲ほか 37 495-500 (7)
 - ・第3回気象レーダーと飛行安全に関する国際会議—台北, 1990年5月10~11日—
 - ……張 泉湧 37 519-520 (8)
 - ・「亜熱帯大気の大規模レーダー観測に関する国際ワークショップ」の報告
 - ……山中大学 37 603-604 (9)
 - ・日本学術会議だより No. 18 第15期日本学術会議会員の選出手続き始まる
 - …日本学術会議広報委員会 37 624-625 (9)
 - ・欧州科学財団研究集会「史料から復元されたヨー

- ロップの気候：方法と成果」—1990年3月1
～3日、マイツウの報告
……………田上善夫 37 677-680 (10)
- 関西支部第12回夏季大学の報告
…………… 37 688 (10)
 - 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存する
サブ・システムをめぐる—」
……………木田秀次 37 727 (11)
 - 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存するサ
ブ・システムをめぐる—」1 陸上生態系
……………及川武久 37 728-731 (11)
 - 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存するサ
ブ・システムをめぐる—」2 土壌生態系
から放出される微量温室効果ガス
…犬伏和之・土器屋由紀子 37 731-736 (11)
 - 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存するサ
ブ・システムをめぐる—」3 永久凍土と
気候
……………福田正己 37 736-741 (11)
 - 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存するサ
ブ・システムをめぐる—」4 海洋プラン
クトン……………寺崎 誠 37 741-745 (11)
 - WMO 新広告資料 (Fact Sheet) の紹介
……………松原廣司 37 771-772 (11)
 - TOGA-COARE Workshop と TOGA-SSG 9 の
報告……………住 明正 37 773-774 (11)
 - 熱帯海洋と全球大気 (TOGA) に関する国際研究
集会に参加して
……………安成哲三ほか 37 809-819 (12)
 - 「国際地球物理金沢会議 (1990 WPGM)」の報告
……………木村竜治ほか 37 821-827 (12)
 - 日本学術会議だより No. 19 「創薬基礎科学研
究の推進について (勧告)」を採択
…日本学術会議広報委員会 37 855-856 (12)
 - 第22回海洋流体力学リェージュ国際コロキウム
(氷海と氷縁域：物理, 化学, 生物諸過程と相
互作用) に参加して
……………白澤邦男 38 33-34 (1)
 - 第28回 COSPAR 総会および第7回 STP シンポ
ジウム (中層大気力学および惑星大気力学関
係) の報告……………山中大学 38 35-40 (1)
 - 月例会「長期予報と大循環」の報告
……………工藤達也ほか 38 49-51 (1)
 - メソスケールデータ同化に関する NCAR 夏期コ
ロキウム参加報告
……………青梨和正 38 64-71 (1)
 - 地球規模変動における極域の役割に関する国際会
議の報告
……………田中 博ほか 38 103-106 (2)
 - WMO/UNEP・IPCC 第4回会合から
……………黒沢真喜人 38 107-108 (2)
 - 第7回地球大気化学国際シンポジウムおよび
IGAC 進捗状況
……………小川利紘 38 149-150 (3)
 - 日本学術会議だより No. 20 公開講演会成功裡
に開催さる
…日本学術会議広報委員会 38 233-234 (4)
 - 1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
中豪雨」の報告
……………余田成男 38 275-276, 311-314 (5)
 - 1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
中豪雨」の報告 1. 集中豪雨の解析とメカ
ニズム……………小倉義光 38 276-288 (5)
 - 1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
中豪雨」の報告 2. 集中豪雨の予測につい
て……………萬納寺信崇 38 288-294 (5)
 - 1990年度日本気象学会秋季大会シンポジウム「集
中豪雨」の報告 3. 集中豪雨の情報と防災
……………吉澤 博 38 294-301 (5)
 - 第3回国際大気科学会議の報告—1990年10月
15～19日—……………佐藤純次 38 363-365 (6)
 - 第1回「やませの研究会」報告
……………加藤内蔵進ほか 38 371-373 (6)
 - 気候変化に関する北京国際シンポジウムの印象
……………吉野正敏ほか 38 375-380 (6)
 - 「WMO 月・季節変動の診断と予測に関する研修
ワークショップ」の報告
……………栗原弘一ほか 38 427-432 (7)
 - 第26期第1回評議員会の報告
……………木田秀次・青木 孝 38 449-452 (7)
 - スペシャル・セッション「いろいろな QBO (準二
年振動)」のまとめ
……………田中 浩 38 501-503 (8)

- ・月例会「レーダー気象」の報告
……………田畑 明ほか 38 509-512 (8)
- ・日本学術会議だより No. 21 第14期最後の総会
終わる
…日本学術会議広報委員会 38 517-518 (8)
- ・第2回世界気候会議出席報告
……………新田 尚ほか 38 553-560 (9)
- ・第1回米国 TRMM (熱帯降雨観測衛星) 計画科
学チーム会議……………新田 勲 38 561-564 (9)
- ・TOGA-COARE 実施計画会議の報告
……………住 明正・竹内謙介 38 595-601 (9)
- ・「エルニーニョ・南方振動に関する日米ワーク
ショップ」(1990年9月10日～14日, 米国シア
トル) に参加して
……………中澤哲夫ほか 38 623-627 (10)
- ・南極地域の対流圏化学に関するシンポジウム報告
……………伊藤朋之ほか 38 629-633 (10)
- ・日本学術会議だより No. 22 第15期最初の総会
開催される
…日本学術会議広報委員会 38 675-676 (10)
- ・月例会「第1回メソ気象研究会」の報告
……………吉崎正憲ほか 38 711-713 (11)
- ・「インドネシア域における赤道大気観測に関する
第3回国際シンポジウム」の報告
……………津田敏隆ほか 38 747-755 (12)
- ・「日本気象学会夏期特別セミナー (第二回夏の学
校)」の報告
…第二回夏の学校実行委員会・講演企画委員会
38 764 (12)
- ・極域研究連絡会1991年春季研究会「北極圏の大気
環境 (I)」報告
……………山内 恭ほか 38 783-784 (12)
- ・国際測地学地球物理学連合第20回総会報告
—ウィーン, 1991年8月—
……………浅井富雄ほか 39 5-15 (1)
- ・日本学術会議だより No. 23 第15期活動計画決
まる
…日本学術会議広報委員会 39 65-66 (1)
- ・第一回「火山灰と航空機航行の安全に関する国際
シンポジウム」(1991年7月8日～12日, 米国
ワシントン州シアトル) 出席報告
……………澤田可洋 39 267-270 (5)
- ・日本学術会議だより No. 24 第15期特別委員会
の活動始まる
……………日本学術会議広報委員会 39 319-320 (5)
- ・日本学術会議だより No. 25 学術国際貢献特別
委員会設置される
…日本学術会議広報委員会 39 391-392 (6)
- ・チャップマン会議「気候, 火山, 地球規模変動」
(1992年3月23日から26日, ハワイ/ヒロ) 参
加報告……………林田佐智子 39 665-667 (11)
- ・「中層大気に関する国際シンポジウム」の報告
……………深尾昌一郎・山中大学 39 669-672 (11)
- ・モデル相互比較実験研究会議に参加して
……………鬼頭昭雄・岩崎俊樹 39 673-677 (11)
- ・下層・中層大気中の結合過程に関する国際ワーク
ショップの報告
……………余田成男 39 679-681 (11)

603 文献, 刊行物

* 解説

- ・日本気象学会創立100周年記念「天気」特別号につ
いて
……………内田英治・杉村行勇 29 267 (4)

* その他

- ・佐尾和夫著「空電」
……………高木増美 29 34 (1)
- ・廣田 勇著「大気大循環と気候」
……………大野久雄 29 52 (1)
- ・朝倉 正著「異常気象に備える」
……………内田英治 29 155 (2)
- ・竹内清秀・近藤純正著「地表に近い大気 大気科
学講座1」……………杉山青春 29 171 (2)
- ・高橋浩一郎・山下 洋・土屋 清・中村和郎編「衛
星で見る日本の気象」
……………内田英治 29 194 (2)
- ・J. T. Houghton 著, 廣田 勇・会田 勝訳「大気
物理学」……………佐藤信夫 29 222 (3)
- ・P. G. Drazin and W. H. Reid 著 “Hydrodynamic
Stability” ……………新野 宏 29 236, 250 (3)
- ・「天気」主要項目索引
……………「天気」編集委員会 29 357-447 (4)
- ・富山地学会編「豪雪」
……………吉野正敏 29 536 (5)
- ・高橋浩一郎著「生存の条件」
……………内田英治 29 558 (5)
- ・池田真雄・鈴木栄一・内田英治・吉野正敏編“Statis-

- tical Climatology”
 ……菊地原英和 29 577-578 (5)
- ・森山 茂著「大気の世界 気象学のプロムナード
1」 ……兼岡一郎 29 594 (6)
 - ・宮沢清治著「防災と気象」
 ……内田英治 29 624 (6)
 - ・松野太郎・島崎達夫著「成層圏と中層圏の大気 大
気科学講座3」
 ……木田秀次 29 632 (6)
 - ・斎藤直輔著「天気図の歴史 気象学のプロムナ
ード5」 ……櫃間道夫 29 710 (7)
 - ・近藤純正著「大気境界層の科学 気象学のプロム
ナード4」 ……藤谷徳之助 29 720 (7)
 - ・増田善信著「数値予報 気象学のプロムナード3」
 ……大野久雄 29 747 (7)
 - ・新田隆三著「雪崩の世界から」
 ……柴田裕司 29 772 (8)
 - ・島貫 陸著「乱流と気象 気象学のプロムナード
6」 ……竹内清秀 29 786 (8)
 - ・「天気」主要項目の著者名索引 { 1巻 (1954) ~28
巻 (1981) }
 ……「天気」編集委員会 29 799-836 (8)
 - ・K. Takahashi, H. Arakawa 編 “Climates of
Southern and Western Asia”
 ……田宮兵衛 29 848, 850 (8)
 - ・内嶋善兵衛編「農林・水産の気象 現代の気象テ
クノロジー4」
 ……尾崎康一 29 870 (8)
 - ・会田 勝著「大気と放射過程 気象学のプロム
ナード8」 ……島貫 陸 29 950 (9)
 - ・根本順吉・島田守家・小林禎作・荒川正一・山下
脩二・渡辺和夫・関口理郎著「図説 気象学」
 ……新田 尚 29 984, 988 (9)
 - ・安井春雄, 船津康二, 田辺久之著「静岡県のお天
気」 ……池田 学 29 1114 (11)
 - ・Steven R. Hanana, Gary A. Briggs, Rayford P.
Hosker, Jr. 著 “Handbook on Atmospheric
Diffusion” ……小川 靖 29 1128 (11)
 - ・昭和56年度大学院卒業論文 (気象学関係) 及び気
象大学校卒業論文一覧
 ……「天気」編集委員会 29 1157-1158, 1160 (11)
 - ・宮田賢二編「広島県の高気圧」
 ……根山芳晴 29 1242 (12)
 - ・E. Kessler 編 “Thunderstorms” Vol. 1, Vol. 2 お
よび Vol. 3 ……二宮洸三 30 76 (2)
 - ・原田 朗著「大気の汚染と気候の変化 気象学の
プロムナード11」
 ……林 正康 30 135 (3)
 - ・Eric C. Barrett and David W. Martin 著 “The
Use of Satellite Data in Rainfall Monitor-
ing” ……山下 洋 30 136 (3)
 - ・小林禎作著「雪の結晶—冬のエフェメラル」
 ……安富裕二 30 216 (4)
 - ・Richard A. Anthes 著 “Tropical Cyclones, Their
Evolution, Structure and Effects”
 ……石島 英 30 227 (4)
 - ・田中 潔著「手ざわよい科学論文の仕上げ方」
 ……久保田 効 30 254 (5)
 - ・日本化学会編「化学総説 No. 39 無機光化学」
 ……伏見克彦 30 326 (7)
 - ・廣田 勇著「地球をめぐる風—私の気象物語」
 ……瓜生道也 30 544 (11)
 - ・木村竜治著「地球流体力学入門 気象学のプロム
ナード13」 ……守田 治 30 561 (11)
 - ・高橋浩一郎監修「日本気象総覧」
 ……竹内清秀 30 609 (12)
 - ・安成哲三・藤井理行著「ヒマラヤの気候と氷河 気
象学のプロムナード15」
 ……廣田 勇 30 610 (12)
 - ・E. E. Gossard and R. G. Strauch 著 “Radar
Observation of Clear Air and Clouds”
 ……青柳二郎 31 6 (1)
 - ・昭和57年度大学院卒業論文 (気象学関係) 及び気
象大学校卒業論文一覧
 ……「天気」編集委員会 31 70-72 (1)
 - ・E. Plate 編 “Engineering Meteorology”
 ……村山信彦 31 114 (2)
 - ・B. Hoskins and R. Pearce 編 “Large-scale
dynamical processes in the atmosphere”
 ……久保田 効 31 269 (4)
 - ・「近年における世界の異常気象の実態調査とその
長期見通しについて (III)」の紹介
 ……真野裕三 31 270-272 (4)
 - ・FGGE データセット利用ご案内
 ……岩嶋樹也 31 323-324 (5)
 - ・和達清夫・高橋浩一郎・根本順吉編著「お天気博
士 藤原咲平」…磯野謙治 31 375 (6)
 - ・増田善信著「気象と科学」

-岡林一夫 31 402 (7)
- ・田村専之助著「東洋気象学史論叢全六巻」
.....和達清夫・倉嶋 厚 31 427 (7)
- ・小倉義光著「一般気象学」
.....廣田 勇 31 496 (8)
- ・朝倉 正・内嶋善兵衛・久保木光熙・長坂昂一著
「異常気象時代—いま何がおこっているか—」
.....青木 孝 31 544 (9)
- ・木村耕三著「巨大地震を考えよう」
.....榎間道夫 31 582 (9)
- ・木村龍治, 立平良三, 西田篤弘著「うずまく大気
と海」.....榎間道夫 32 14 (1)
- ・M. M. Yoshino 編「Climate and agricultural
land use in monsoon Asia」
.....高橋浩一郎 32 142 (3)
- ・倉嶋 厚著「暮らしの気象学」
.....池田 学 32 174 (4)
- ・花岡利昌, 東 修三編「ハウスクリマ」
.....佐橋 謙 32 270 (5)
- ・根本順吉著「渦・雲・人」
.....安藤隆夫 32 320 (6)
- ・Werner Schwerdtfeger 著「Weather and Cli-
mate of the Antarctic」
.....大畑哲夫・山内 恭 32 486, 489 (9)
- ・H. ストンメル, E. ストンメル著, 山越幸江訳
「火山と冷夏物語」
.....近藤純正 32 490 (9)
- ・朝倉 正著「気候変動と人間社会」
.....栗原弘一 32 551 (10)
- ・太陽エネルギー利用ハンドブック編集委員会編集
「太陽エネルギー利用ハンドブック」
.....竹内清秀 32 584 (10)
- ・増田善信著「核の冬」
.....岡林一夫 32 630 (11)
- ・福井英一郎他編「日本・世界の気候図」
.....高橋浩一郎・藤谷徳之助 32 640 (11)
- ・WCP レポートシリーズについて
.....真野裕三 33 63-70 (2)
- ・H. Van Loon 編「Climates of the Oceans」
.....西川 敦 33 72 (2)
- ・押田勇雄著「エクセルギー講義」
.....太田 寛 33 276 (6)
- ・ADVANCES IN GEOPHYSICS Volume 28
Issues in Atmospheric and Oceans Model-
ing....安富裕二・高藪 出 33 345-346 (7)
- ・日本農業気象学会 農業気象用語編集委員会編
「農業気象用語解説集」
.....榎間道夫 33 364 (8)
- ・丸山健人著「高層天気図を描く」
.....足立 崇 33 386 (8)
- ・John Imbrie and Katherine P. Imbrie 著「ICE
AGES」 SOLVING THE MYSTERY
.....島田守家 33 506 (10)
- ・巽 友正編「乱流現象の科学」—その解明と制御—
.....藤谷徳之助 33 574 (11)
- ・海野和三郎・上田誠也・駒林 誠・木村龍治ほか
改訂「地学」.....島田守家 33 592 (11)
- ・A. Kessler 著 General Climatology Vol. 1A
「Heat balance of climatology」
.....大畑哲夫 34 43 (1)
- ・立平良三著 第II期 気象学のプロムナード 2
「新しい天気予報」
.....安富裕二 34 53 (1)
- ・岸保勘三郎他著 第II期 気象学のプロムナード
「新しい気象力学」
.....金久博忠 34 108 (2)
- ・宮沢清治著「朝雨は女の腕まくり」
.....飯島邦彦 34 118 (2)
- ・近藤純正著「身近な気象の科学」
.....石島 英 34 123 (2)
- ・高橋浩一郎著「理科年表読本 気象歳時記」
.....河村 武 34 128 (2)
- ・D. D. Houghton 編 応用気象ハンドブック
.....村山信彦 34 156 (3)
- ・日本放送協会編 NHK 最新気象用語ハンドブッ
ク.....土屋 清 34 204 (3)
- ・D. Tolmazin 著「ELEMENTS OF DYNAMIC
OCEANOGRAPHY」
.....島田守家 34 206 (3)
- ・倉嶋 厚・鈴木正一郎著「雲」
.....河村 武 34 216 (3)
- ・A. L. Berger & C. Nicolis 編 Developments in
Atmospheric Science ; 16
.....山田真吾 34 241 (4)
- ・河村 武編「気候変動の周期性と地域性」
.....福山 薫 34 242 (4)
- ・真木太一著「風害と防風施設」
.....元田雄四郎 34 343 (5)

- ・ Cynthia Rosenzweig・Robert Dickinson 編
「Climate-Vegetation Interaction」
……………増田耕一 34 462 (7)
- ・ 高橋 劭著 第二期気象学のプロムナード4
「雲の物理」 ……村上正隆 34 531 (8)
- ・ 近藤純正著「夢氷山」
……………木村竜治 34 587 (9)
- ・ Robert Greenler 著 「Rainbows, Halos, and
Glories」 ……藤原滋水 34 599 (9)
- ・ 吉野正敏著「新版小気候」
……………菊地勝弘 34 614 (10)
- ・ 高橋浩一郎・内田英治・新田 尚著 第二期 気
象学のプロムナード5 「気象学百年史」
……………鈴木 靖 34 702 (11)
- ・ 和達清夫監修 海洋大事典
……………新田 尚 35 111 (2)
- ・ 40周年記念レーダー気象会議に参加して
……………道本光一郎 35 166-167 (3)
- ・ 竹内利雄著「雷放電現象」
……………北川信一郎 35 372 (6)
- ・ 全気象労働組合編 天気予報はどうなっているか
……………嶋村 克 35 416 (7)
- ・ 石島 英著「台風学のすすめ」—沖縄からみた台
風 自然と風土—
……………木村竜治 35 496 (8)
- ・ 木下誠一編著「雪と氷のはなし」
……………安富裕二 35 500 (8)
- ・ Earth System Science-A Closer View NASA
Earth System Sciences 委員会報告
……………住 明正 35 553 (9)
- ・ 吉野正敏著「雪と生活」
……………高橋浩一郎 35 569 (9)
- ・ O. M. Essenwanger 著「World Survey of Clima-
tology 1B」 ……安成哲三 35 572 (9)
- ・ 荒井伊左夫著(宮澤清治監修)「信州の空模様」
……………川上紳一・飯島邦彦 35 606 (10)
- ・ Craig F. Bohren 著「Clouds in a Glass of Beer」
—Simple Experiments in Atmospheric
Physics— ……菊地時夫 36 10 (1)
- ・ 国立極地研究所編「南極の気象3 気象」
……………深堀正志 36 17 (1)
- ・ 高橋 博ほか編「沿岸災害の予知と防災」—津波、
高潮にどう備えるか—
……………宮崎正衛 36 54 (1)
- ・ 松井 健・小川 肇編著「日本の風土」
……………河村 武 36 62 (2)
- ・ 極域におけるオゾン特集(GRL, 1988, 8月号)
の紹介……………秋吉英治 36 161-164 (3)
- ・ 小林壽太郎著「気象をはかる」
……………河村 武 36 164 (3)
- ・ 河村 武・岩城英夫編「環境科学I」—自然環境
系—……………高橋浩一郎 36 232 (4)
- ・ 真木太一著「風と自然」—気象学・農業気象学へ
のいざない—
……………藤谷徳之助 36 339 (6)
- ・ 吉野正敏著「風の世界」
……………荒川正一 36 346 (6)
- ・ M. E. Schlesinger 編「Physically-Based Model-
ling and Simulation of Climate and Cli-
matic Change」
……………増田耕一 36 416 (7)
- ・ 山崎道夫・仲吉良功・大城繁三編「沖縄の気象」
……………鈴木義男 36 448 (7)
- ・ 宮澤清治著「宮澤清治のウェザーボックス」
……………飯島邦彦 36 509 (8)
- ・ 島崎達夫著「成層圏オゾン」第2版
……………林田佐智子 36 624 (10)
- ・ プディコ・ロノフ・ヤンシン著 内嶋善兵衛訳「地
球大気の歴史」
……………森山 茂 37 70, 44 (1)
- ・ 人類とエネルギー研究会編「地球環境と人間」
……………林 久美 37 111 (2)
- ・ 山元龍三郎著「気象異常」
……………石島 英 37 168 (3)
- ・ J. E. ラブロック著, スワミ・プレム・プラムッダ
訳「ガイアの時代」
……………木村竜治 37 193 (3)
- ・ 真木太一著「風を読む」
……………早川誠而 37 250 (4)
- ・ 1987・1988・1989年度大学卒業論文一覧
…………… 37 487 (7)
- ・ 平沼洋司著「くらしとビジネスのお天気経済学」
……………田宮兵衛 37 526 (8)
- ・ 朝倉 正編著「産業と気象のABC」
……………青木 孝 37 542 (8)
- ・ G. T. Meaden 著「ミステリーサークル」
……………菊地時夫 37 716 (10)
- ・ 岩坂泰信著「オゾンホール」

-笹野泰弘 37 746 (11)
- ・土質工学会編「土質工学と気象」
.....藤谷徳之助 37 751 (11)
 - ・H. Charnock and S. G. H. Philander 編「The Dynamics of the Coupled Atmosphere and Ocean」.....長井嗣信 37 763 (11)
 - ・Dieter Henning 著「Atlas of the Surface Heat Balance of the Continents」
.....佐藤信夫 37 819 (12)
 - ・藤井清光・田中彰一著「新時代の海の利用」
.....羽鳥光彦 38 31 (1)
 - ・森永由紀著「魅せられて、南極」
.....山本 哲 38 365 (6)
 - ・小嶋 稔編「地球物理概論」
.....新野 宏 38 456 (7)
 - ・Lindzen “Dynamics in Atmospheric Physics”
.....林 祥介 38 515-516 (8)
 - ・股野宏志著「気象エッセイひまわり」
.....原田 朗 38 572 (9)
 - ・内嶋善兵衛編「地球環境の危機」
.....木村竜治 38 580 (9)
 - ・中島暢太郎著「パタゴニア氷河紀行」
.....藤谷徳之助 38 644 (10)
 - ・G.-R. Hoffmann and D. K. Marettis “気象学における超並列処理の夜明け”
.....佐藤信夫 38 658-660 (10)
 - ・日本化学会編「大気の化学(季刊科学総説, No. 10, 1990)」.....伊藤朋之 38 714 (11)
 - ・名古屋大学水圏科学研究所編「大気水圏の科学—黄砂」.....竹内清秀 38 731 (11)
 - ・名古屋大学水圏科学研究所編「大気水圏の科学—黄砂」.....田宮兵衛 38 731-732 (11)
 - ・吉野正敏著「風の博物誌」
.....藤谷徳之助 38 746 (12)
 - ・日本化学会編「フロンと環境化学と対策技術(季刊科学総説, No. 11)」
.....廣田道夫 38 756 (12)
 - ・加賀美雅弘著「気象で読む身体」
.....鳥谷 均 39 16 (1)
 - ・宮澤清治著「最新天気図と気象の本」
.....飯島邦彦 39 51 (1)
 - ・小川利紘著 第II期気象学のプロムナード 12
「大気の物理化学—新しい大気環境科学入門—」.....伊藤朋之 39 74 (2)
 - ・戸田盛和著「カオス—混沌のなかの法則」
.....木村竜治 39 96 (2)
 - ・R. S. Lindzen, E. N. Lorenz and G. W. Platzman, editors. “The Atmosphere—A Challenge, The Science of Jule Gregory Charney”小倉義光 39 101-102 (2)
 - ・国立極地研究所編「南極の科学」1 総説
.....松原廣司 39 130 (3)
 - ・花岡利昌著「伝統民家の生態学」
.....佐橋 謙 39 175 (3)
 - ・嶋村 克, 山内豊太郎著「雨のち曇り、ときどき晴れ」のサイエンス」
.....木村竜治 39 218 (4)
 - ・M. パリー著, 内嶋善兵衛訳「気候変化と食糧生産」.....吉野正敏 39 237 (4)
 - ・真木太一・鈴木義則・嶋田福也・早川誠而・泊 功編著「農業気象災害と対策」
.....坂上 務 39 312 (5)
 - ・Gary Lockhart 著 グループW訳「お天気と仲よくなる本—世界気象博物誌—」
.....藤谷徳之助 39 383 (6)
 - ・真木太一・鈴木義則・嶋田福也・早川誠而・泊 功編著「農業気象災害と対策」
.....文字信貴 39 434 (7)
 - ・廣田 勇著「グローバル気象学」(気象の教室1)
.....石原 洋 39 482 (8)
 - ・James R. Holton 著「An Introduction to Dynamic Meteorology」
.....廣田 勇 39 576 (9)
 - ・三崎方郎著「微粒子が気候を変える」
.....木村竜治 39 614 (10)
 - ・井上治郎編著「極地気象のはなし」
.....野村 厚 39 657 (10)
 - ・股野宏志監修 The Air—Song of the Earth—
.....星合 誠 39 668 (11)
 - ・故猪川元興博士著作集
.....齊藤和雄 39 684 (11)
 - ・武田喬男・上田 豊・安田延寿・藤吉康志著「水の気象学」(気象の教室3)
.....遊馬芳雄 39 713-714 (11)
 - ・朝倉 正・赤津邦夫・奥山和彦著 現代の気象テクノロジー 6 「経済活動と気象」
.....柳原一夫 39 714 (11)
 - ・米国科学アカデミー編 富永 健訳 「一つの地

- 球一つの未来」…椎野純一 39 744 (12)
- ・ C. Newton and E. O. Holopainen 共編
Extratropical Cyclones : The Erik Palmen
Memorial Volume
……………小倉義光 39 781-782 (12)

604 気象学史

* 解説

- ・ 大気大循環論100年の歩み
……………廣田 勇 29 199-213 (3)
- ・ 温帯低気圧モデルの歴史的発展
……………岸保勸三郎 29 269-298 (4)
- ・ 日本気象学会100年史
……………河村 武ほか 29 299-334 (4)
- ・ 日本気象学会創立100周年記念支部座談会「各地
区の顕著な気象現象の調査研究とその発展」
…………… 29 335-356 (4)
- ・ 雲の形成と降水機構の研究の発展—微物理過程を
中心として— ……磯野謙治 29 477-490 (5)
- ・ 降水の物理と大気電気
……………孫野長治 29 491-508 (5)
- ・ 気候学の発展 ……山元龍三郎 29 587-593 (6)
- ・ 中小規模擾乱に関する研究の発展—その一断面—
……………浅井富雄 29 677-700 (7)
- ・ 長期予報の発展 ……浅倉 正 29 891-904 (9)
- ・ 数値予報と数値シミュレーションの100年
……………増田善信 29 993-1025 (10)
- ・ 悪天候を伴う中小規模擾乱の研究—発展の経過と
われわれの反省—
……………二宮洸三 29 1101-1112 (11)
- ・ 成層圏と大気波動の研究をめぐって
……………松野太郎 29 1167-1186 (12)
- ・ 応用気象学の発展に関する二、三の問題—わが国
の応用気象学100年の歩み—
……………河村 武 29 1187-1197 (12)
- ・ 日本気象学会100年史補遺と訂正
……………河村 武 29 1198 (12)
- ・ 気象災害を防ぐ—30年の歩み—
……………中島暢太郎 31 461-470 (8)

* 論文

- ・ 土井利位「雪華図説」の心理学的・科学的考察
……………内田英治 36 361-368 (6)
- ・ 日本における8世紀から18世紀までの雲観察の要

- 因解析……………内田英治 37 185-192 (3)
- ・ 東洋における雲の文様の史的変遷の解析
……………内田英治 39 207-217 (4)

* その他

- ・ 気圧の単位の変遷 ……清水逸郎 29 1234 (12)
- ・ 天気予報100年 ……饒村 曜 31 371-373 (6)
- ・ 全天日射計測の今昔
……………三宅行美 38 589-592 (9)
- ・ 林 巳奈夫博士による中国古代史上の「かさ現象」
に関する論考 ……荒生公雄 39 カラー (5)

7 気象教育

* 解説

- ・ 市民生活と気象—中学校での気象観測が八王子市
天気相談所へ発展—
……………原嶋宏昌 34 569-578 (9)
- ・ 譬え話あれこれ—気象学講義余談集—
……………廣田 勇 34 603-610 (10)

* 論文

- ・ 沖縄県地方に伝承される台風俚語の見直し
……………石島 英 34 245-254 (4)
- ・ 紙製電動式乾湿計の製作と校内の気温分布の観測
—理科教材化への試み—
……………榊原保志 35 93-104 (2)

* その他

- ・ 第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体に
おける解の多重性と分岐—第3回地球流体夏
のセミナーを終えて
……………神部 勉 30 113-114 (3)
- ・ 関西支部「第8回夏季大学」の報告
…………… 33 550 (10)
- ・ 北海道支部「第4回夏季大学」の報告
…………… 33 550 (10)
- ・ 気象の教育映画 ……木村竜治 34 121-123 (2)
- ・ Mike Wallace の中間試験「大気大循環」
……………余田成男 35 109-110 (2)
- ・ Mike Wallace の中間試験「大気大循環」解答
……………余田成男 35 198-199 (3)
- ・ Woods Hole, GFD セミナー印象記
……………矢野順一 35 329-332 (5)
- ・ 関西支部第10回夏季大学の報告
…………… 35 638 (10)
- ・ 若手による覆面座談会「気候学と気象学の役割分

- 担とは」…気候コロキウム 36 461-464 (7)
- ・関西支部第11回夏季大学の報告
…………… 36 596 (9)
 - ・これからの気象教育とコンピュータ
……………島貫 陸 36 737-739 (12)
 - ・奨励金受賞を今後の糧として
……………西銘直正 37 202 (3)
 - ・若き気象庁職員の見たアメリカ
……………隈 健一 37 242-244 (4)
 - ・学生が先生を採点する話
……………小倉義光 37 501-502 (7)
 - ・関西支部第12回夏季大学の報告
…………… 37 688 (10)
 - ・第24回夏季大学受講者アンケートより
……………教育と普及委員会 37 766 (11)
 - ・メソスケールデータ同化に関する NCAR 夏期コ
ロキウム参加報告
……………青梨和正 38 64-71 (1)
 - ・気象学会若手第1回夏の学校の報告
第1回夏の学校実行委員会 38 131-132 (2)
 - ・降水を伴う中小規模現象 I. 数値実験
……………猪川元興 38 325-330 (5)
 - ・大気の長周期変動とその予測 I. 長周期変動の
実態と力学
……………新田 勅・露木 義 38 399-404 (6)
 - ・大気の長周期変動とその予測 II. 長期予報
……………新田 勅・露木 義 38 453-455 (7)
 - ・大気放射……………浅野正二 38 581-585 (9)
 - ・中層大気力学……………余田成男 38 661-664 (10)
 - ・気象知識普及の理想を求めて(気象庁予報課での
討論会・前編) ……北島尚子 38 717-720 (11)
 - ・「日本気象学会夏期特別セミナー(第二回夏の学
校)」の報告
…第二回夏の学校実行委員会・講演企画委員会
38 764 (12)
 - ・気象知識普及の理想を求めて(気象庁予報課での
討論会・後編) ……北島尚子 38 775-778 (12)
 - ・1990年度卒業論文…………… 38 795 (12)
 - ・関西支部第13回夏季大学報告… 39 58 (1)
 - ・大気汚染……………大喜多敏一 39 225-229 (4)
 - ・運と勘……………廣田 勇 39 355-361 (6)
 - ・米国の大学院に学んで
……………中村 尚 39 367-369 (6)
 - ・つくばにおける「気象教室」
……………八木 晃 39 375-376 (6)
 - ・学会発表の時の OHP の使用方法について
……………佐橋 謙 39 428 (7)
 - ・1991年度学位論文紹介…………… 39 587-588 (9)
 - ・市街地に隣接する森が与える都市の気温分布への
影響—科学部の生徒と研究をして—
……………大鹿清司 39 707-710 (11)
 - ・熱帯の気象と日本の天候
……………新田 勅 39 769-773 (12)
- ## 8 人物
- *論文**
- ・土井利位「雪華図説」の心理学的・科学的考察
……………内田英治 36 361-368 (6)
- *その他**
- ・故 田村雄一博士を悼む
……………畠山久尚 29 42 (1)
 - ・ヘス教授の御逝去を悼む
……………半澤正男 29 545 (5)
 - ・故 ウォークマン博士の御逝去を悼む
……………高橋 劭 30 132 (3)
 - ・黒岩大助氏の死を悼む
……………孫野長治 31 266 (4)
 - ・坂上治郎先生の御逝去を悼む
……………根本 茂 31 761-762 (12)
 - ・荒川秀俊博士逝く
……………高橋浩一郎 32 198 (4)
 - ・澤田龍吉氏日本学術会議会員へ
……………日本気象学会理事長 32 620 (11)
 - ・孫野長治先生の御逝去を悼む
……………菊地勝弘 33 71-72 (2)
 - ・名誉会員和達清夫博士の文化勲章受賞を祝う
……………畠山久尚 33 206 (5)
 - ・J. M. Wallace ……住 明正 34 86 (2)
 - ・J. Holton ……住 明正 34 207 (3)
 - ・荒川昭夫……………住 明正 34 262-264 (4)
 - ・畠山久尚博士……………河村 武 34 342 (5)
 - ・Lindzen ……住 明正 34 383-384 (6)
 - ・小林禎作先生の御逝去を悼む
……………菊地勝弘 34 423-424 (6)
 - ・小林禎作博士と Imperial College の思い出
……………福田矩彦 34 424-425 (6)
 - ・村上多喜雄……………住 明正 34 478-479 (7)

- ・都田菊郎……………住 明正 34 516 (8)
- ・栗原直夫……………住 明正 34 588 (9)
- ・真鍋淑郎……………大内彩子 34 647-650 (10)
- ・W. K. M. Lau ……住 明正 34 725-726 (11)
- ・笠原 彰……………住 明正 34 758-760 (12)
- ・柳井迪雄……………大内彩子 35 58-60, 35 (1)
- ・Brian Hoskins ……住 明正 35 337-338 (5)
- ・D. Burridge ……住 明正 35 380-389 (6)
- ・小野 晃先生の御逝去を悼む
……………武田喬男 35 405-406 (6)
- ・大村 纂……………大内彩子 35 449-452 (7)
- ・A. Simmons ……住 明正 35 492-493 (8)
- ・P. Morel ……住 明正 35 573-574 (9)
- ・L. Bengtsson ……住 明正 35 611-612 (10)
- ・T. Hollingsworth ……住 明正 35 689, 702 (11)
- ・K. Labitzke and M. L. Chanin
……………廣田 勇 35 734 (12)
- ・Tim Palmer ……住 明正 36 18, 30 (1)
- ・R. Sadourny …… 36 82, 95 (2)
- ・ジョン・E・シンブソン
……………新野 宏 36 165-166 (3)
- ・生気象学と学会に大きな足跡—神山恵三先生をし
のんで……………矢野 直 36 186 (3)
- ・J. Shukla ……住 明正 36 236-237 (4)
- ・J. Simpson ……住 明正 36 268, 289 (5)
- ・L. プラントルさんと G. I. テイラーさんのこと
……………井上栄一 36 323-324 (5)
- ・堀内剛二氏の御逝去を悼む
……………廣田 勇 36 328 (5)
- ・新生「気象利用研究会」を遺して—元田雄四郎先
生逝く—……………小林哲夫 36 472 (7)
- ・大井正道先生の御逝去を悼む
……………山中大学 37 537 (8)
- ・瓜生道也教授のご逝去を悼む
……………松野太郎 37 808 (12)
- ・ソビエトの A. M. Oboukhov さんのこと
……………井上栄一 38 72-73 (1)
- ・Ed Sarachik ……中澤哲夫ほか 38 231-232 (4)
- ・ソビエトの A. M. Oboukhov 氏について
……………森 広道 38 341-342 (5)
- ・フィールド科学者井上治郎氏を悼む
……………安成哲三 38 374 (6)
- ・Doviak 博士と Zrnice 博士
……………真木雅之 38 513-514 (8)
- ・高橋浩一郎名誉会員のご逝去を悼む
……………朝倉 正 38 794-795 (12)
- ・Michael Ghil (マイケル・ギル)
……………木本昌秀 39 43-44 (1)
- ・杉村行勇君のご逝去を悼む
……………金森 悟 39 224 (4)
- ・George L. Mellor ……新野 宏 39 389-390 (6)
- ・カオスとロレンツさん
……………小倉義光 39 435-439 (7)
- ・山田慎一氏のご逝去を悼む
……………向川 均 39 440 (7)
- ・Jean-Claude André (ジャン・クロード アンド
レ) ……里村雄彦 39 483-485 (8)
- ・村山さんさようなら
……………能美武功 39 489-490 (8)
- ・故猪川元興博士著作集
……………斉藤和雄 39 684 (11)

9 気象学関連雑記

*その他

- ・緑閃光 (Green Flash)
……………吉村博儀 35 64 (1)
- ・私のタッチした諸研究に関する裏と表の話
……………内田英治 35 83-92 (2)
- ・ポナペ気象台訪問記
……………藤谷徳之助 35 252-253 (4)
- ・カードで洋書を買う方法
……………菊地時夫 35 254-255 (4)
- ・台風予報あれこれ……………加藤久雄 35 313-320 (5)
- ・紹介：根室で観察されたハロー現象
……………浅野正二 35 326-328 (5)
- ・Woods Hole, GFD セミナー印象記
……………矢野順一 35 329-332 (5)
- ・気象学雑談集 Part II
……………廣田 勇 35 373-379 (6)
- ・オゾンホール発見のプライオリティについて
……………根本順吉 35 441-443 (7)
- ・「微細気象学者の欧米見聞録」
……………米谷俊彦 35 453-454 (7)
- ・「スペシャル (テーマ別) セッション」提案者の
弁……………増田耕一 35 455-456, 440 (7)
- ・富士山こぼれ話……………志崎大策 35 481-489 (8)
- ・中国甘肅省黒河流域での日中共同観測現地計画調

- 査記……………佐橋 謙 35 507-510 (8)
- ・ケニヤお天気事情……篠田雅人 35 490-491, 493 (8)
- ・オゾンホール発見のプライオリティ再論
……………根本順吉 35 550 (9)
- ・南極委員会が行った「テーマ別セッション」につ
いて……………丸山健人 35 554 (9)
- ・ポンティアナ訪問記(その2)
……………山中大学 35 687-688 (11)
- ・なんとかならないかなあという意見を(ニーズと
シーズの誌上討論の提案)
……………桧尾守昭 35 714, 713 (12)
- ・冬霧のナゾを追って
……………山本 晃 36 19-27 (1)
- ・異常量(ハロー)も空からの手紙
……………増田善信 36 39, 54 (1)
- ・休憩=研究交流時間をもっと多くとれるのなら
……………丸山健人 36 62 (2)
- ・「天気」に学生参加企画を一支部持ち回りで学生
座談会をやってみませんかー
……………ノ瀬俊明 36 96 (2)
- ・長期予報発展のために一暖候期予報はなぜ外れた
か……………根本順吉 36 105-106 (2)
- ・ヨーロッパの偏波レーダーを訪ねて
……………上田 博 36 134-135 (3)
- ・日本学術会議だより No.12 第14期特別委員会
の活動始まる
…日本学術会議広報委員会 36 187-188 (3)
- ・長期予報発展のために(根本順吉)を読んで
……………青木 孝 36 196 (4)
- ・L. プラントルさんと G. I. テイラーさんのこと
……………井上栄一 36 323-324 (5)
- ・海面水温とメソ気象
……………荒川正一 36 353-360 (6)
- ・日本学術会議だより No.13 第14期初めての勸
告採択される
…日本学術会議広報委員会 36 387-388 (6)
- ・若手による覆面座談会「気候学と気象学の役割分
担とは」…気候コロキウム 36 461-464 (7)
- ・オーストラリア気象局を訪問して
……………村木彦磨 36 465-467 (7)
- ・高気圧域の前線帯……嶋村 克 36 481-483 (8)
- ・煙とガスと放射能を追う(1)一大気汚染の測定,
実験と数値計算ー
……………吉川友章 36 485-488 (8)
- ・日本学術会議だより No.14 人間の科学特別委
員会設置される
…日本学術会議広報委員会 36 547-548 (8)
- ・煙とガスと放射能を追う(2)一湿潤条件での大
気汚染の測定と数値計算ー
……………吉川友章 36 561-564 (9)
- ・煙とガスと放射能を追う(3)一原子力施設対策
のための拡散実験と移流・拡散モデルの開発ー
……………吉川友章 36 621-623 (10)
- ・パダン・プキティンギ訪問記
……………山中大学・中村卓司 36 650-652 (10)
- ・これからの気象教育とコンピュータ
……………島貫 陸 36 737-739 (12)
- ・初の沖縄大会に参加して
……………丸山健人 36 742 (12)
- ・日本学術会議だより No.15 「ヒト・ゲノム・プ
ロジェクトの推進について(勸告)」を採択
…日本学術会議広報委員会 36 765-766 (12)
- ・素人による気象学放談会(その1)
……………木村竜治 37 41-44 (1)
- ・素人による気象学放談会(その2)
……………木村竜治 37 97-100 (2)
- ・若き気象庁職員の見たアメリカ
……………隈 健一 37 242-244 (4)
- ・日本気象学会は元号表示をやめよう
……………樫間道夫 37 333 (5)
- ・学生が先生を採点する話
……………小倉義光 37 501-502 (7)
- ・つくばにおける非核平和宣言
……………丸山健人 37 752 (11)
- ・1990年10月9日の遠州灘のたつまき
……………新野 宏 38 カラー (1)
- ・スペインの新聞天気欄
……………北畠尚子 38 128-130 (2)
- ・ランドサットから見た消散期の霧の構造
……………栗田 進 38 カラー (3)
- ・WINTER ICING AND STORM PROJECT に
参加してーNCAR 滞在記ー
……………村上正隆 38 171-173 (3)
- ・40年も前のこと……………井上栄一 38 177-178 (3)
- ・見果てぬ夢……………吉武素二 38 229-230 (4)
- ・名瀬レーダーが捉えた台風19号
……………神林慶子 38 カラー (5)
- ・「天気」偶感……………根本順吉 38 405-406 (6)

- ・飯盛山で観測した蟹気楼
……………高橋忠司・西川正巳 38 カラー (7)
- ・根本順吉氏の「「天気」偶感」に答える
……………嶋村 克 38 465 (7)
- ・「気候温暖化に伴う海面水位上昇について」(天気
Vol. 38 No. 2) についての根本順吉氏に對す
る回答……………周東健三 38 465-466 (7)
- ・「WMO/UNEP IPCC 第四回会合から」の小文
に関する, 根本氏の意見について
……………黒沢真喜人 38 466 (7)
- ・クエート油井火災による環境汚染
……………重久陽亮 38 カラー (9)
- ・ソ連の新聞天気欄……………森 広道 38 671-674 (10)
- ・レーダーがとらえた1990年12月11日千葉県の竜巻
の親雲の特性
……………鈴木 修・新野 宏 38 カラー (11)
- ・天文台の気象台90年のあゆみ(重錘式気圧計をご
存じですか)……………菊地直吉 38 715-716 (11)
- ・タクラマカン砂漠の気象観測所を訪ねて
……………藤谷徳之助 38 727-729 (11)
- ・アメリカ滞在記……………高橋正明 38 779-780 (12)
- ・極北の地フェアバンクスのマジックデー
……………田中 博 38 781-782 (12)
- ・長雨の機構について
……………根本順吉 39 86 (2)
- ・NCAR 滞在記……………田口彰一 39 87-88 (2)
- ・NCAR サマーコロキウムに参加して
……………堤 之智 39 291-294 (5)
- ・米国の大学院に学んで
……………中村 尚 39 367-369 (6)
- ・昭和基地越冬……………中川清隆 39 441-444 (7)
- ・ある老会員の弁……………篠原武次 39 468 (8)
- ・ペルーアマゾン訪問記
……………松山 洋 39 479-482 (8)
- ・南極昭和基地でみた極成層圏雲
……………塚村浩二 39 カラー (9)
- ・コロンビア滞在記……………神山 敏 39 577-579 (9)
- ・大会参加費を廃止しては
……………丸山健人 39 650 (10)
- …………… 32 592 (10)
- ・JGOFS (Joint Global Ocean Flux Study)
……………小池勲夫 37 709-710 (10)
- ・1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報
告「地球システムの風景—気候と共存する
サブ・システムをめぐる—」はじめに
……………木田秀次 37 727 (11)
- ・「国際地球物理金沢会議(1990 WPGM)」の報
告……………木村竜治ほか 37 821-827 (12)
- ・国際測地学地球物理学連合第20回総会報告
—ウィーン, 1991年8月—
……………浅井富雄ほか 39 5-15 (1)

11 天文

- * 解説
- ・木星の大赤斑は, モドンか? (熱地衡風力学の位
置づけも含めて)
……………矢野順一 36 261-267 (5)
- ・惑星形成論に基づいた大気形成モデル—昭和63年
度堀内基金奨励賞受賞記念講演—
……………阿部 豊・松井孝典 36 333-339 (6)
- ・地球の角運動量収支における大気水圏システムの
役割—平成元年度堀内基金奨励賞受賞記念講
演—……………内藤勲夫 37 231-241 (4)
- * 論文
- ・札幌夏季気温と太陽活動
……………小寺邦彦 35 321-323 (5)
- ・年周極運動に対する風の寄与
……………菊地直吉・内藤勲夫 39 23-26 (1)
- * その他
- ・天文台の気象台90年のあゆみ(重錘式気圧計をご
存じですか)……………菊地直吉 38 715-716 (11)

12 超高層大気

- * 解説
- ・中層大気・超高層大気研究: 21世紀への展望
……………深尾昌一郎ほか 38 257-273 (5)
- * その他
- ・SCOSTEP 審議会/MAP 委員会, 第6回 STP
シンポジウムおよび第26回 COSPAR 総会
の報告……………加藤 進ほか 34 23-26 (1)
- ・地球惑星科学関連学会1992年合同大会 共催シン

10 地球関連分野

- * その他
- ・第19期日本学術会議地球物理学研究連絡委員会

ポジウム「赤道大気上下結合」の報告
 ……廣田 勇ほか 39 457-458 (8)

13 海洋

* 解説

- ・気候学の発展……山元龍三郎 29 587-593 (6)
- ・わが国の気候変動研究計画(WCRP) 5. 海洋観測……世界気候小委員会 29 595-603 (6)
- ・赤道域における大気・海洋結合系の力学に関する研究—昭和62年度日本気象学会賞受賞記念講演—……山形俊男 34 743-749 (12)
- ・地球回転と大気海洋力学—その新しい連携—……内藤勲夫 35 291-311 (5)
- ・北太平洋の大規模海面水温変動に関する研究—平成元年度堀内基金奨励賞受賞記念講演—……花輪公雄 37 221-230 (4)
- ・気候温暖化に伴う海面水位の上昇について……周東健三 38 77-91 (2)

* 論文

- ・松山港の顕著副振動……西本洋相・栗林逸夫 29 625-632 (6)
- ・日本の夏季気温と西部熱帯太平洋域の海水温との関係……栗原弘一 32 407-417 (8)
- ・台風8506号による高潮と副振動……小西達男ほか 33 263-270 (6)
- ・海面水温と長波放射の30-60日周期振動……村上多喜雄 35 715-722 (12)
- ・地球の角運動量収支とコア・マントル非結合……内藤勲夫・菊地直吉 36 625-630 (10)
- ・地球自転速度の不規則変動に対する大気の寄与……内藤勲夫・菊地直吉 39 17-22 (1)
- ・年周極運動に対する風の寄与……菊地直吉・内藤勲夫 39 23-26 (1)

* その他

- ・海の波の話……小野田 仁 29 1067-1080 (10)
- ・気候変動と海洋に関する研究の最近の動向(3) —WCRP 大規模海洋実験研究会議(東京, 1982年5月)の報告—……浅井富雄 29 1081-1091 (10)
- ・第3回地球流体夏のセミナーの報告—地球流体における解の多重性と分岐— 第4部 黒潮の蛇行……西田英男ほか 30 128-131 (3)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」

の報告 まえがき

……菊地勝弘 30 343 (8)

- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 1 オホーツク海の海水分布とその変化……赤川正臣 30 343-345 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 2 流水観測レーダによる海水の動態……石田 完 30 346-349 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 3 オホーツク海の北海道の気象への影響……大川 隆 30 350-355 (8)
- ・昭和57年度秋季大会シンポジウム「気象と海水」の報告 4 大気と海水の相互作用「大気大循環への影響」…片山 昭 30 355-364 (8)
- ・海洋大循環実験(WOCE)科学作業グループ第1回会合(ウズホール, 1983年8月)の報告……木村竜治 30 519-524 (10)
- ・黒潮流域の海面水温分布……松長高雄 32 96 (2)
- ・海洋大循環実験(WOCE)科学作業グループ第2回(ワームリー, 1984年1月), 第3回(ベニス, 1984年11月)の会合報告……木村竜治 32 143-147 (3)
- ・海水域における開水面……赤川正臣 32 281-283 (5)
- ・TOGA(Tropical Ocean-Global Atmosphere)=熱帯海洋および全球大気変動の研究計画の現状と今後の進展について……住 明正 33 233-235 (5)
- ・昭和61年度春季大会シンポジウム「熱帯の大気と海洋」の報告 総合討論……松野太郎 33 526-528 (10)
- ・気候研究のための衛星観測システムに関する作業委員会(JSC/CCCO WGSOS)第4回会議報告……村山信彦 34 317-320 (5)
- ・TOGA-SSG-VII報告……住 明正 35 745-746, 708 (12)
- ・COADS(総合海洋気象データセット)……江口一平 36 468 (7)
- ・OMLET(海洋混合層実験観測)……花輪公雄 36 584-585 (9)
- ・ラ・ニーニャ……山形俊男 37 4, 17 (1)
- ・南半球の気象と海洋に関する第3回国際会議の報告……鬼頭昭雄 37 245-247 (4)

- J-COARE (西太平洋大気海洋相互作用研究計画)
.....住 明正 37 616 (9)
- JGOFS (Joint Global Ocean Flux Study)
.....小池勲夫 37 709-710 (10)
- 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報告「地球システムの風景—気候と共存するサブ・システムをめぐって—」4 海洋プランクトン.....寺崎 誠 37 741-745 (11)
- TOGA-COARE Workshop と TOGA-SSG 9 の報告.....住 明正 37 773-774 (11)
- WOCE (世界海洋循環実験計画)
.....永田 豊 37 775-556 (11)
- 熱帯海洋と全球大気 (TOGA) に関する国際研究集会に参加して
.....安成哲三ほか 37 809-819 (12)
- 第22回海洋流体力学リェージュ国際コロキウム (氷海と氷縁域: 物理, 化学, 生物諸過程と相互作用) に参加して
.....白澤邦男 38 33-34 (1)
- 「エルニーニョ・南方振動に関する日米ワークショップ」(1990年9月10日~14日, 米国シアトル) に参加して
.....中澤哲夫ほか 38 623-627 (10)
- 1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 4 海洋中の生物・地球化学過程
.....半田暢彦 39 146-156 (3)
- 1991年度日本気象学会春季大会シンポジウム「炭素循環の謎を考える—化石燃料から出たCO₂はどこへ行ったか」の報告 5 海洋大循環—中層水の役割
.....杉ノ原伸夫 39 156-158 (3)
- TOGA COARE International Project Office の活動.....黒田芳史 39 655-657 (10)

14 測地

* その他

- 国際測地学地球物理学連合第20回総会報告—ウィーン, 1991年8月—
.....浅井富雄ほか 39 5-15 (1)

15 地理

* その他

- 1990年度日本気象学会春季大会シンポジウムの報告「地球システムの風景—気候と共存するサブ・システムをめぐって—」3 永久凍土と気候.....福田正己 37 736-741 (11)

16 固体地球

* 解説

- 地球回転と大気海洋力学—その新しい連携—
.....内藤勲夫 35 291-311 (5)
- 地球の角運動量収支における大気水圏システムの役割—平成元年度堀内基金奨励賞受賞記念講演—.....内藤勲夫 37 231-241 (4)

* 論文

- 地球の角運動量収支とコア・マントル非結合
.....内藤勲夫・菊地直吉 36 625-630 (10)
- 地球自転速度の不規則変動に対する大気の寄与
.....内藤勲夫・菊地直吉 39 17-22 (1)

* その他

- 今, 宇宙と大地の狭間で
.....内藤勲夫 34 305-306 (5)